

科学技術に関する国民意識調査 ーDX についてー

2022 年 3 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

第1調査研究グループ

細坪護拳 加納圭 星野利彦

本 DISCUSSION PAPER は、所内での討論に用いるとともに、関係の方々からの御意見を頂くことを目的に作成したものである。

また、本 DISCUSSION PAPER の内容は、執筆者の見解に基づいてまとめられたものであり、必ずしも機関の公式の見解を示すものではないことに留意されたい。

The DISCUSSION PAPER series are published for discussion within the National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP) as well as receiving comments from the community.

It should be noticed that the opinions in this DISCUSSION PAPER are the sole responsibility of the author(s) and do not necessarily reflect the official views of NISTEP.

【調査研究体制】

細坪護拳	科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 上席研究官
加納 圭	科学技術・学術政策研究所 客員研究官 滋賀大学教育学部教授
星野利彦	科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 総括上席研究官

【Contributors】

HOSOTSUBO Moritaka Senior Research Fellow,
1st Policy-Oriented Research Group,
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT.

KANO Kei Affiliated Fellow, NISTEP, MEXT
Professor, Department of Education, Shiga University

HOSHINO Toshihiko Director, 1st Policy-Oriented Research Group,
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT

本報告書の引用を行う際には、以下を参考に出典を明記願います。
Please specify reference as the following example when citing this paper.

細坪護拳, 加納圭, 星野利彦, 「科学技術に関する国民意識調査－DX について－」, *NISTEP DISCUSSION PAPER*, No.205, 文部科学省科学技術・学術政策研究所.

DOI: <https://doi.org/10.15108/dp205>

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei and HOSHINO Toshihiko, “Public Attitudes to Science and Technology – About DX –” *NISTEP DISCUSSION PAPER*, No.205, National Institute of Science and Technology Policy, Tokyo.

DOI: <https://doi.org/10.15108/dp205>

科学技術に関する国民意識調査－DX について－

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ

細坪護孝 加納圭 星野利彦

要旨

2021 年 12 月のインターネット調査の結果、DX について、「性別」では男性（（どちらかというと）賛同する 79%）の方が女性（（どちらかというと）賛同する 64%）よりも高い一方、「年代別」ではあまり変わらないことが判明した。

また、「性別」では男性（（どちらかというと）社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する 55%）の方が女性（（どちらかというと）社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する 44%）よりも高い一方、「年代別」ではあまり変わらないことが判明した。

加えて、機会があれば、DX に関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思うかどうか尋ねたところ、（できれば）聞いてみたい、が 57%を占め、過半数となった。DX について昨今の TV や新聞で専門家による意見等が紹介されているが、さらなる情報提供が求められていると思われる結論となった。

Public Attitudes to Science and Technology - About DX -

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei and HOSHINO Toshihiko

1st Policy-Oriented Research Group, National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT

ABSTRACT

As a result of an internet survey conducted in December 2021, it was found that males (79% who agree (rather)) are higher than females (64% who agree (rather)) in "gender", while they do not change much in "age".

Also, in terms of "gender", males (55% who (rather) change the society to be more comfortable and comfortable to live in) and females ((rather) to make the society more comfortable and comfortable to live in) While it was higher than 44%), it turned out that it did not change much by "age".

In addition, when asked if they would like to hear from scientists and technicians about DX, if they had the opportunity, 57% said they would (if possible), with a majority. became. Experts have introduced their opinions on recent TV and newspapers regarding DX, but the conclusion is that the public still feels lacking.

目次

概要	i ~ x x viii
1. はじめに	1
2. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査期間及び調査方法	1
(3) 調査時点	1
(4) 調査項目	1
3. 調査結果	
(1) DX の概要について回答された割合	1
(2) DX 以外の科学技術政策に関する変量について回答された割合	47
4. おわりに	67
5. 参考文献	67
質問票	69
インターネット調査質問票その1	71
インターネット調査質問票その2	92

【概要】

(1)はじめに

科学技術・学術政策研究所(以下 NISTEP)では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2021 年度調査(2021 年 12 月調査)は、15 歳から 69 歳までの男女合計 3,300 人にインターネットを使って調査したものである。

(2)調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

1)調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

2)調査期間及び調査方法

2021 年 12 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=3,300(2 社×1,650)で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数、15-19 歳、20-24 歳、25-29 歳…60-64 歳、65-69 歳で同数(2 社×150)とした。

3)調査時点

2021 年 12 月 17 日から 12 月 22 日にかけて実施した。

4)調査項目

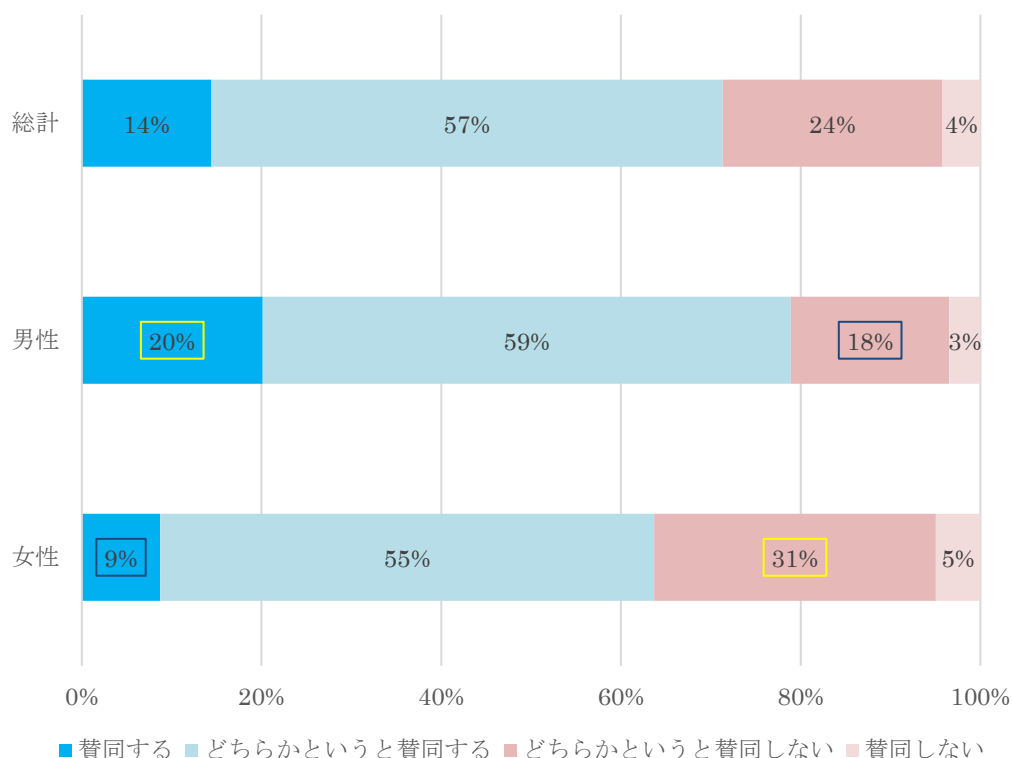
今般の調査では特に DX の影響を把握することが目的である。

また、回答者には、居住している都道府県、学校での専攻分野、子どもの有無、科学技術に関するニュースや話題への関心の有無などの個人の属性・意識についても尋ねた。

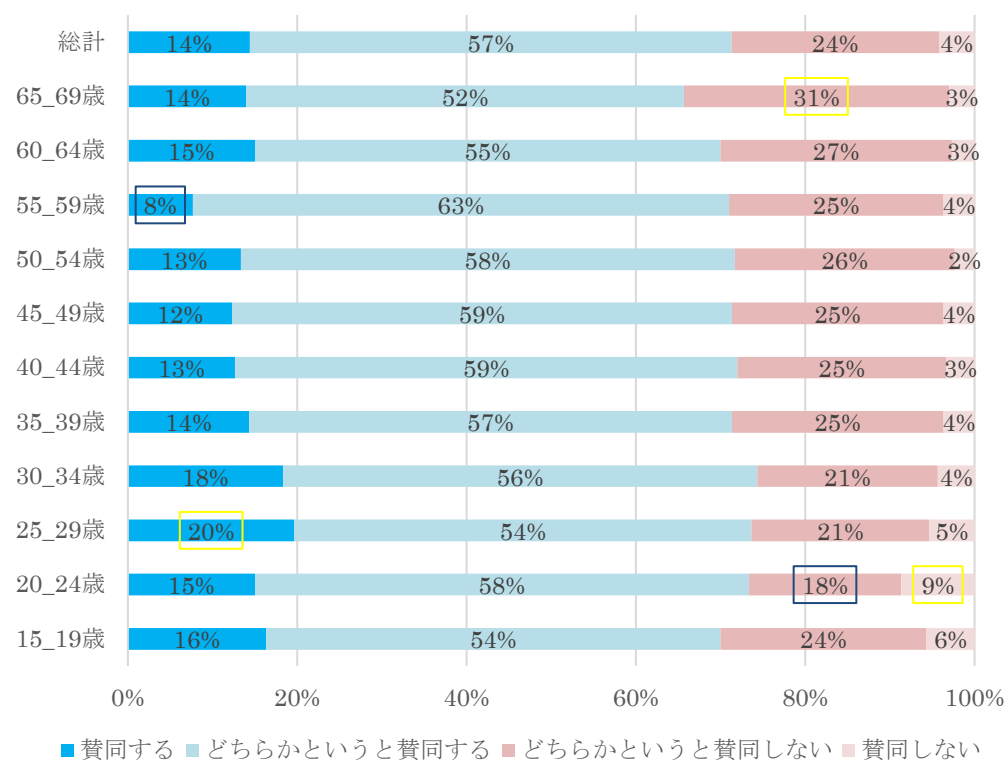
(3)調査結果の概要

概要では、調査結果のうち、DX に関する主な結果について示す。

1) DX の概要について回答された割合



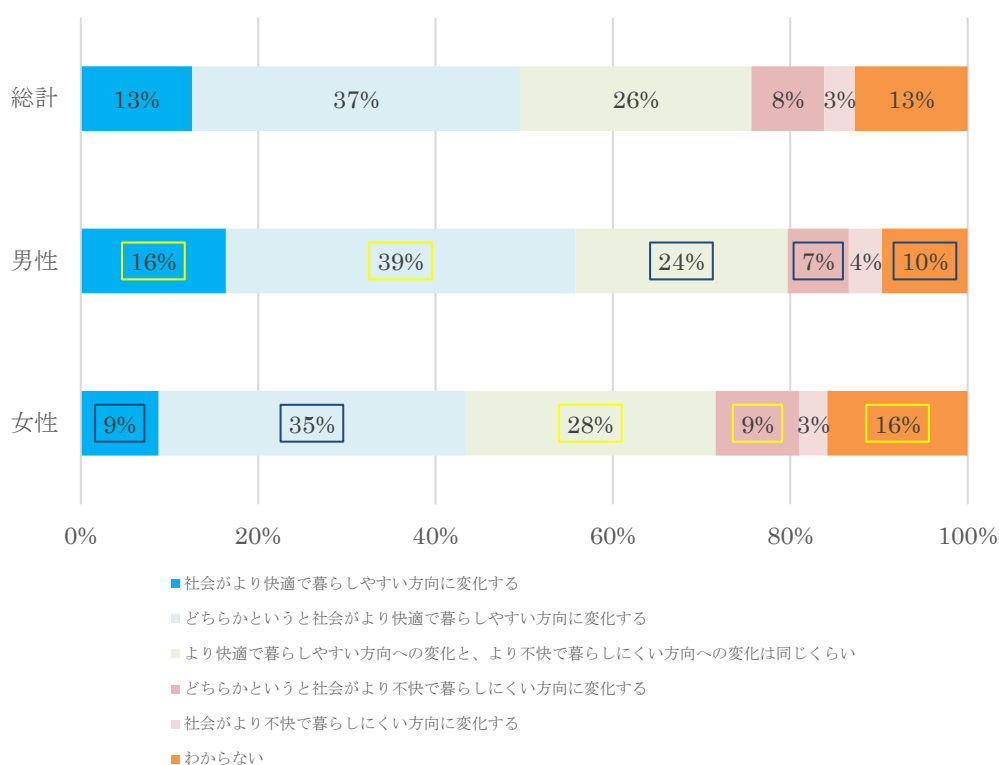
概要図表 1-1 DX 化の推進に関して、あなたは賛同しますか(性別)



概要図表 1-2 DX 化の推進に関して、あなたは賛同しますか(年代別)

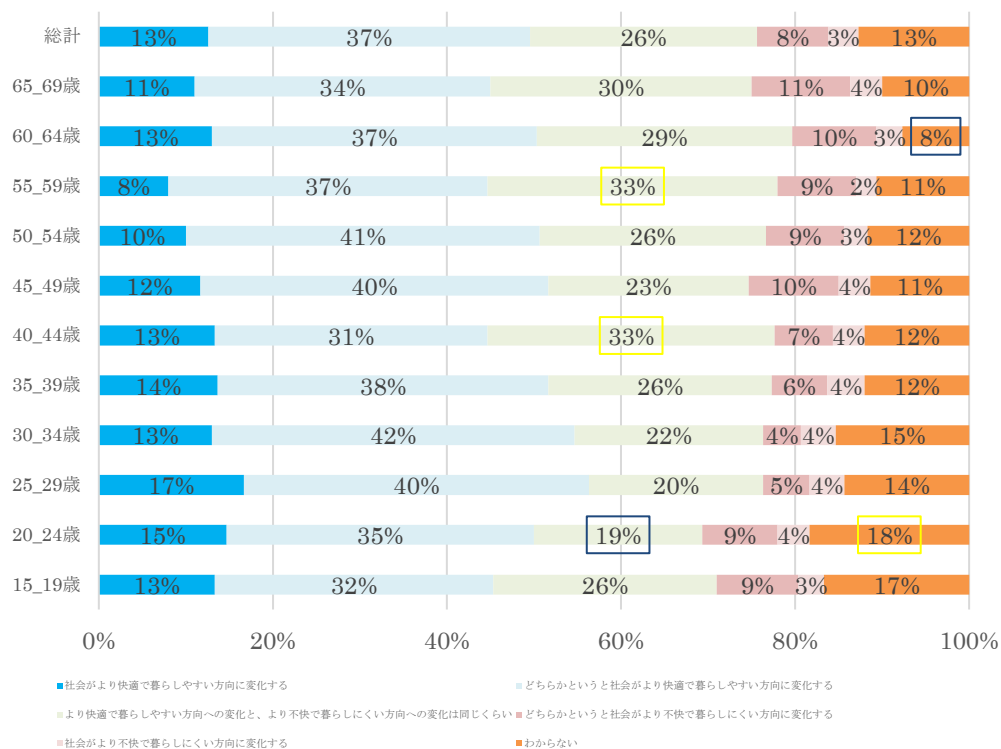
本稿におけるクロス表の分析においては調整残差分析を行い、有意性水準 1%以下の場合、有意に高い場合は当該カテゴリーの数値を黄色の四角で、有意に低い場合は青色の四角で囲っている。

DX への賛同について伺ったところ、「性別」(概要図表 1-1)では男性((どちらかというと)賛同する 79%)の方が女性((どちらかというと)賛同する 64%)よりも高い一方、「年代別」(概要図表 1-2)ではあまり変わらないことが判明した。



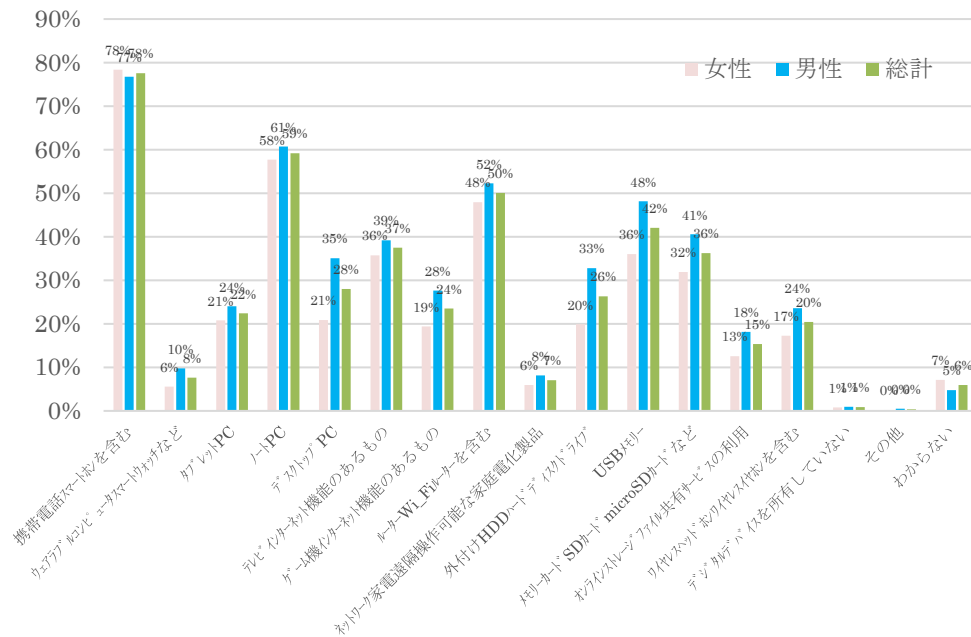
概要図表 2-1 DX 化が進むことで、社会全体が変わっていく方向性について、あなたはどのように感じますか(性別)

DX 化が進むことで、あなたはどのように感じるか訊いたところ、こちらも「性別」(概要図表 2-1)では男性((どちらかというと)社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する 55%)の方が女性((どちらかというと)社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する 44%)よりも高い一方、「年代別」(概要図表 2-2)ではあまり変わらないことが判明した。



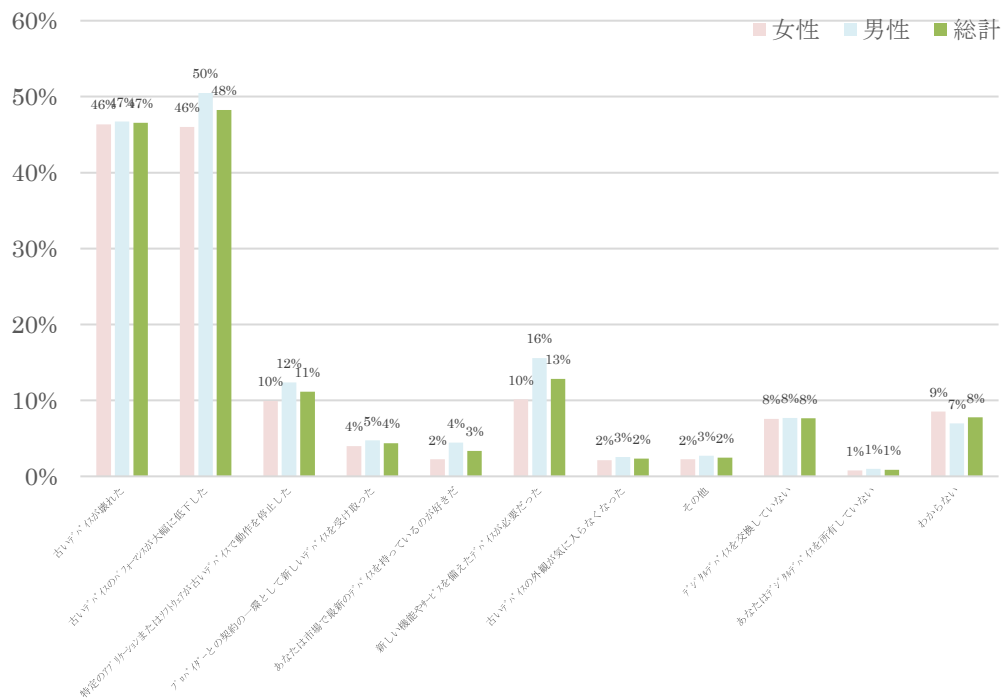
概要図表 2-2 DX 化が進むことで、社会全体が変わっていく方向性について、あなたはどのように感じますか(年代別)

具体的な DX 化実現に関連して、あなたが所有または家族と共有するデジタルデバイスについて訊いたところ、「性別」(概要図表 3)では男性の方が女性よりも高いのは、デスクトップ PC (男性 35%女性 21%)、ゲーム機 (男性 28%女性 19%)、外付け HDD (男性 33%女性 20%)、USB メモリー (男性 48%女性 36%)、メモリーカード (男性 41%女性 32%) など男性が女性を上回っている。

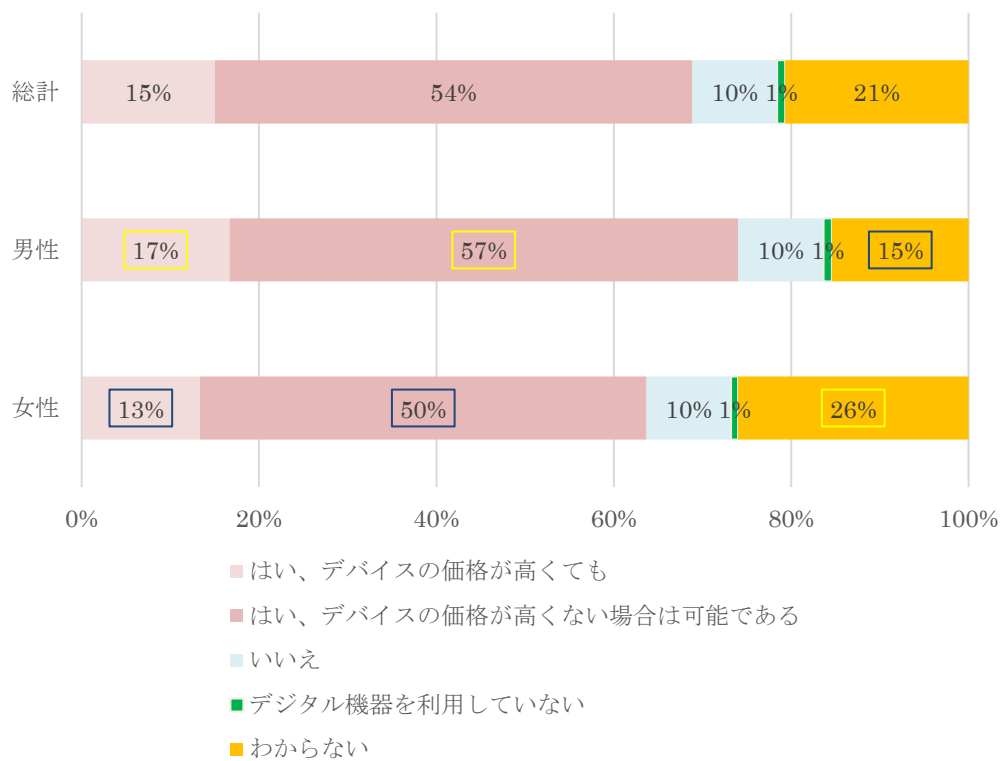


概要図表 3 具体的な DX 化実現に関連して、あなたが所有または家族と共有するデジタルデバイス(携帯電話(スマートフォン)、TV(通信機能があるもの)、ゲーム機(通信機能があるもの)、PCなど)について考えてみてください。どのデバイスを所有または共有していますか(性別)

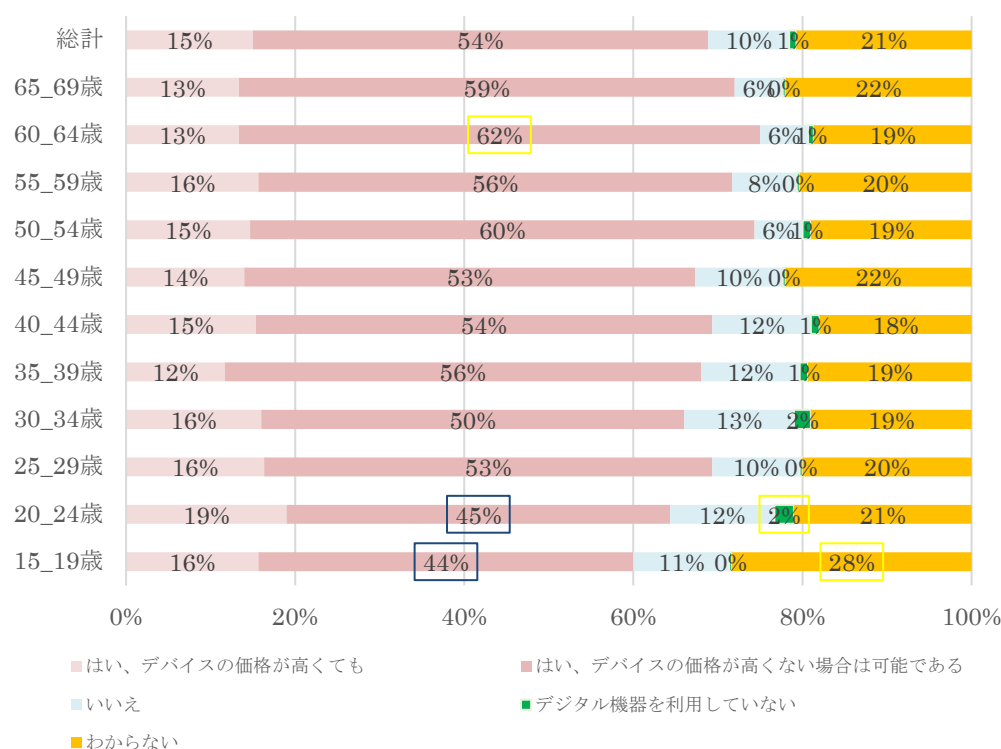
最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたかについて聞いたところ、「性別」(概要図表 4)では男性の方が女性よりも高いのは、新しい機能やサービスを備えたデバイスが必要だった(男性 16%女性 10%)などで男性が女性を上回っている。



概要図表 4 最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか？(最大 3 つまで、性別)



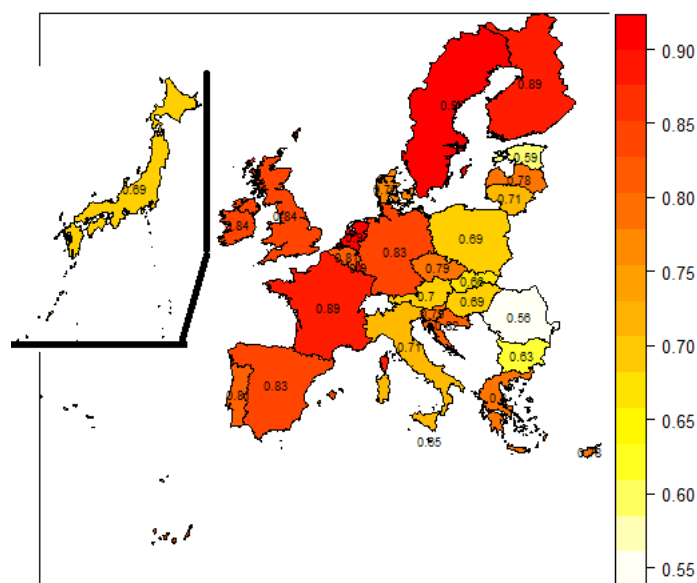
概要図表 5-1 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品（スクリーンやバッテリーなど）の交換を容易にする必要がありますか（性別）



概要図表 5-2 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品（スクリーンやバッテリーなど）の交換を容易にする必要がありますか（年代別）

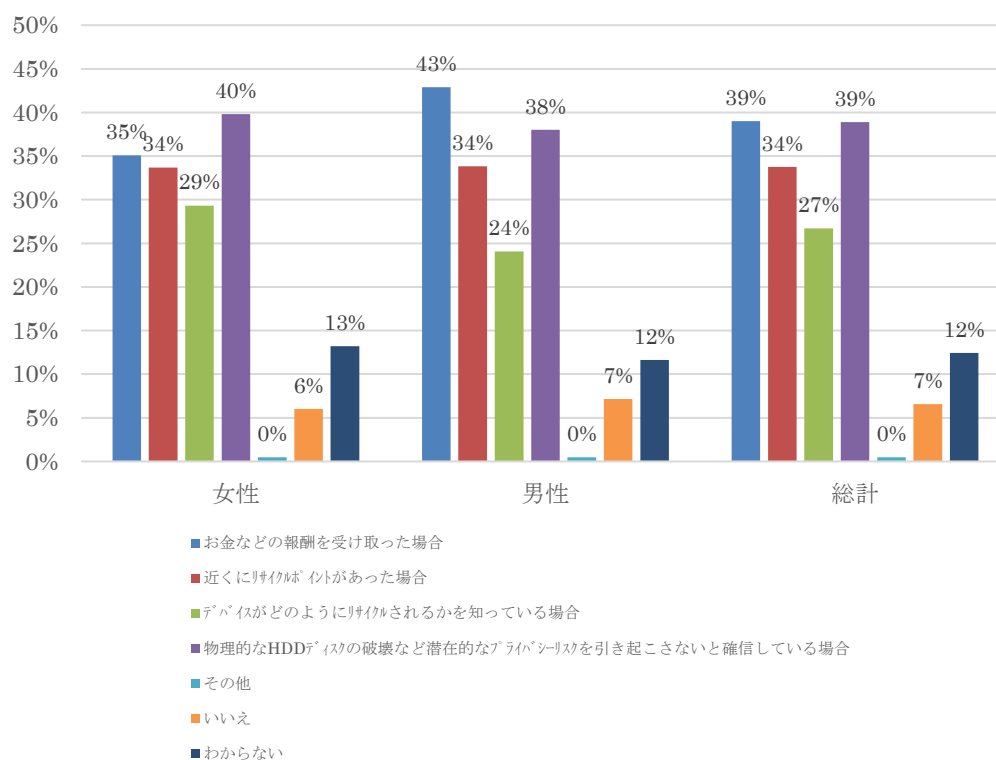
メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品（スクリーンやバッテリーなど）の交換を容易にする必要がありますかについて訊いたところ、「性別」（概要図表 5-1）では、はい（男性 74%女性 63%）で男性が女性を上回っている。

加えて、「年代別」（概要図表 5-2）では、24 歳以下の若い世代では「はい」が少ない（15_19 歳 60%、20_24 歳 64%）ことが分かる。若い世代ではデジタルデバイスの修理や交換に関する意識は比較的低いと考えられる。



概要図表 5-3 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品（スクリーンやバッテリーなど）の交換を容易にする必要がありますかーTotal Yes(国別)

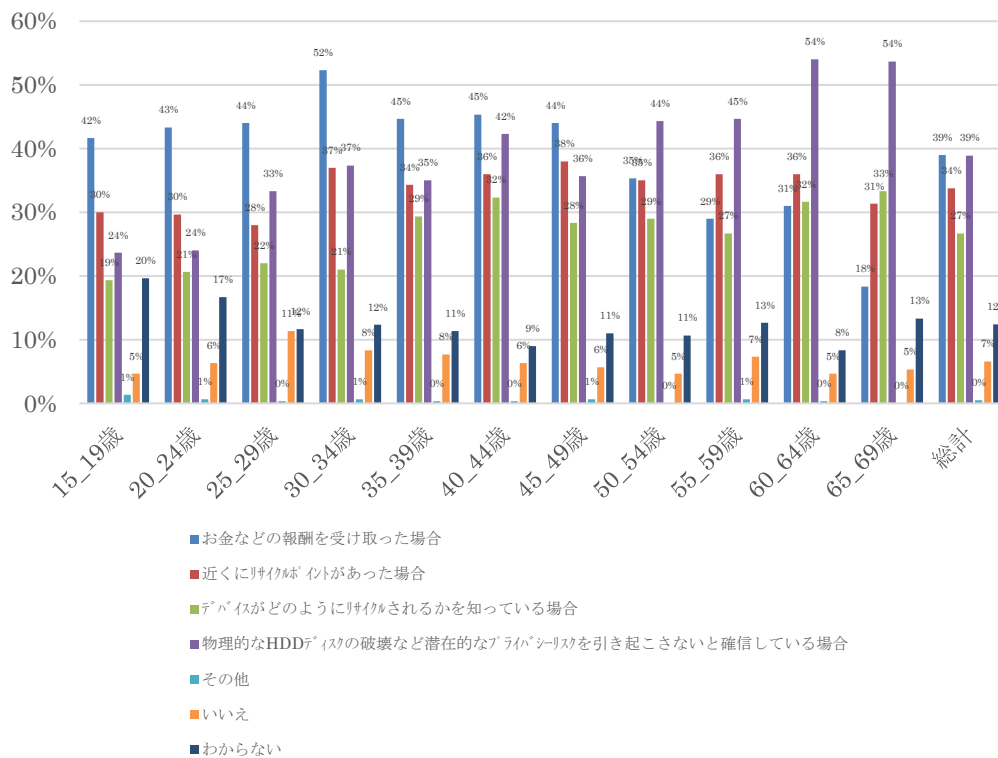
国別に見ると、概要図表 5-3 となり Total Yes で見た場合、あまり高くはなっておらず、日本でのデジタルデバイスの修理等に関する関心は高くはないと考えられる。



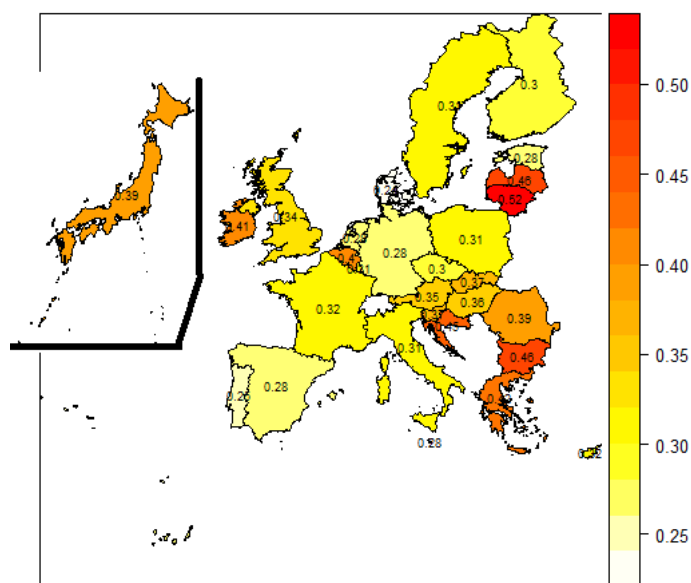
概要図表 6-1 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？
(性別)

次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですかについて訊いたところ、「性別」（概要図表 6-1）では、お金などの報酬を受け取った場合（男性 43%女性 35%）で男性が女性を上回っている。一方、潜在的なプライバシーリスクを引き起こさないと確信している場合（男性 38%女性 40%）では女性の方が男性より上回っている。

加えて、「年代別」（概要図表 6-2）では、49 歳以下の若い世代では「お金などの報酬を受け取った場合」が最も多いことが分かる。一方、50 歳以上の年代では「潜在的なプライバシーリスクを引き起こさないと確信している場合」が最も多いことが分かる。

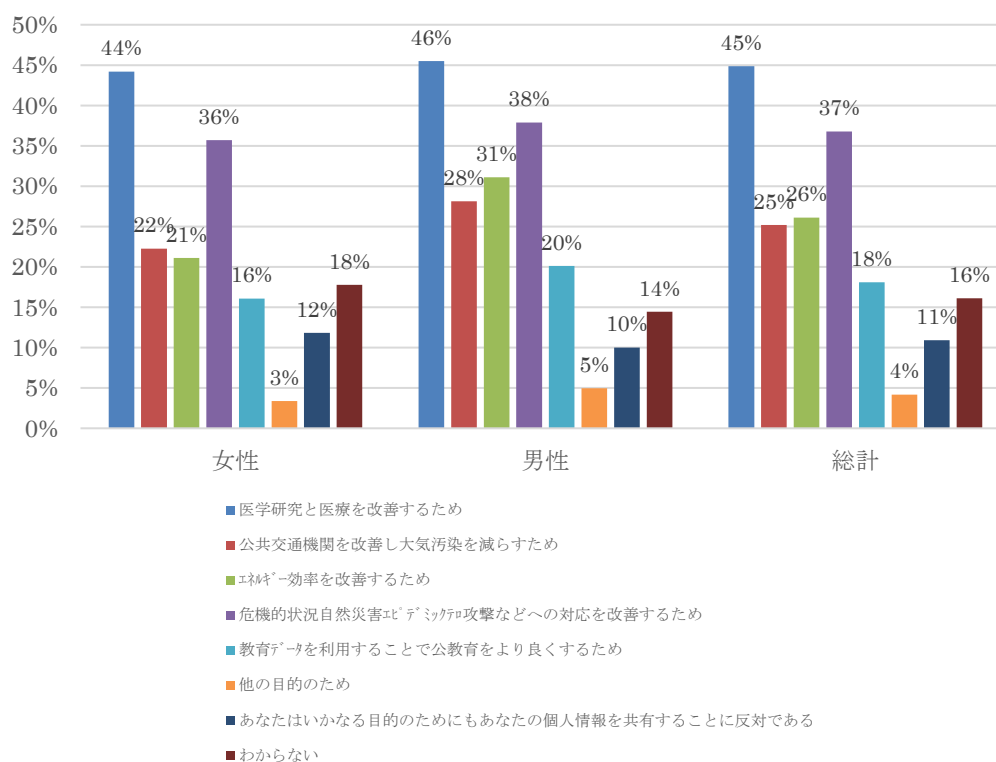


概要図表 6-2 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？（年代別）



概要図表 6-3 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？－お金などの報酬を受け取った場合(国別)

国別で見ると、一部は概要図表 6-3 となっており、日本は特にこれと言って高い値ではない。

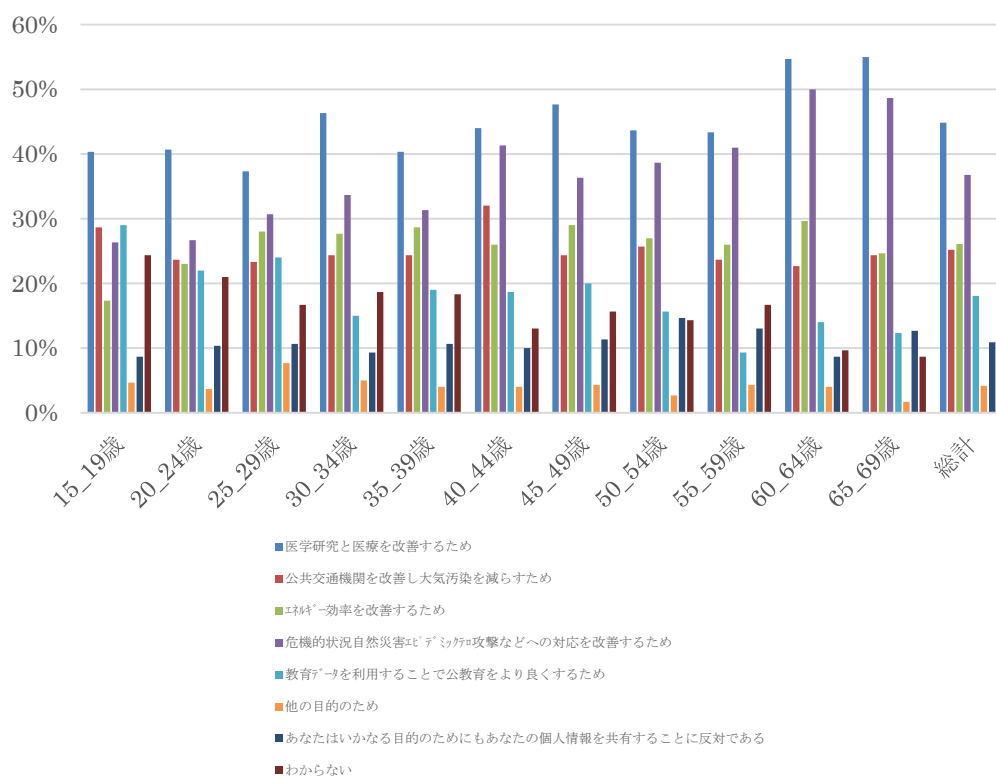


概要図表 7-1 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？(性別)

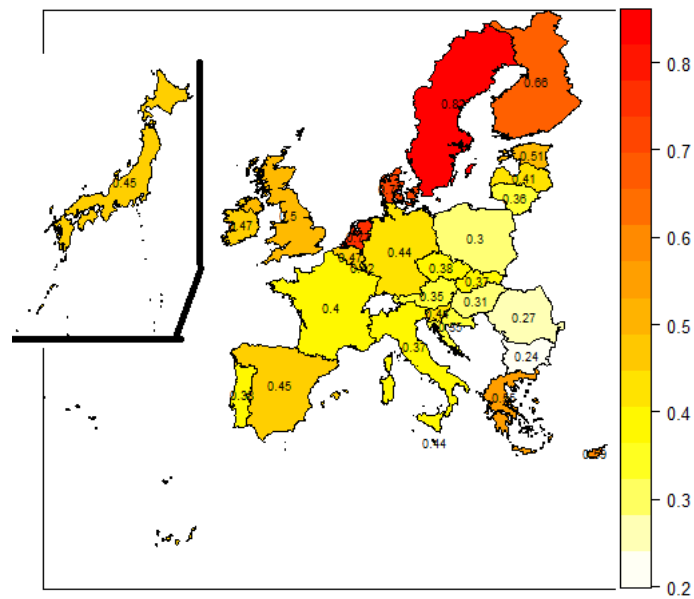
どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますかについて訊いたところ、「性

別」(概要図表 7-1)では、男女によらず、「医学研究と医療を改善するため」(男性 46%女性 44%)、「危機的状況(自然災害、エピソード、テロ攻撃)などへの対応を改善するため」(男性 38%女性 36%)などが高くなっている。

加えて、「年代別」(概要図表 7-2)でも、この構造は基本的には変わらないものの、15_19 歳のカテゴリーで「教育データを利用することで公教育をより良くするため」が 2 番目に多い値となっている。これは公教育サービスを受ける受益者である世代が関心を強く持ったためと推察される。

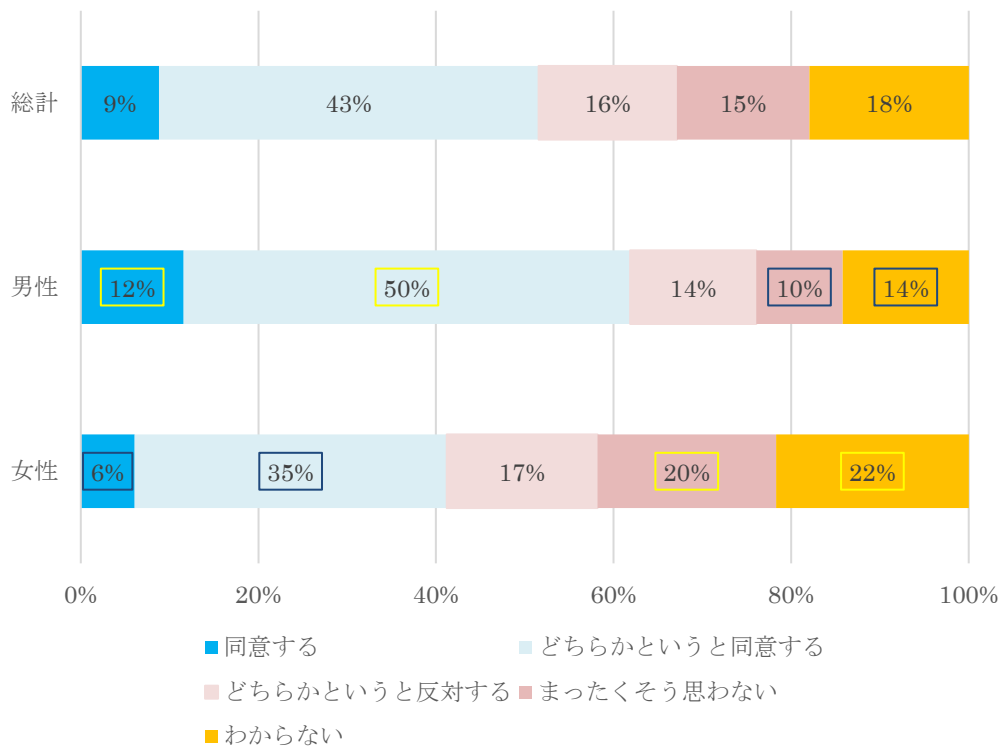


概要図表 7-2 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？(年代別)



概要図表 7-3 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？－医学研究と医療を改善するため(国別)

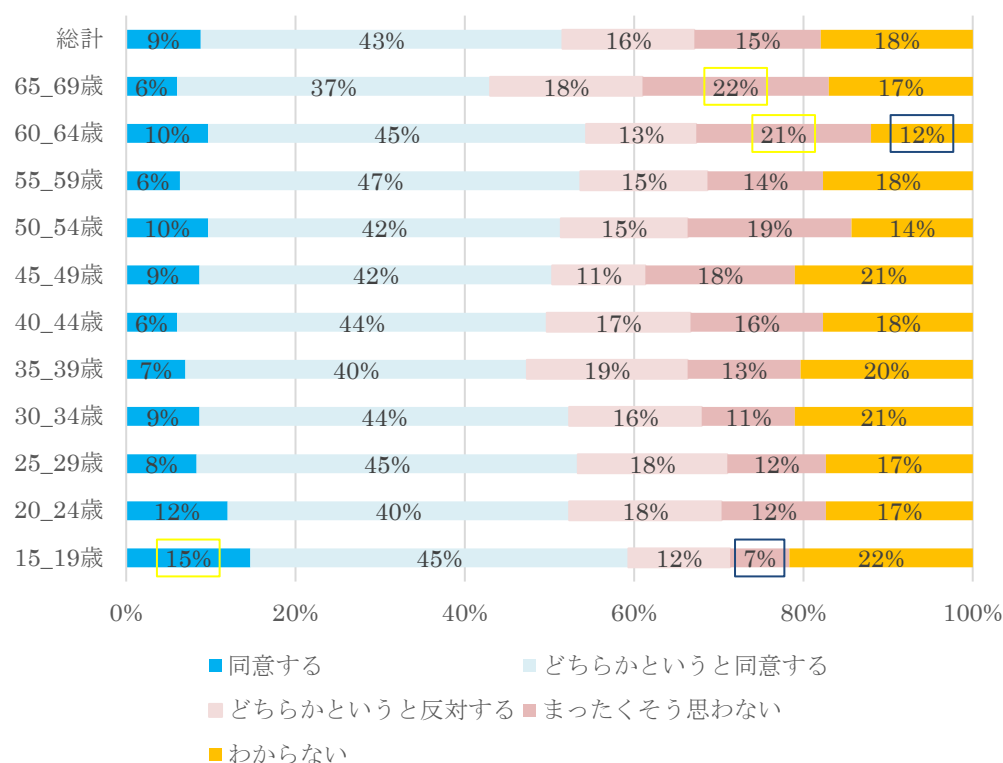
国別に見ると、一部は概要図表 7-3 となっており、日本は特に高い数値ではない。



概要図表 8-1 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますか(性別)

あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますかについて訊いたところ、「性別」(概要図表 8-1)では、「(どちらかという)同意する」(男性 62%女性 41%)などとなっており、男性の方が女性より高くなっている。

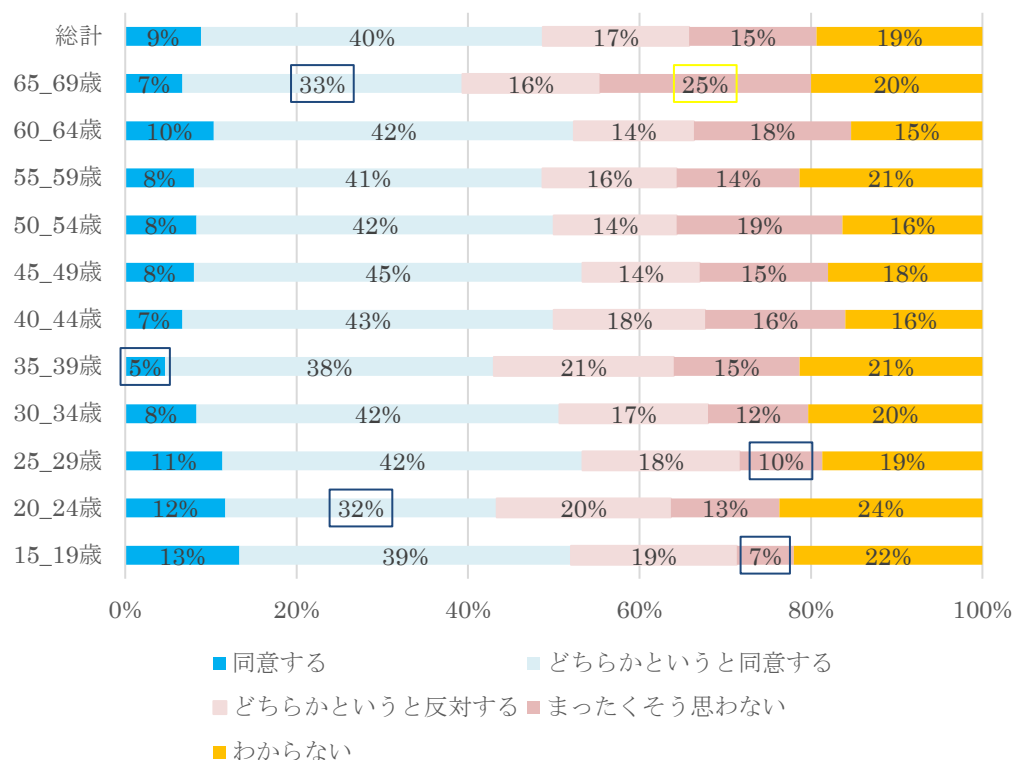
加えて、「年代別」(概要図表 8-2)では、15_19 歳のカテゴリで「(どちらかという)同意する」は 60%となっており、他の年代より高い。これはインターネット調査の特徴かもしれないが、15_19 歳の回答者は日常生活においてデジタル技術の使用に熟練しているものと考えられる。



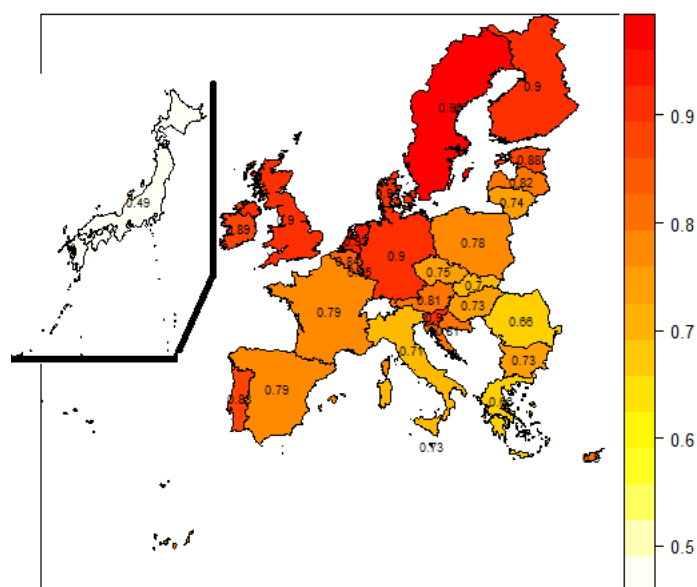
概要図表 8-2 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますか(年代別)

あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますかについて訊いたところ、「性別」(概要図表 9-1) では、「(どちらかという) 同意する」(男性 57%女性 41%) などとなっており、こちらでも男性の方が女性より高くなっている。

加えて、「年代別」(概要図表 9-2) では、特に年代に依拠した変化は見られない。

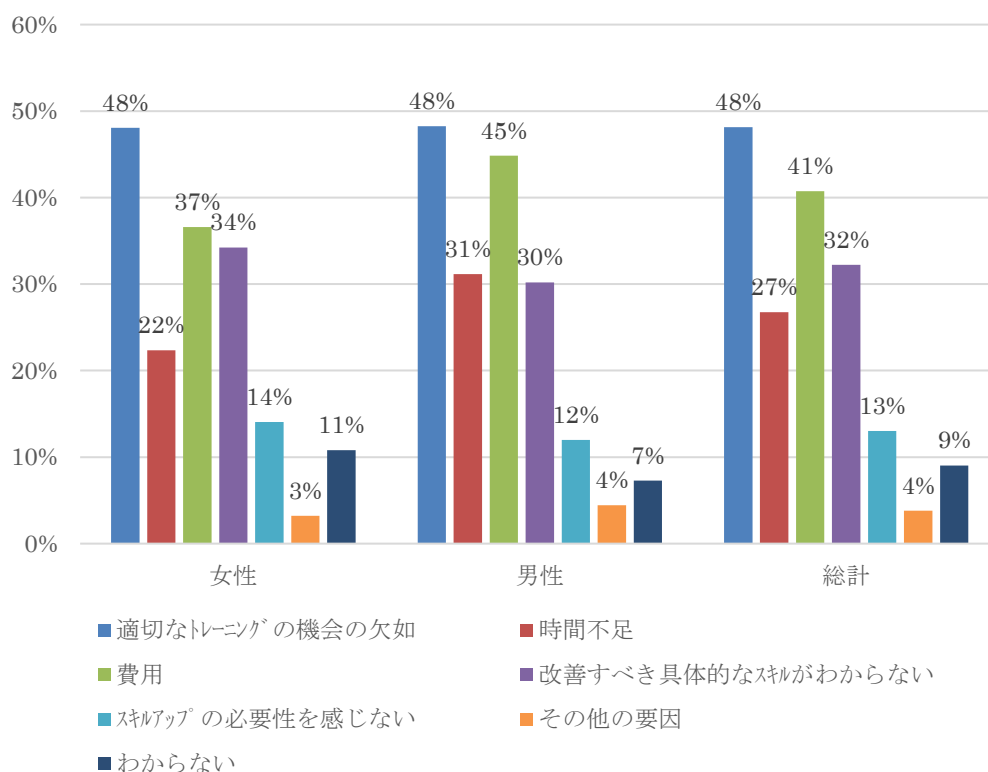


概要図表 9-2 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか(年代別)



概要図表 9-3 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか—Total Agree (国別)

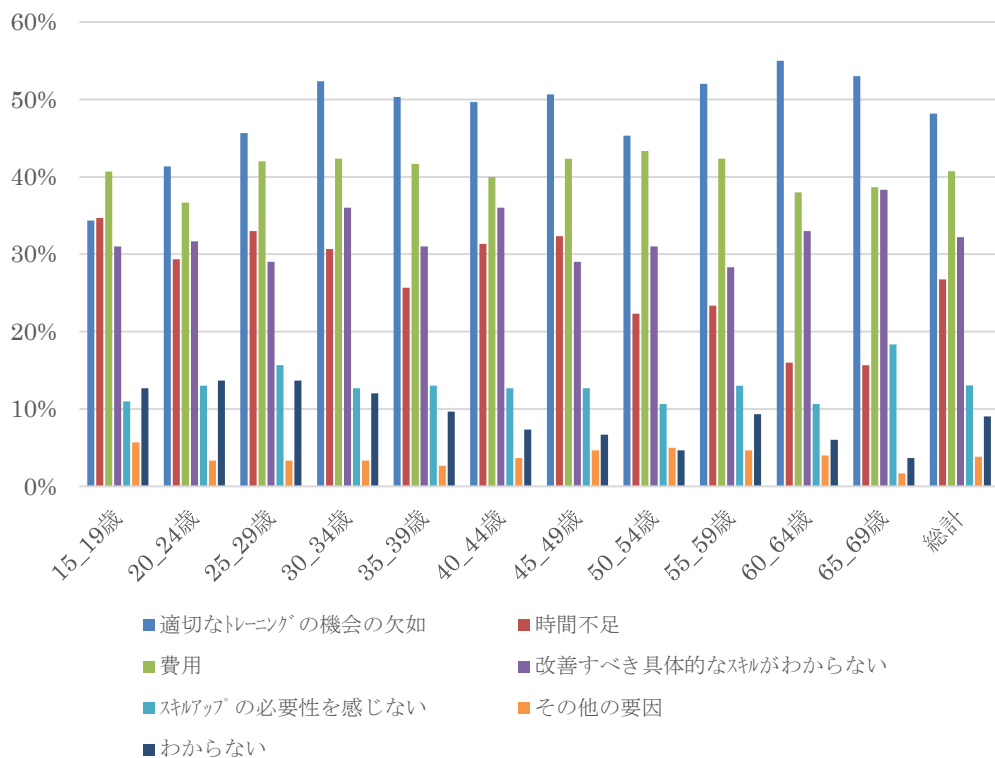
国別に見ると、一部は概要図表 9-3 となっており、日本では全体的に賛同する値は低くなっている。



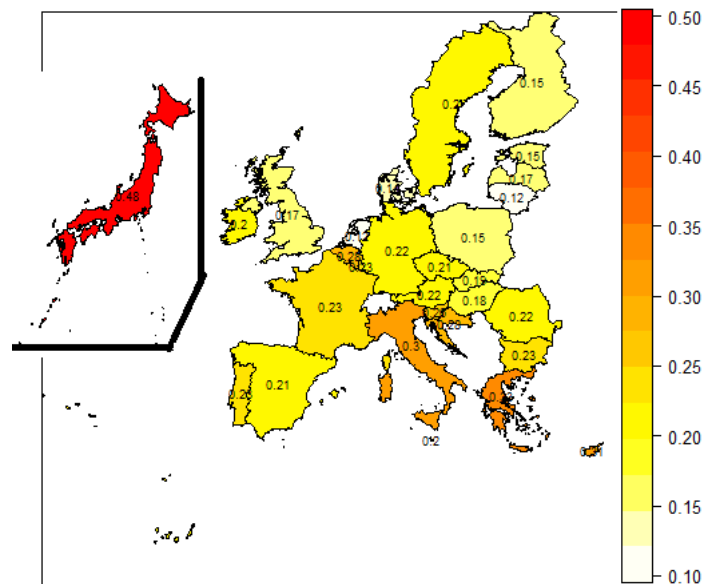
概要図表 10-1 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますか(性別)

デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかについて訊いたところ、「性別」(概要図表 10-1)では、男女ともに「適切なトレーニングの機会の欠如」(男性 48%女性 48%)、「費用」(男性 45%女性 37%)などが高くなっている。

加えて、「年代別」(概要図表 10-2)では、15_19 歳でのみ「費用」が最も高くなっており、次いで「時間不足」となっている。



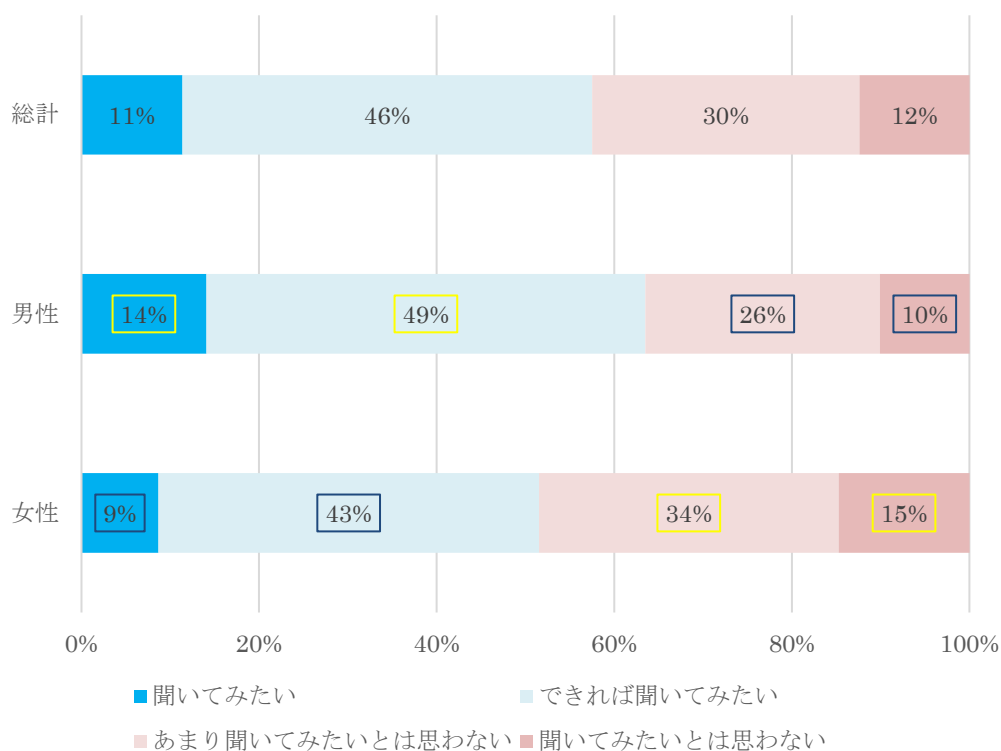
概要図表 10-2 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますか(年代別)



概要図表 10-3 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかー適切なトレーニングの機会の欠如(国別)

国別に見ると、一部は概要図表 10-3 となり、「適切なトレーニングの機会の欠如」が日本で 48% と EU 諸国より高い。

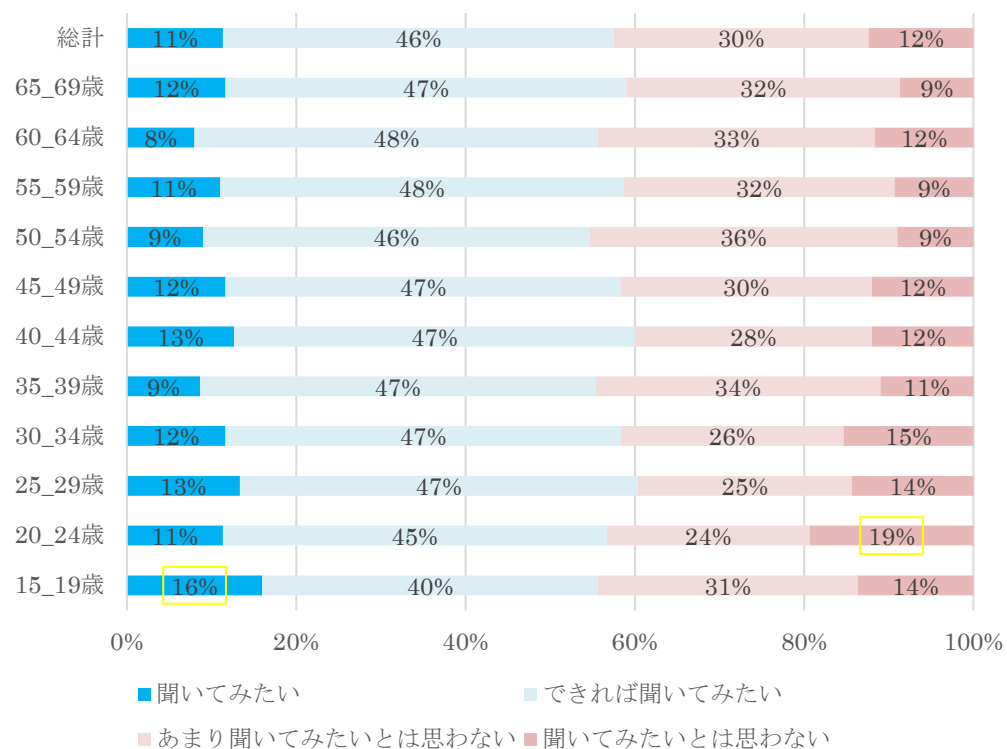
以上から、EU は日本と比べて、インターネット環境の恩恵を実感しており、クラウドなどの普及の違いが回答に出ていると考えられる。また、EU と比べて日本では DX が身の回りに乏しい、即ち体験が乏しいことも深く関係してくると思われる。



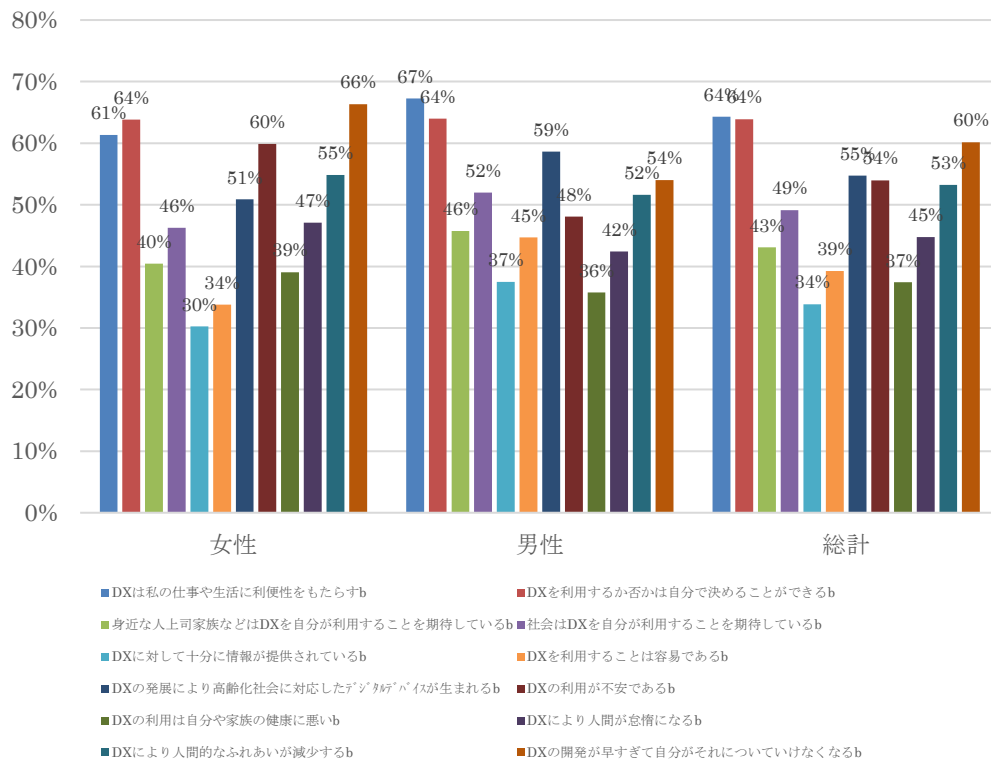
概要図表 11-1 あなたは、機会があれば、DX に関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか(性別)

あなたは、機会があれば、DX に関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますかについて訊いたところ、「性別」(概要図表 11-1)では、「(できれば)聞いてみたい」(男性 63%女性 52%)、などとなっており、男性の方が女性より高くなっている。

加えて、「年代別」(概要図表 11-2)では、特に特定の年代に対して大きな傾向は見られない。



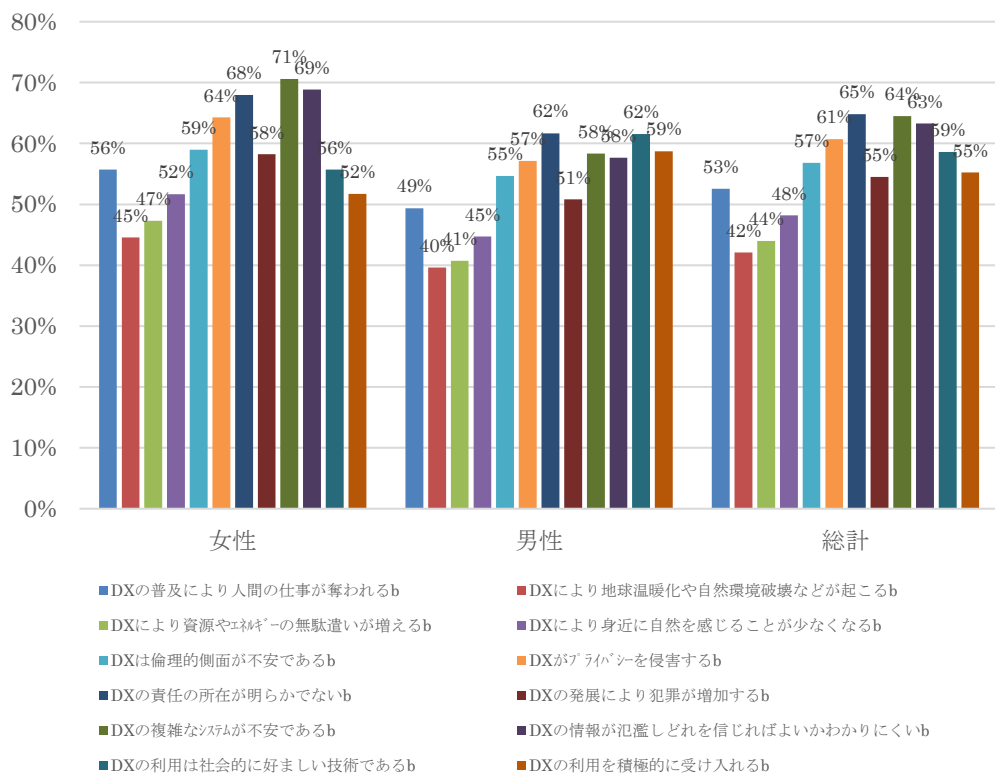
概要図表 11-2 あなたは、機会があれば、DX に関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか(年代別)



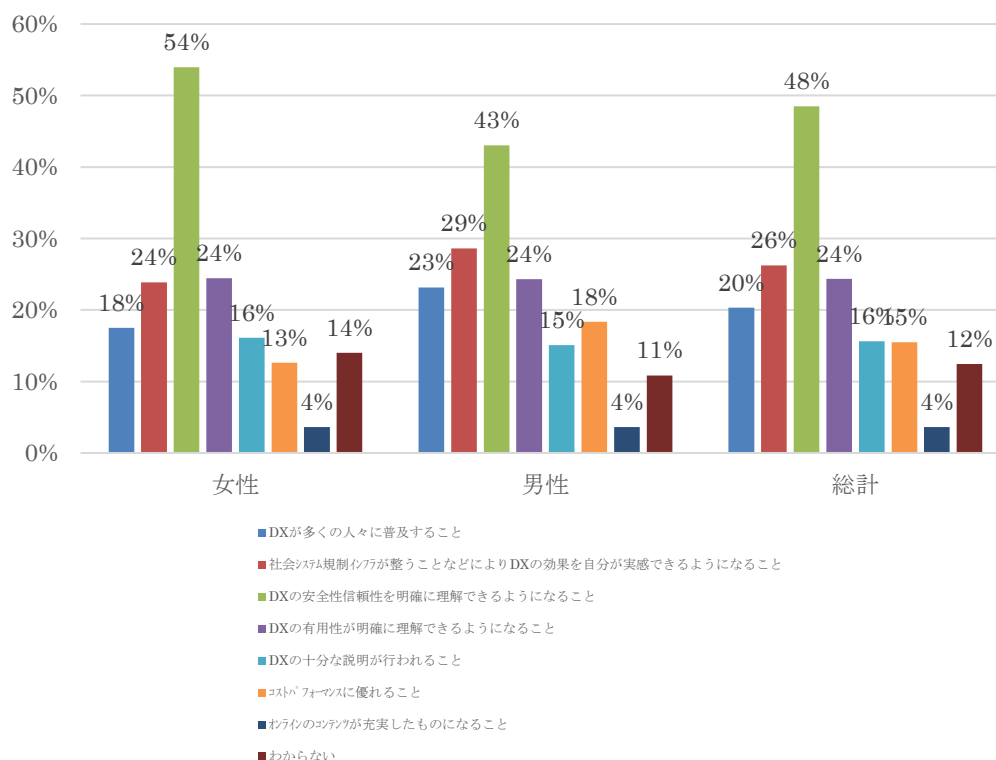
概要図表 12-1 DX に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか(性別①)

DX に関する次の意見や考えについて、どうお考えですかについて訊いたところ、「性別①」(概要図表 12-1)では、高い順に「DX は私の仕事や生活に利便性をもたらす」(男性 67%女性 61%)、「DX を利用するか否かは自分で決めることができる」(男性 64%女性 64%)、「DX の開発が早すぎて自分がそれについていけなくなる」(男性 54%女性 66%)などとなっており、概ね男性の方が女性より高くなっている。

また、「性別②」(概要図表 12-2)では、高い順に「DX の責任の所在が明らかではない」(男性 62%女性 68%)、「DX の複雑なシステムが不安である」(男性 58%女性 71%)などとなっており、DX に対して不安な意識の側面も見せている。



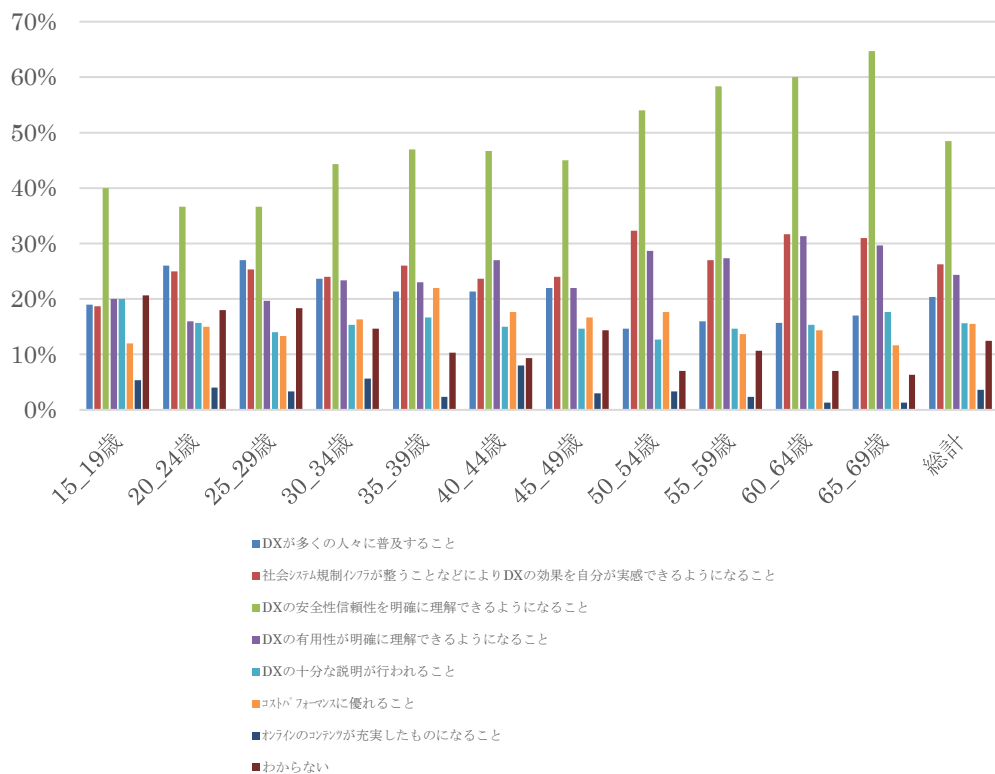
概要図表 12-2 DX に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか(性別②)



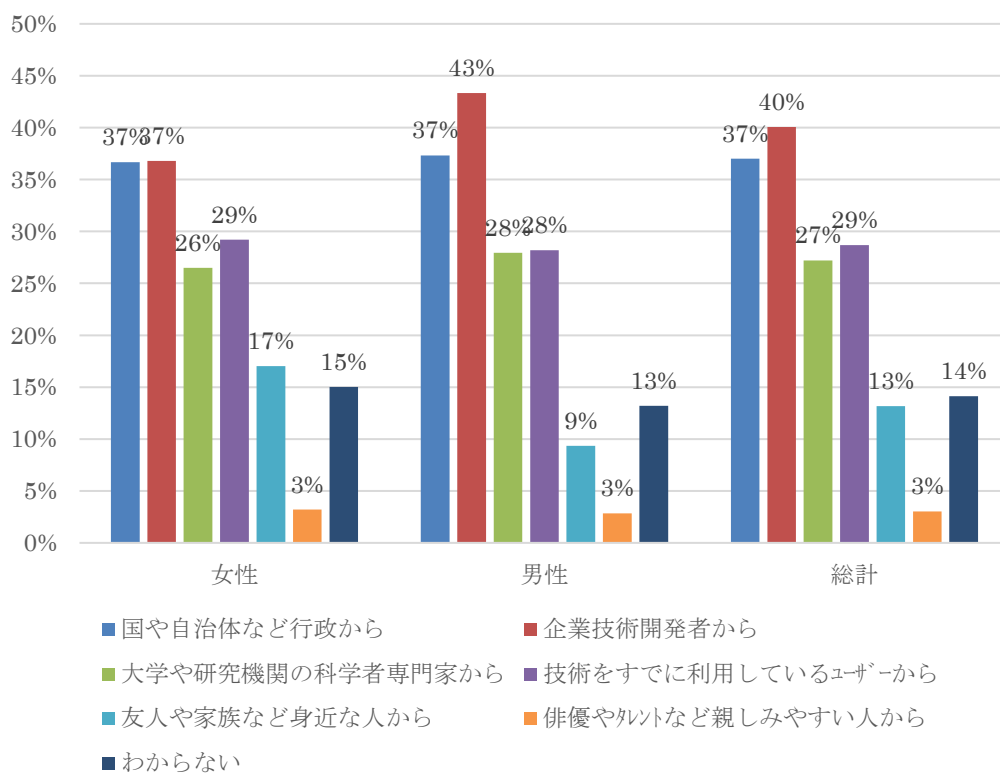
概要図表 13-1 あなたが DX の利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか(性別)

あなたが DX の利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますかについて訊いたところ、「性別」(概要図表 13-1)では、高い順に「DX の安全性・信頼性を明確に理解できるようになること」(男性 43%女性 54%)、「社会システム(規制、インフラ)が整うなどにより DX の効果を自分を実感できるようになること」(男性 29%女性 24%)などとなっている。

また、「年代別」(概要図表 13-2)では、29 歳以下で「DX が多くの人々に普及すること」が 2 位に選ばれており、DX の効果に期待する意見が見られる。



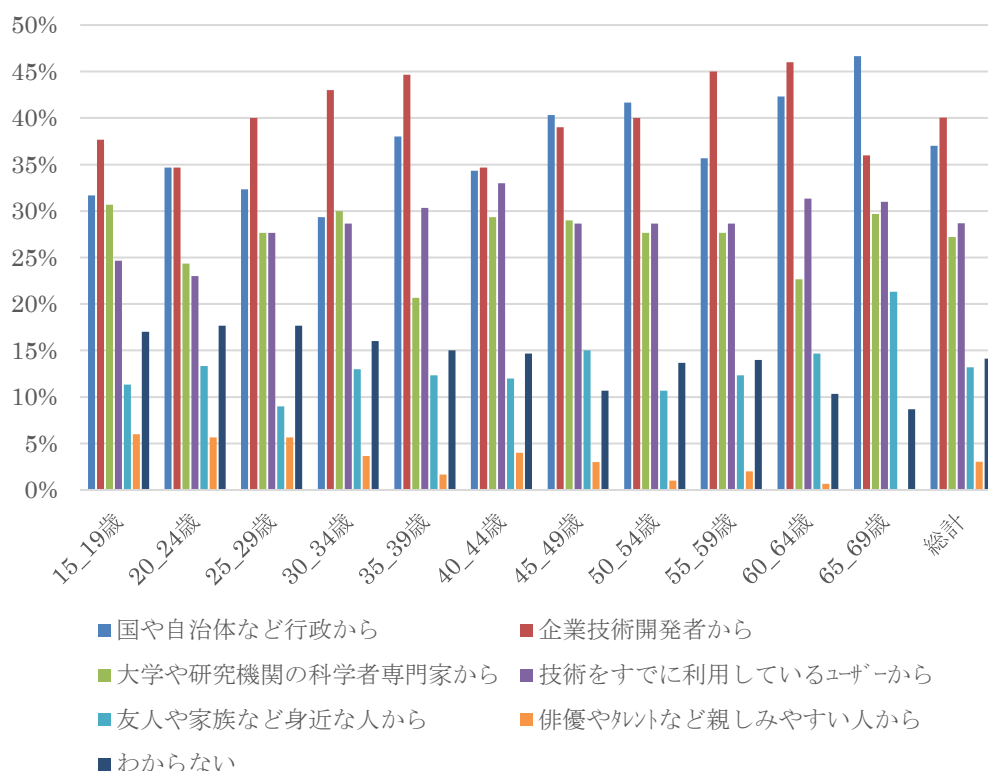
概要図表 13-2 あなたが DX の利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか(年代別)



概要図表 14-1 あなたが DX の利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか(上位 2 つまでを選択、性別)

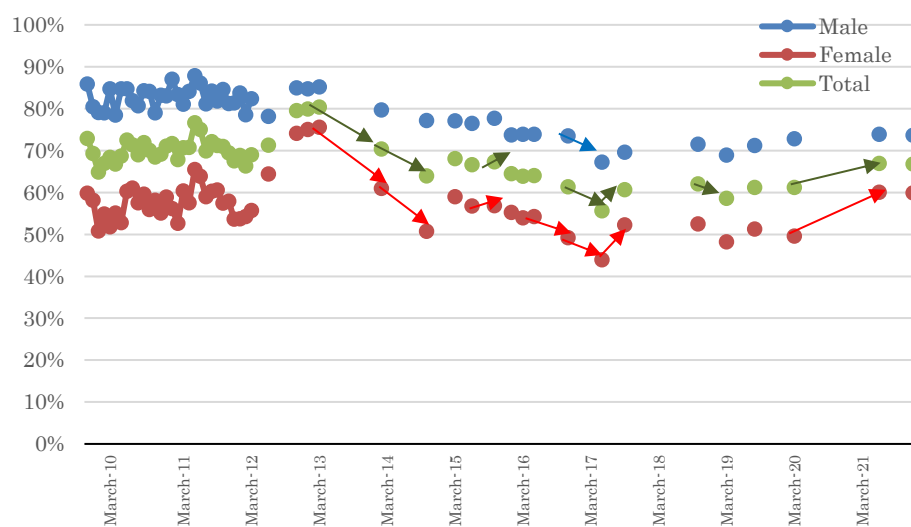
あなたが DX の利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますかについて訊いたところ、「性別」(概要図表 14-1)では、高い順に「企業、技術開発者から」(男性 43%女性 37%)、「国や自治体など行政から」(男性 37%女性 37%)などとなっている。

また、「年代別」(概要図表 14-2)では、45 歳から 54 歳以下、65 歳から 69 歳以下で「国や自治体など行政から」が 1 位に選ばれており、行政に期待する年代層の意見が見られる。

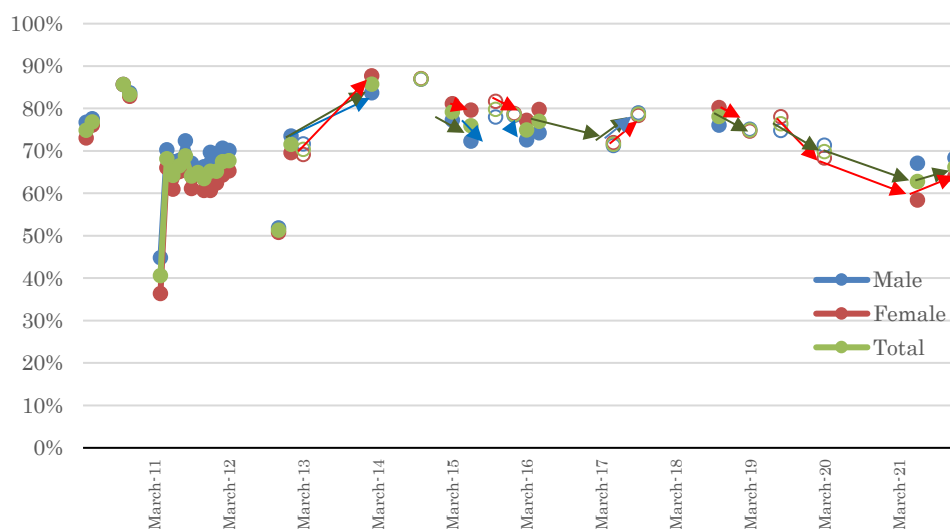


概要図表 14-2 あなたが DX の利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか(上位 2 つまでを選択、年代別)

2) DX 以外の科学技術政策に関する変量について回答された割合



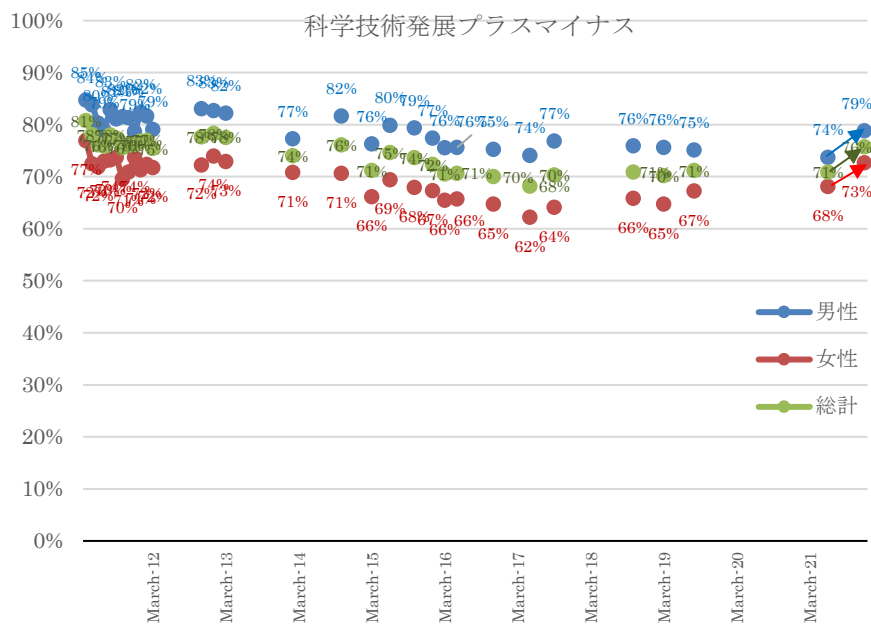
概要図表 15 科学技術関心度の性別変化



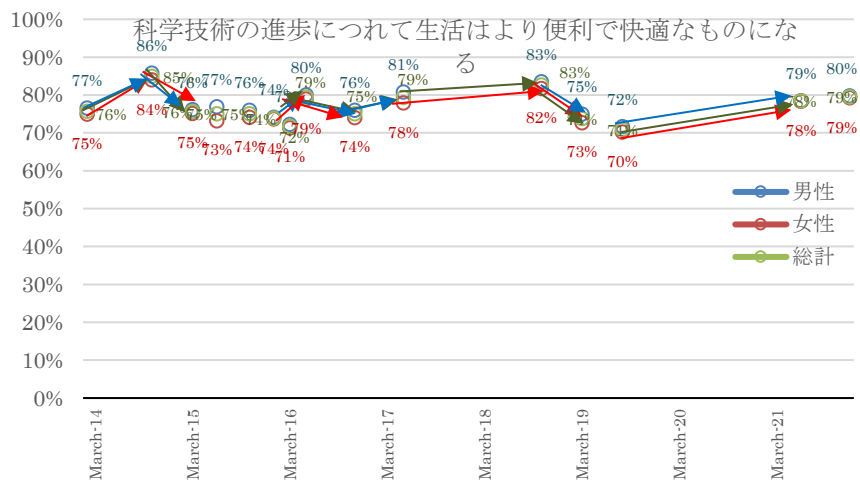
概要図表 16 科学者の信頼度の性別変化

科学技術関心度(概要図表 15)は横ばいになっている一方、科学者の信頼度(概要図表 16)は女性の信頼上昇により、全体上昇している。

特に科学者の信頼度に関しては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う専門家間の意見の相違が見られた結果、どれを信じればよいかわからなくなって結果、信頼度の低下に結びついていたと考えられる。今回の調査でその傾向は回避されつつあることが分かった。

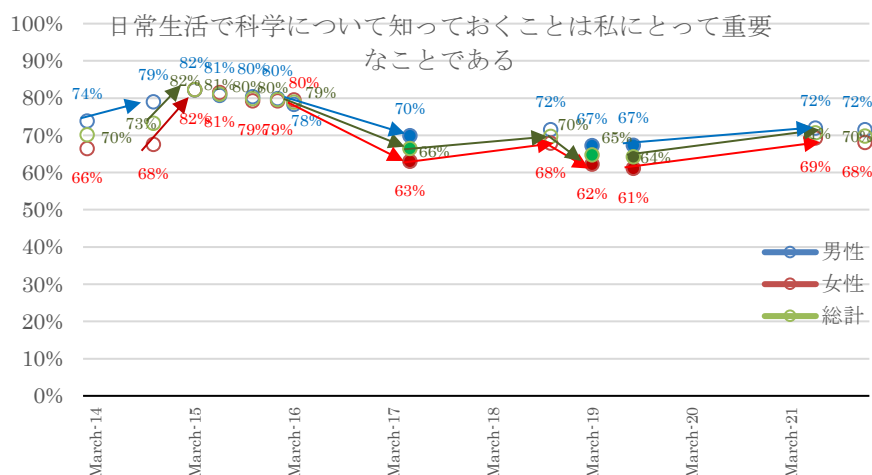


概要図表 17 科学技術発展をプラスとするかマイナスとするかの性別変化

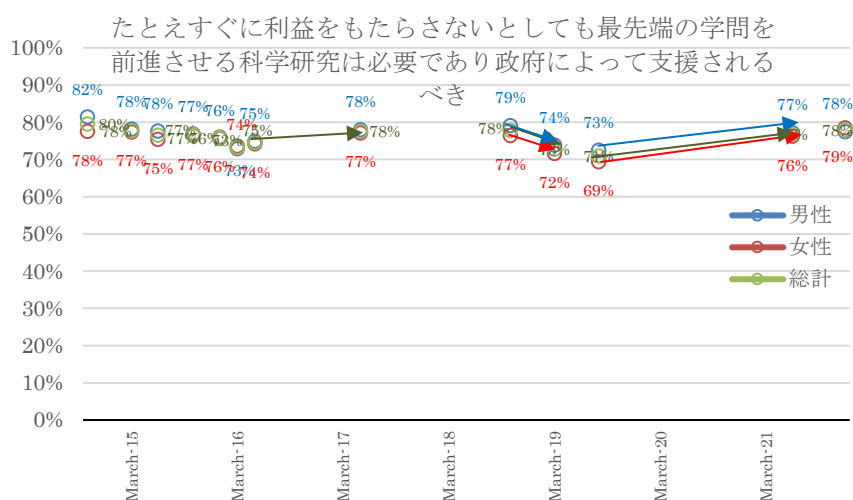


概要図表 18 科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになるの性別変化

科学技術発展をプラスとするかマイナスとするか(概要図表 17)では男女ともに上昇している一方、科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになる(概要図表 18)では男女ともに変化がない傾向にある。



概要図表 19 日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことであるの性別変化



概要図表 20 たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべきの性別変化

また、日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことである(概要図表 19)では男女ともに平坦であり、たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべき(概要図表 20)でも男女ともに変化は見られない傾向にある。

(4) おわりに

本調査の実施に際し、多大な御協力を頂いた皆様をはじめとする関係者の方々に心から感謝申し上げます。

(5) 参照文献

[1] Special Eurobarometer 503, Attitudes towards the impact of digitalisation on daily lives, December 2019, ©European Union, 2020.

1. はじめに

科学技術・学術政策研究所(以下 NISTEP)では、科学技術に関する国民意識データを収集し、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資することを目的として、2009 年度から、「科学技術に関する国民意識調査」を実施している。

本 2021 年度調査(2021 年 12 月調査)は、15 歳から 69 歳までの男女合計 3,300 人にインターネットを使って調査したものである。

2. 調査の概要

本調査は、科学技術イノベーション政策の立案・推進に資する基礎データの提供を目的として、2009 年度以来、NISTEP が科学技術に関する国民意識を把握するために継続的に実施している。

(1)調査対象

インターネット調査会社にモニター回答者として登録している者である。

(2)調査期間及び調査方法

2021 年 12 月にインターネットによって実施した。

サンプル数は N=3,300(2 社×1,650)で、回答者年齢は 15-69 歳、サンプリングの層化として、男女同数、15-19 歳、20-24 歳、25-29 歳…60-64 歳、65-69 歳で同数(2社×150)とした。

(3)調査時点

2021 年 12 月 17 日から 12 月 22 日にかけて実施した。

(4)調査項目

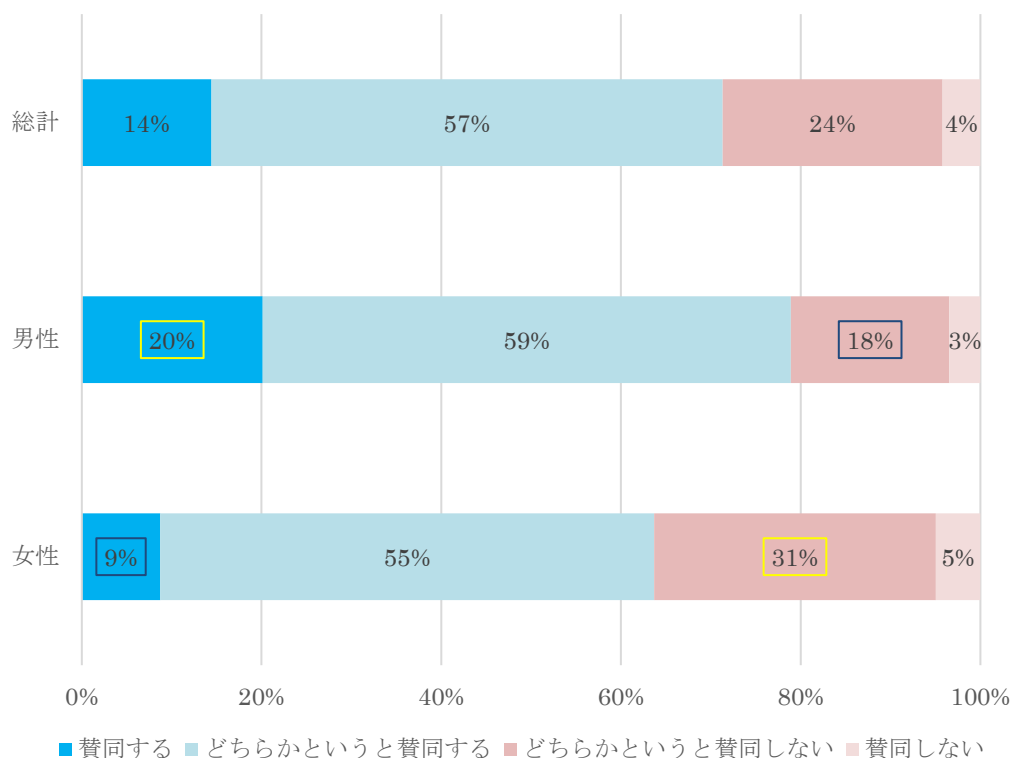
今般の調査では特に DX の影響を把握することが目的である。

また、回答者には、居住している都道府県、学校での専攻分野、子どもの有無、科学技術に関するニュースや話題への関心の有無などの個人の属性・意識についても尋ねた。

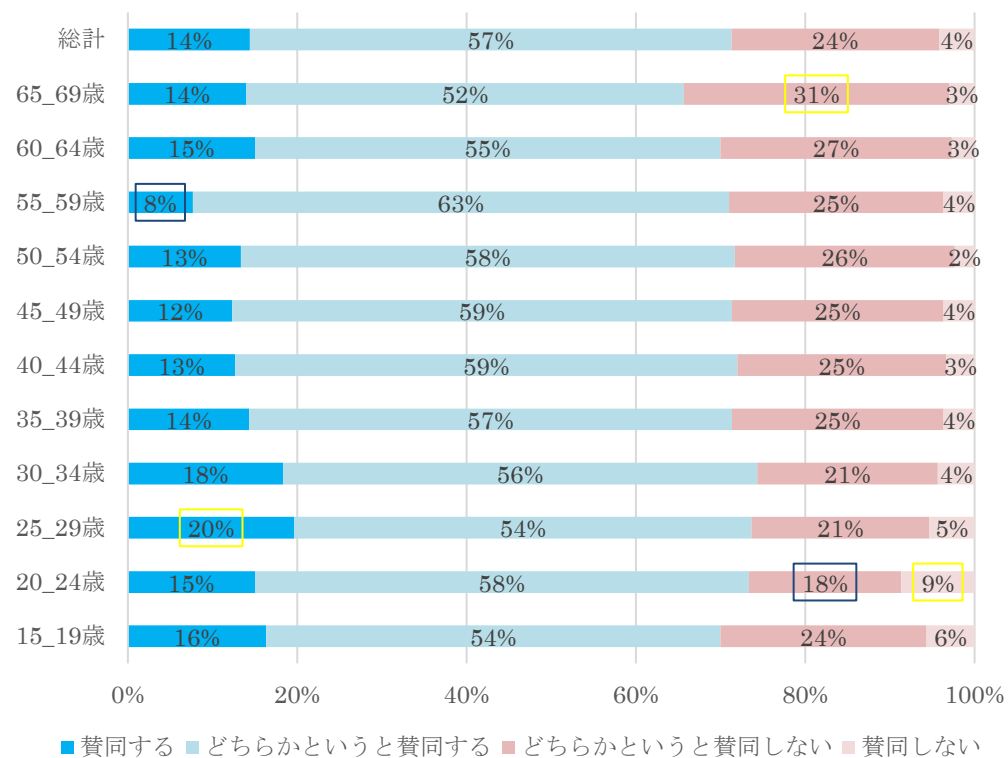
3. 調査結果

概要では、調査結果のうち、DX に関する主な結果について示す。

(1)DX の概要について回答された割合



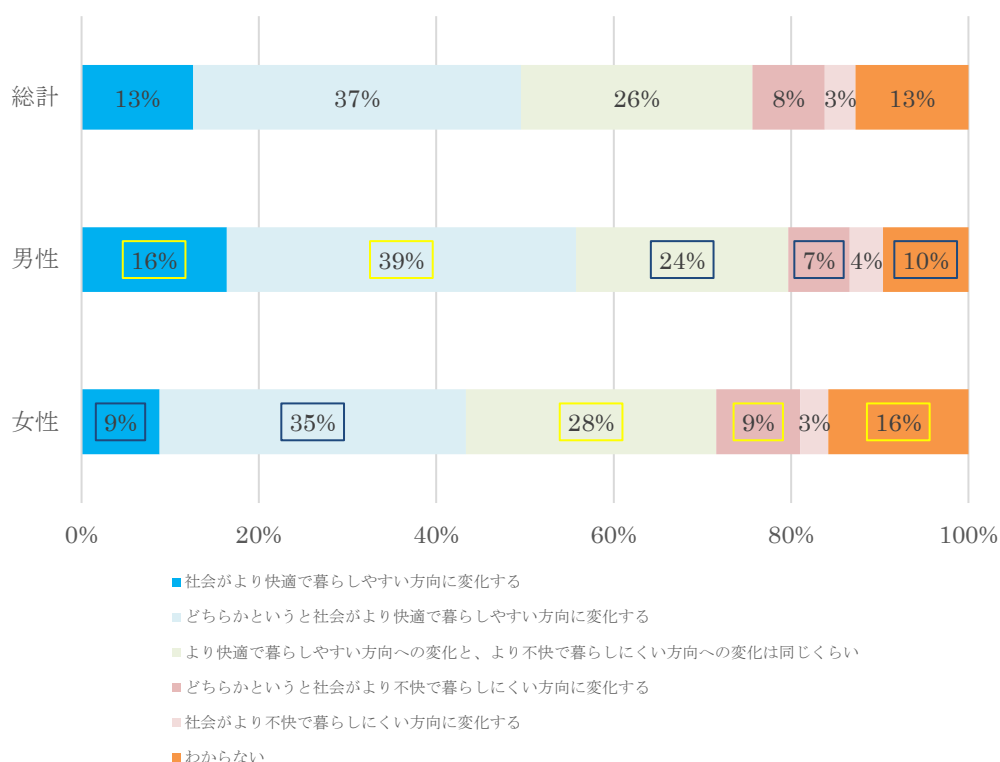
図表 1-1 DX 化の推進に関して、あなたは賛同しますか(性別)



図表 1-2 DX 化の推進に関して、あなたは賛同しますか(年代別)

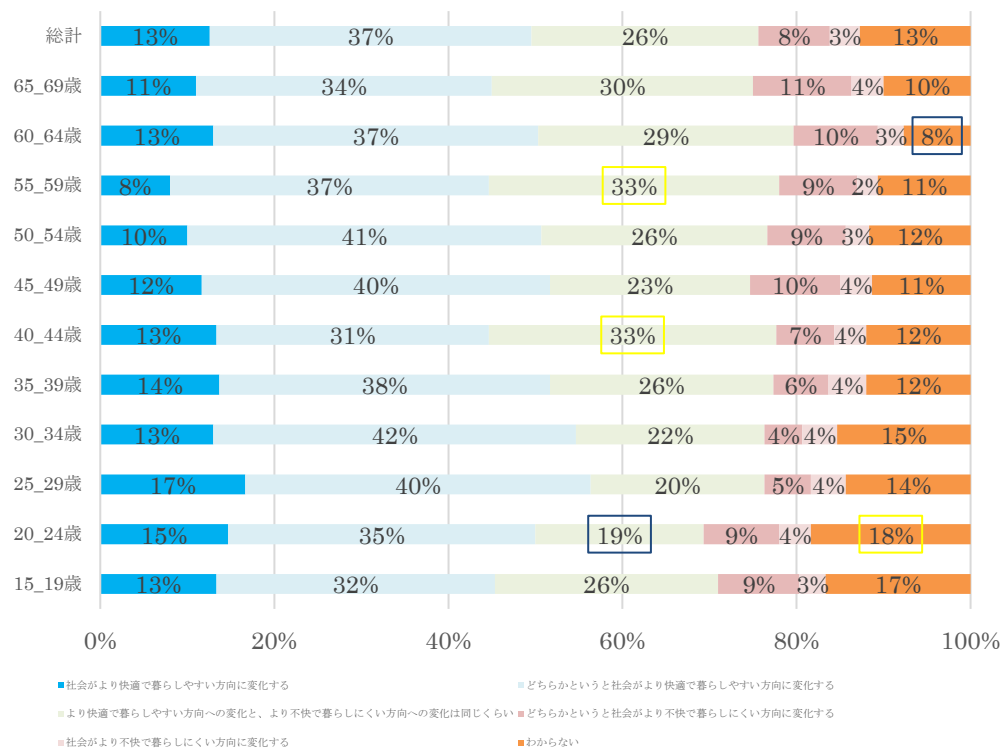
本稿におけるクロス表の分析においては調整残差分析を行い、有意性水準 1%以下の場合、有意に高い場合は当該カテゴリーの数値を黄色の四角で、有意に低い場合は青色の四角で囲っている。

DX への賛同について伺ったところ、「性別」(図表 1-1)では男性((どちらかというと)賛同する 79%)の方が女性((どちらかというと)賛同する 64%)よりも高い一方、「年代別」(図表 1-2)ではあまり変わらないことが判明した。



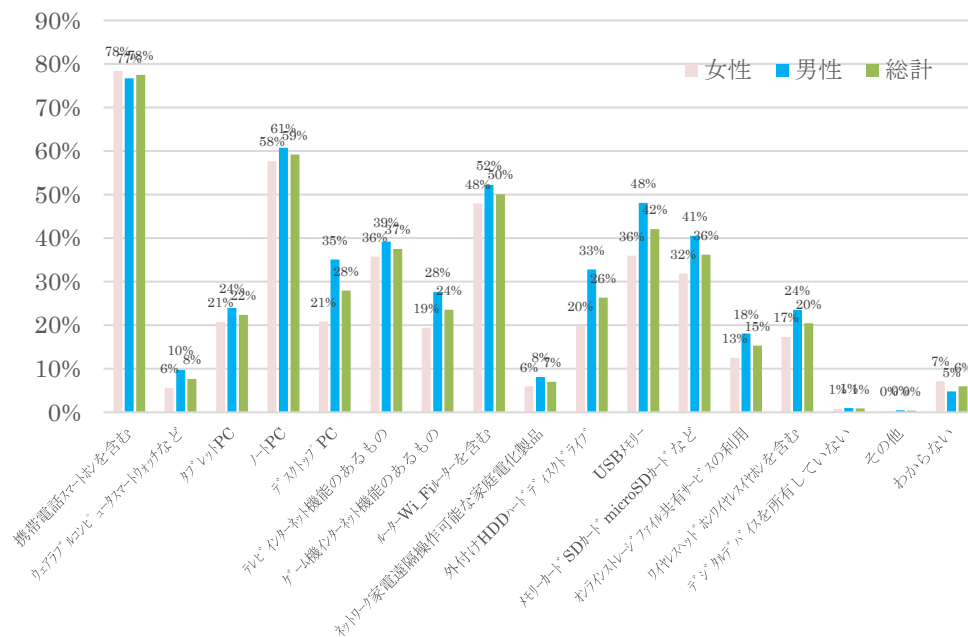
図表 2-1 DX 化が進むことで、社会全体が変わっていく方向性について、あなたはどのように感じますか(性別)

DX 化が進むことで、あなたはどのように感じるか訊いたところ、こちらも「性別」(図表 2-1)では男性((どちらかというと)社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する 55%)の方が女性((どちらかというと)社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する 44%)よりも高い一方、「年代別」(図表 2-2)ではあまり変わらないことが判明した。



図表 2-2 DX 化が進むことで、社会全体が変わっていく方向性について、あなたはどのように感じますか(年代別)

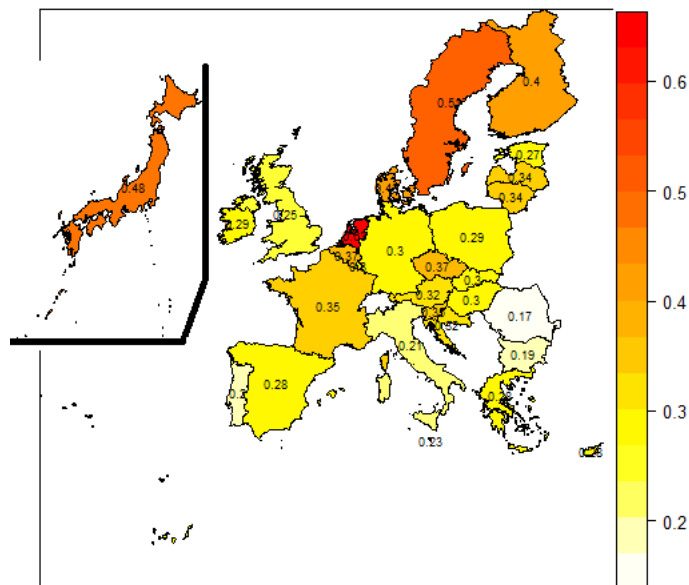
具体的な DX 化実現に関連して、あなたが所有または家族と共有するデジタルデバイスについて訊いたところ、「性別」(図表 3)では男性の方が女性よりも高いのは、デスクトップ PC (男性 35% 女性 21%)、ゲーム機 (男性 28% 女性 19%)、外付け HDD (男性 33% 女性 20%)、USB メモリー (男性 48% 女性 36%)、メモリーカード (男性 41% 女性 32%) など男性が女性を上回っている。



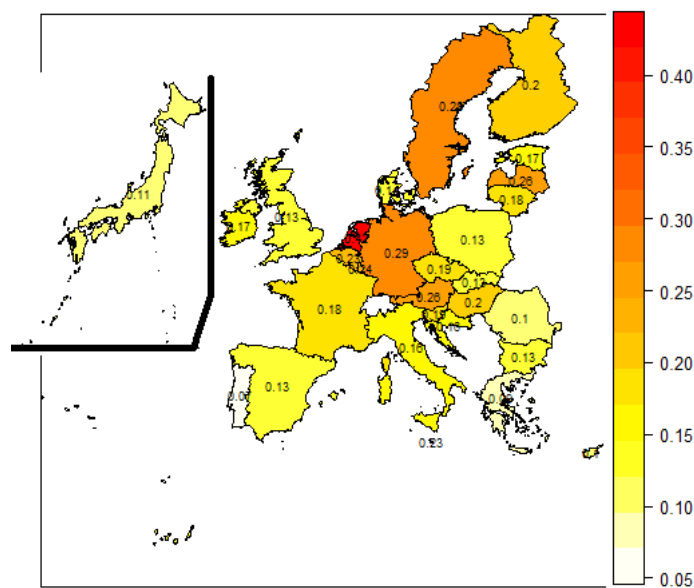
図表 3 具体的な DX 化実現に関連して、あなたが所有または家族と共有するデジタルデバイス（携帯電話（スマートフォン）、TV（通信機能があるもの）、ゲーム機（通信機能があるもの）、PC など）について考えてみてください。どのデバイスを所有または共有していますか（性別）

最後に交換したデジタルデバイス（携帯電話、タブレット、ラップトップなど）について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたかについて訊いたところ、「性別」（図表 4-1）では男性の方が女性よりも高いのは、新しい機能やサービスを備えたデバイスが必要だった（男性 16%女性 10%）などで男性が女性を上回っている。

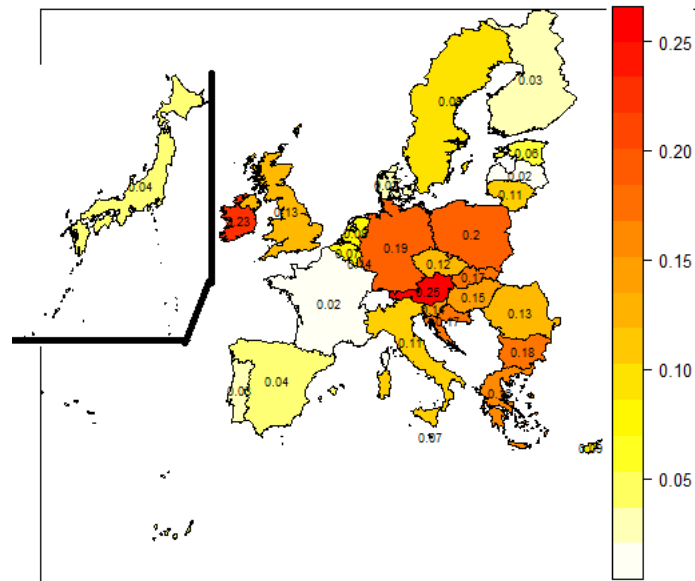
国別^[1]で見ると、図表 4-2 から図表 4-12 となり、日本は EU 諸国と比べて「古いデバイスが壊れた」（47%）、「古いデバイスのパフォーマンスが大幅に低下した」（48%）が高くなっている。あと「わからない」（8%）も EU 諸国と比べて高くなっているが、これはインターネット調査と世論調査という調査方法の違いによるものと考えられる。他の設問でも日本は「わからない」の割合が大きい。



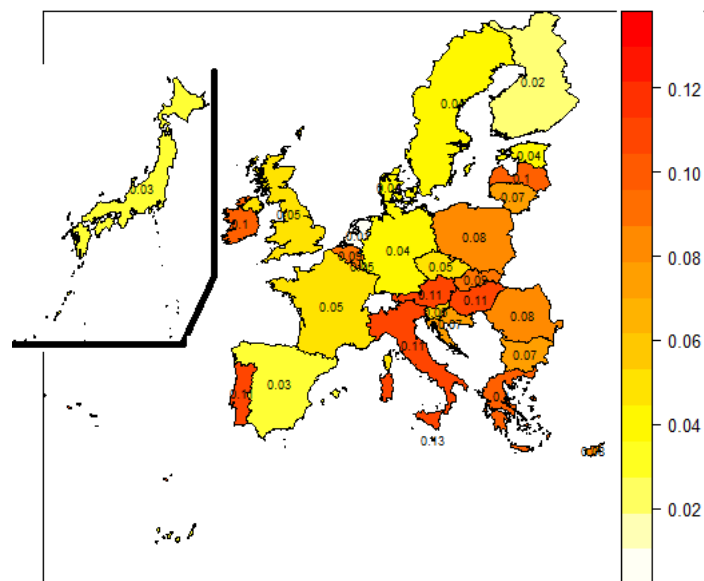
図表 4-3 最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか？－古いデバイスのパフォーマンスが大幅に低下した(国別)



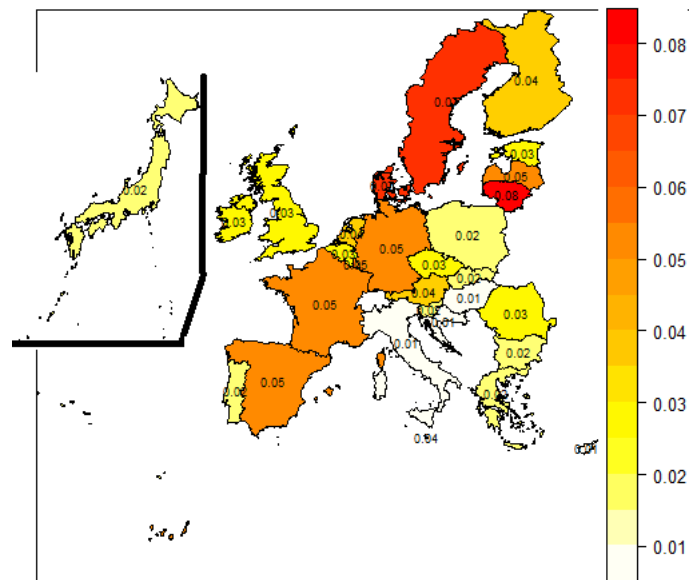
図表 4-4 最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか？－特定のアプリケーションまたはソフトウェアが古いデバイスで動作を停止した(国別)



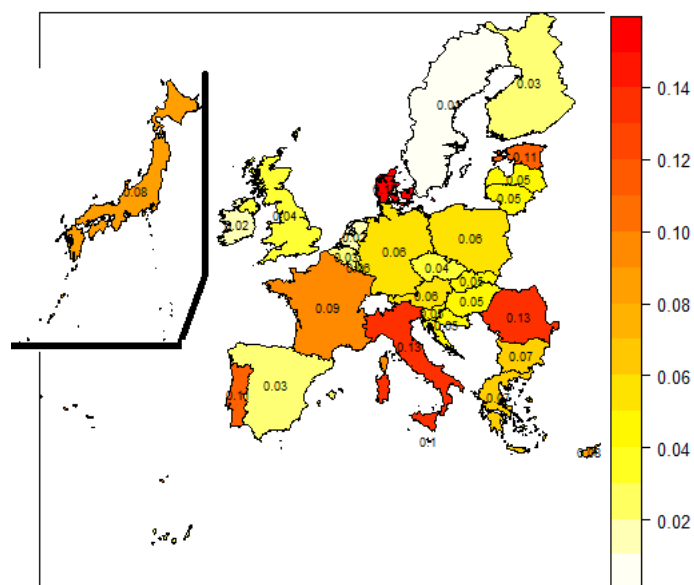
図表 4-5 最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか？ープロバイダーとの契約の一環として新しいデバイスを受け取った(国別)



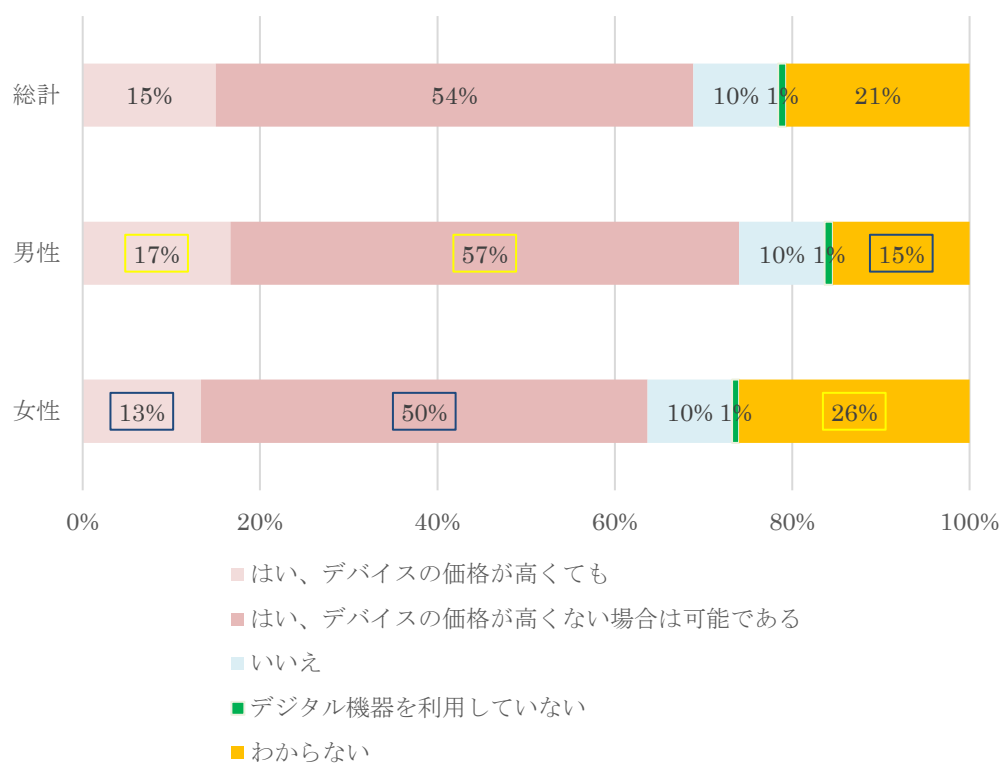
図表 4-6 最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか？ーあなたは市場で最新のデバイスを持っているのが好きだ(国別)



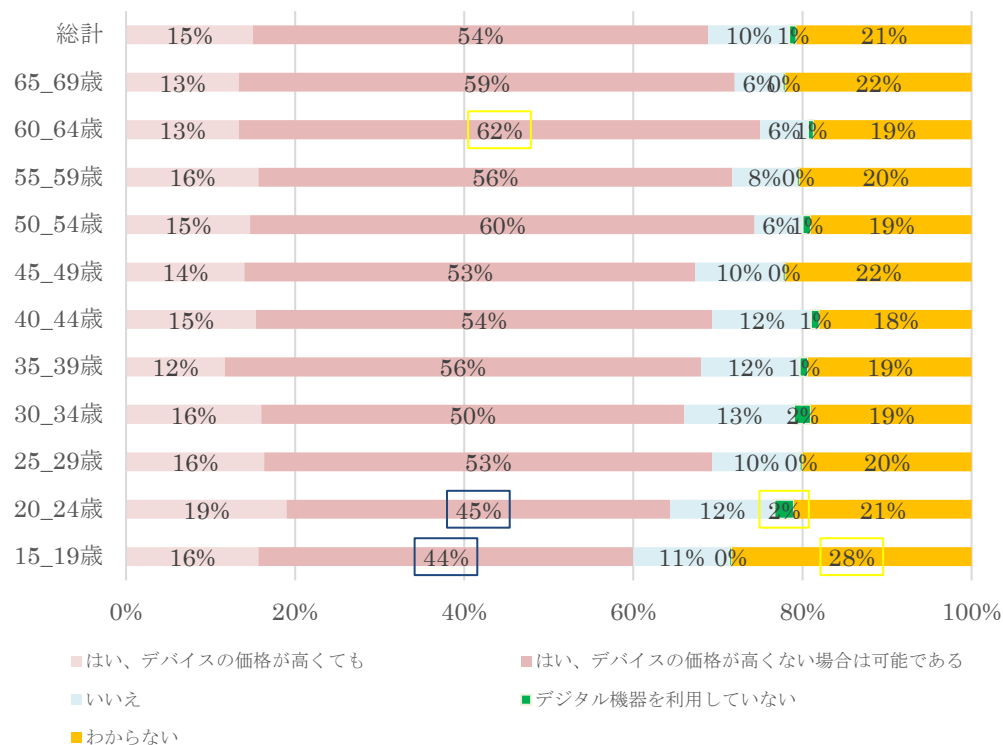
図表 4-9 最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか？－その他(国別)



図表 4-10 最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか？－デジタルデバイスを交換していない(国別)



図表 5-1 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品(スクリーンやバッテリーなど)の交換を容易にする必要がありますか(性別)

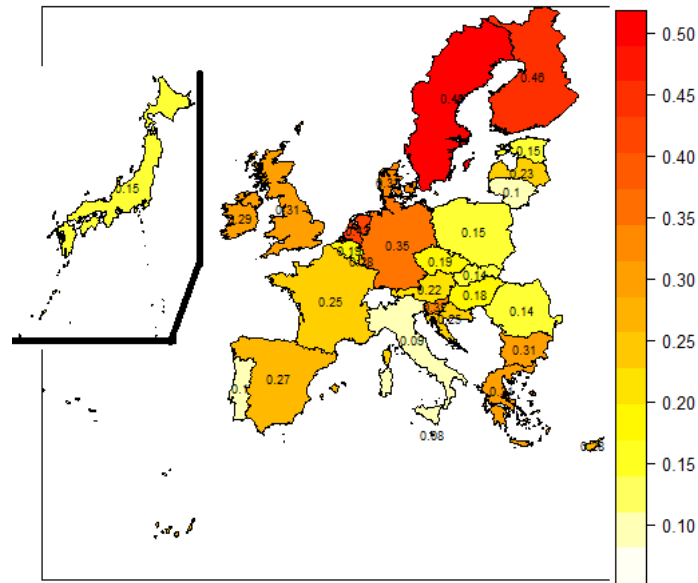


図表 5-2 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品(スクリーンやバッテリーなど)の交換を容易にする必要がありますか(年代別)

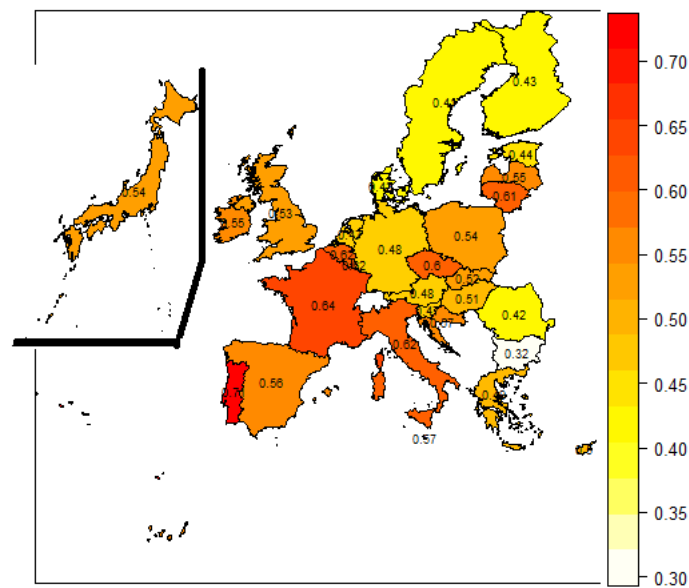
メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品(スクリーンやバッテリーなど)の交換を容易にする必要がありますかについて訊いたところ、「性別」(図表 5-1)では、はい(男性 74%女性 63%)で男性が女性を上回っている。

加えて、「年代別」(図表 5-2)では、24 歳以下の若い世代では「はい」が少ない(15_19 歳 60%、20_24 歳 64%)ことが分かる。若い世代ではデジタルデバイスの修理や交換に関する意識は比較的低いと考えられる。

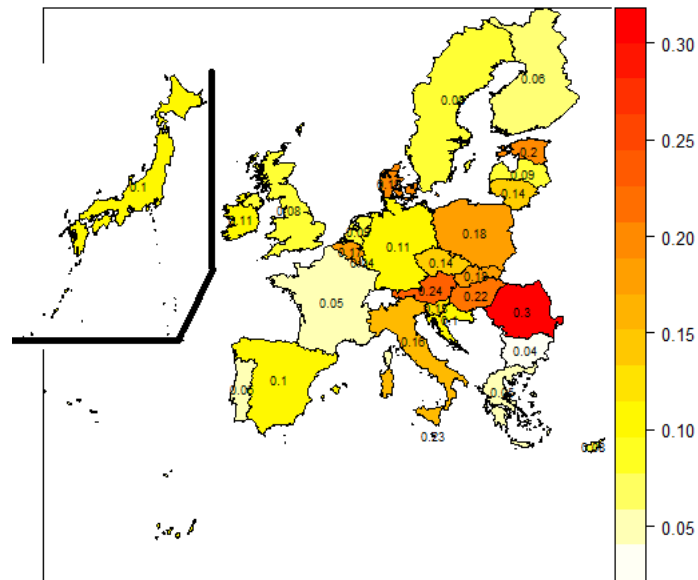
国別に見ると、図表 5-3 から図表 5-8 となり、「はい、デバイスの価格が高くない場合は可能である」(54%)で高い割合となっているが、Total Yes で見た場合、あまり高くなっておらず、デジタルデバイスの修理等に関する関心は高くないと考えられる。



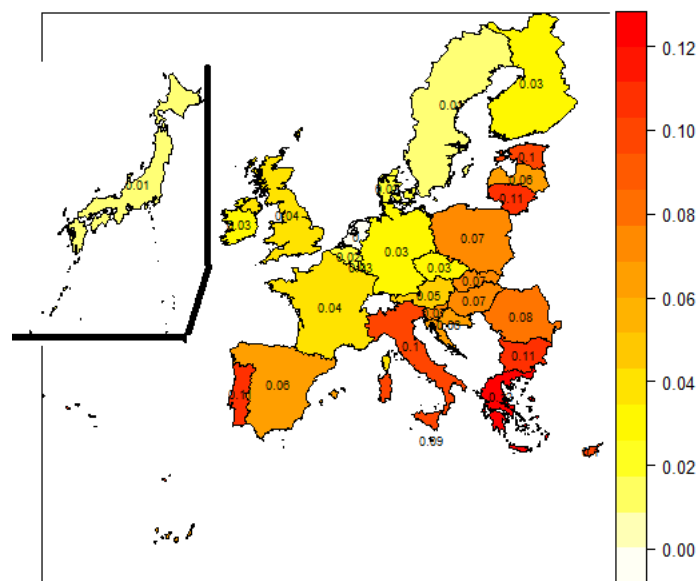
図表 5-3 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品(スクリーンやバッテリーなど)の交換を容易にする必要がありますかーはい、デバイスの価格が高くて(国別)



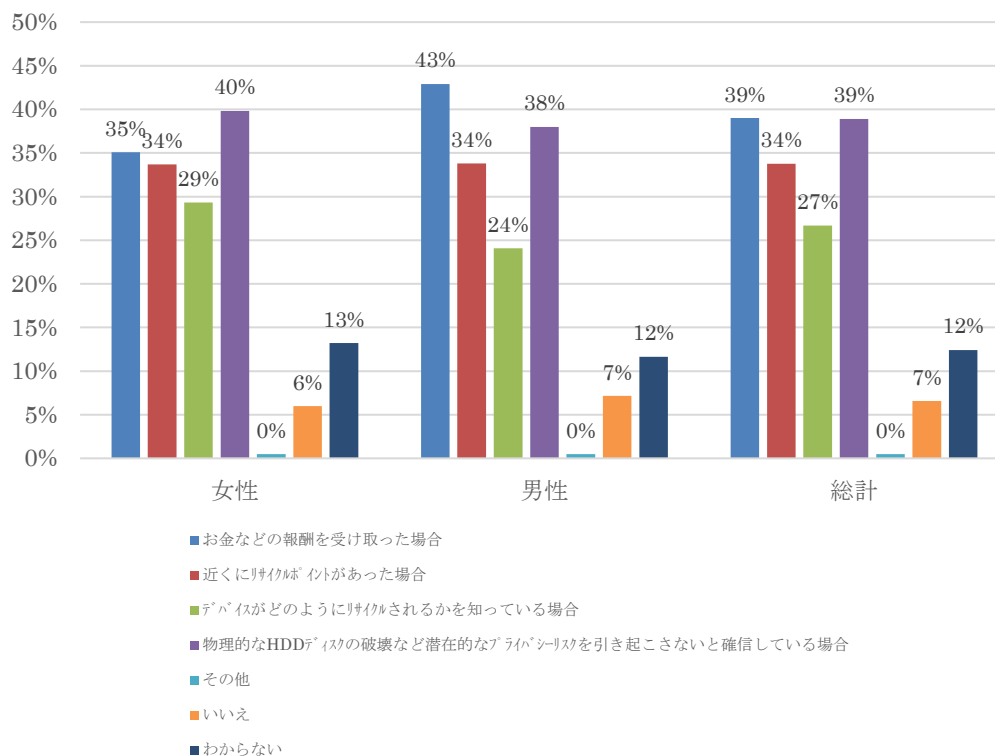
図表 5-4 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品(スクリーンやバッテリーなど)の交換を容易にする必要がありますかーはい、デバイスの価格が高くない場合は可能である(国別)



図表 5-5 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品(スクリーンやバッテリーなど)の交換を容易にする必要がありますかーいいえ(国別)



図表 5-6 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品(スクリーンやバッテリーなど)の交換を容易にする必要がありますかーデジタル機器を使用していない(国別)

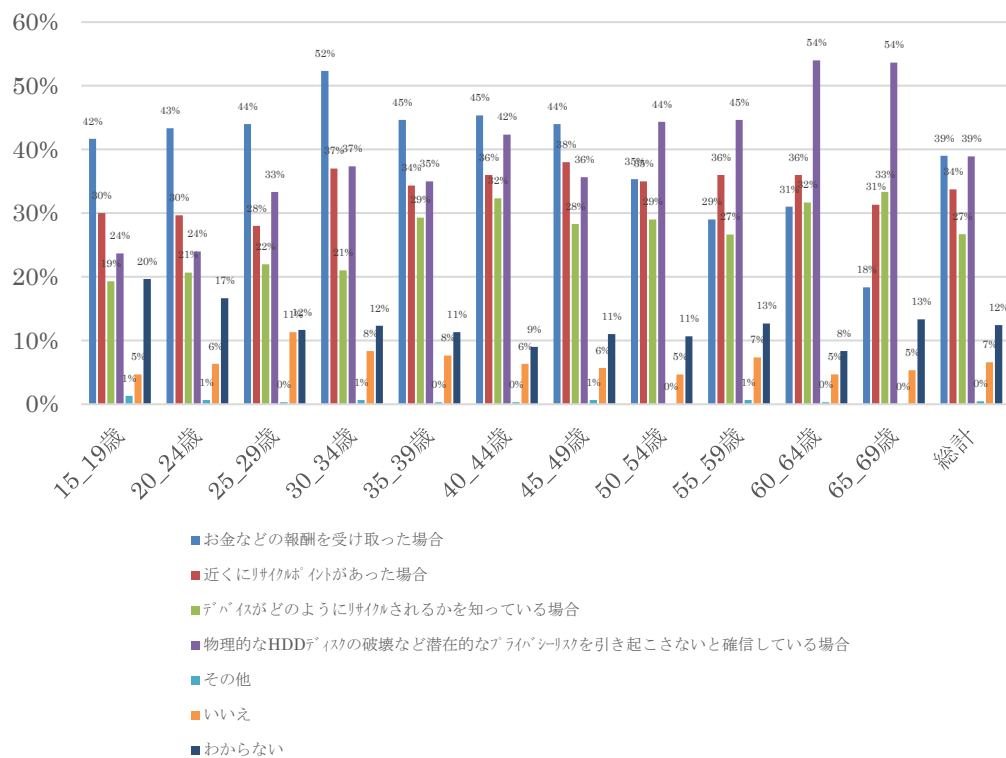


図表 6-1 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？
(性別)

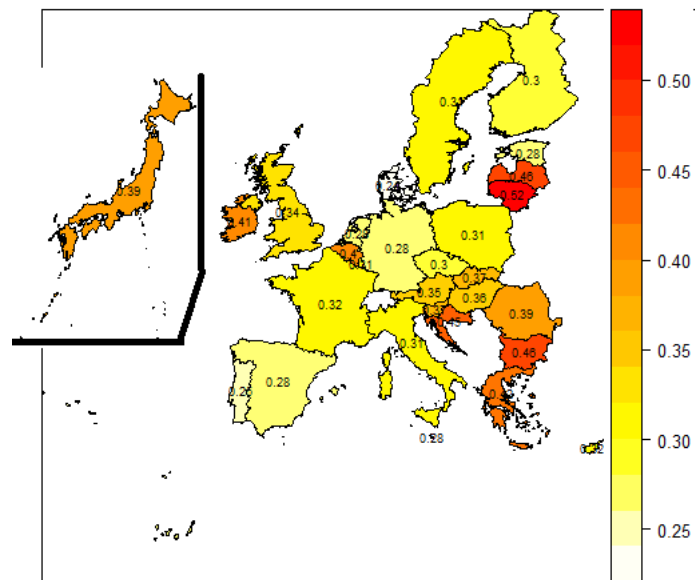
次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですかについて聞いたところ、「性別」(図表 6-1)では、お金などの報酬を受け取った場合(男性 43%女性 35%)で男性が女性を上回っている。一方、潜在的なプライバシーリスクを引き起こさないと確信している場合(男性 38%女性 40%)では女性の方が男性より上回っている。

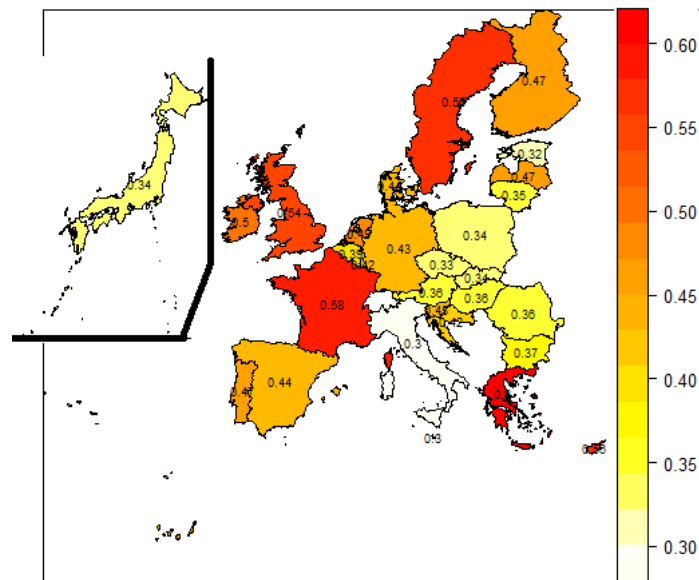
加えて、「年代別」(図表 6-2)では、49 歳以下の若い世代では「お金などの報酬を受け取った場合」が最も多いことが分かる。一方、50 歳以上の年代では「潜在的なプライバシーリスクを引き起こさないと確信している場合」が最も多いことが分かる。

国別で見ると、図表 6-3 から図表 6-9 となっており、特にこれと言って高い値は存在しない。

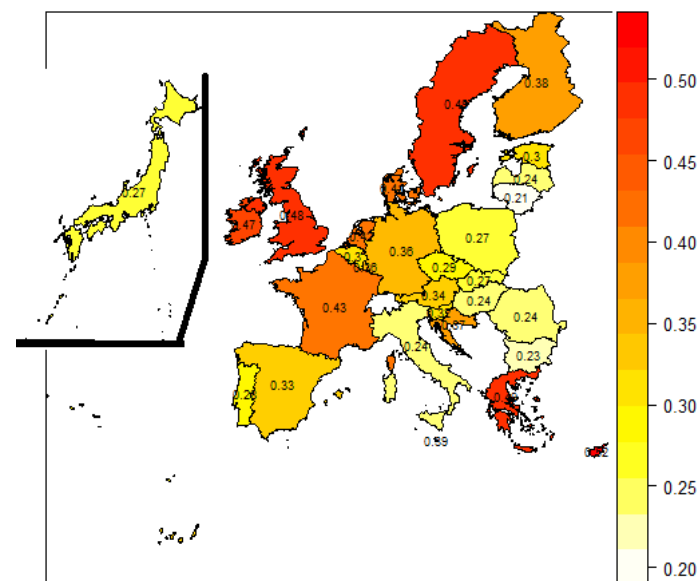


図表 6-2 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？(年代別)

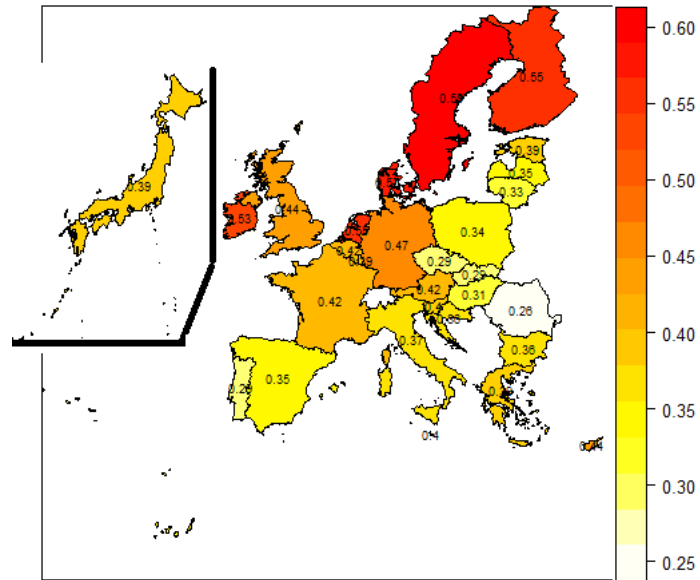




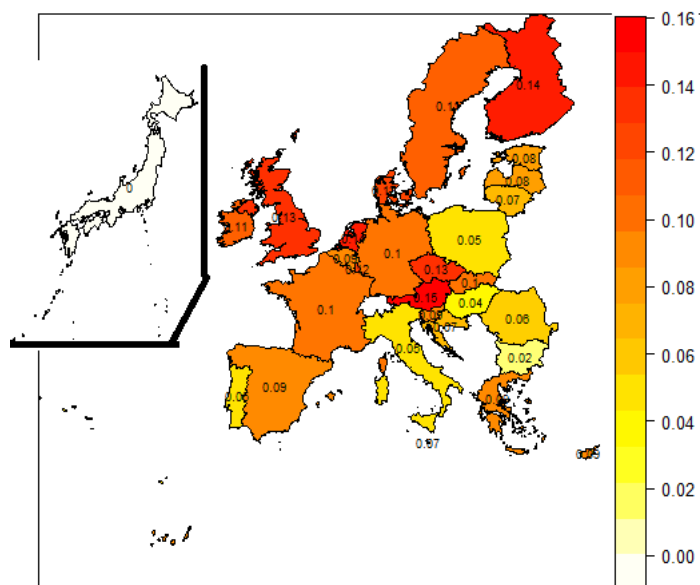
図表 6-4 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？－近くにリサイクルポイントがあった場合(国別)



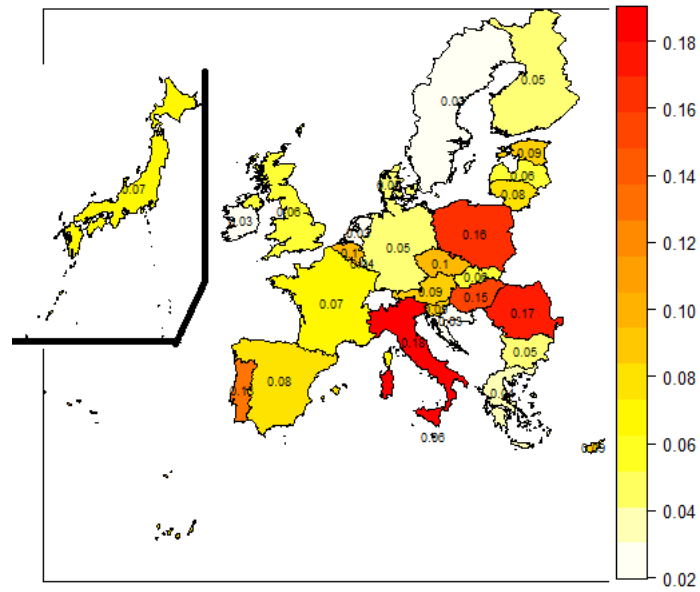
図表 6-5 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？－デバイスがどのようにリサイクルされるかを知っている場合(国別)



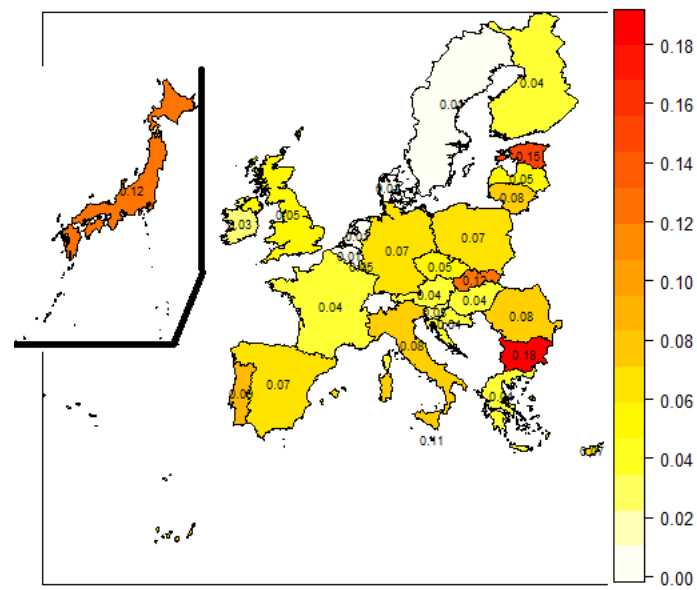
図表 6-6 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？－潜在的なプライバシーリスクを引き起こさないと確信している場合(国別)



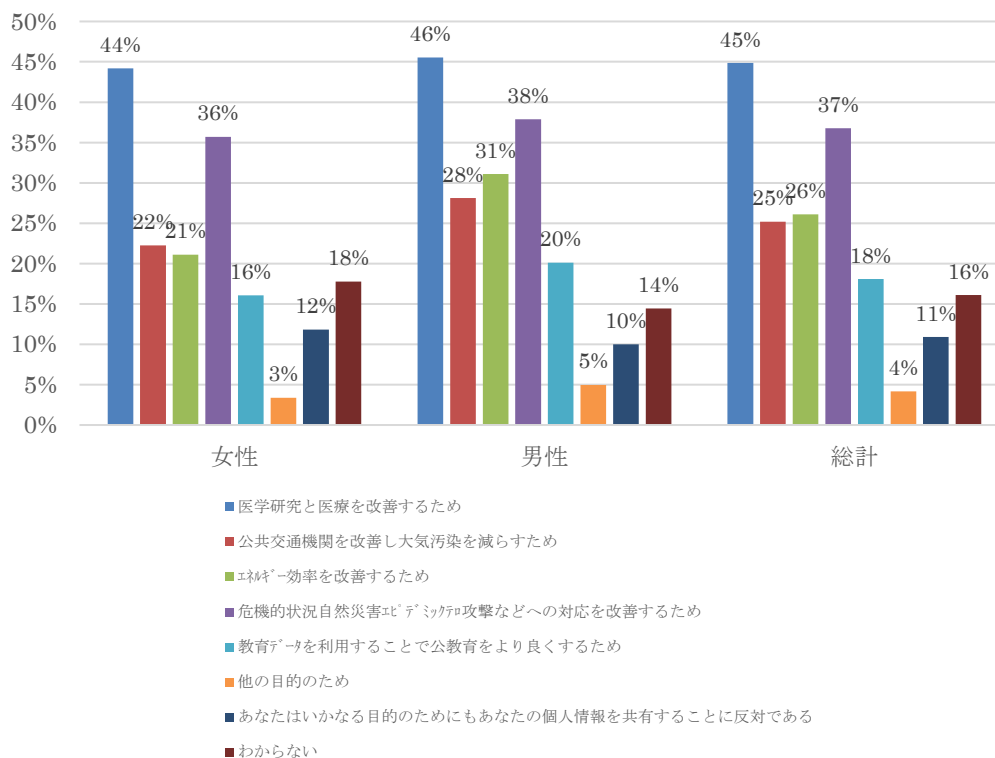
図表 6-7 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？－その他
(国別)



図表 6-8 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？－いいえ (国別)



図表 6-9 次のような状況で、古いデジタルデバイスをリサイクルしてもよろしいですか？－わからない (国別)

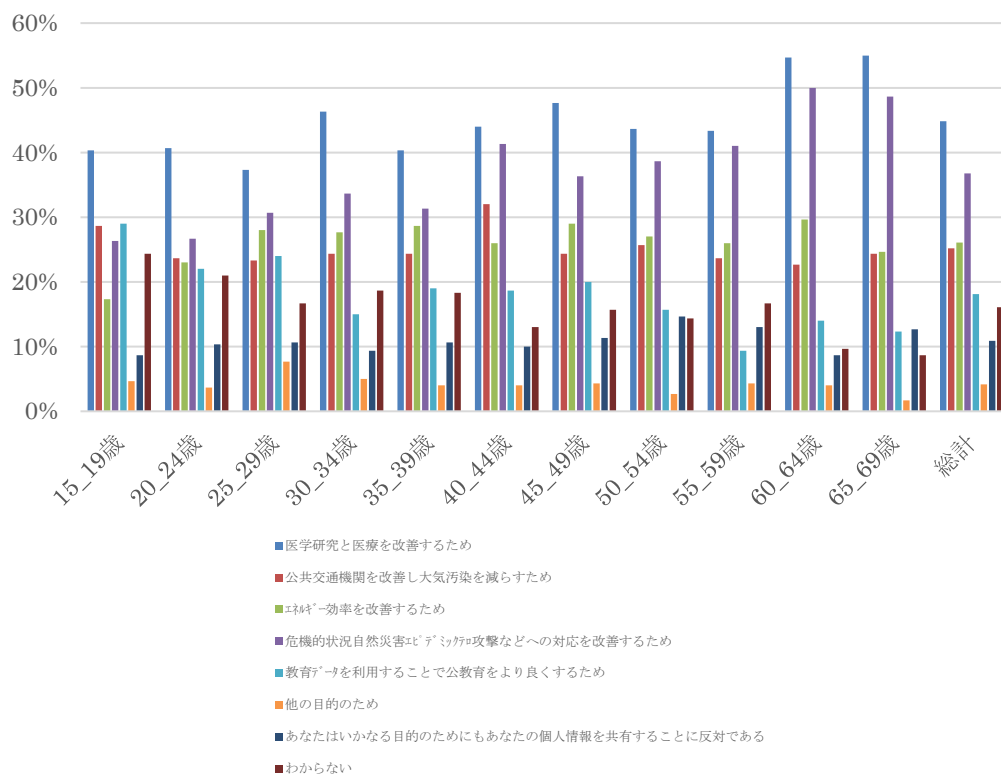


図表 7-1 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？(性別)

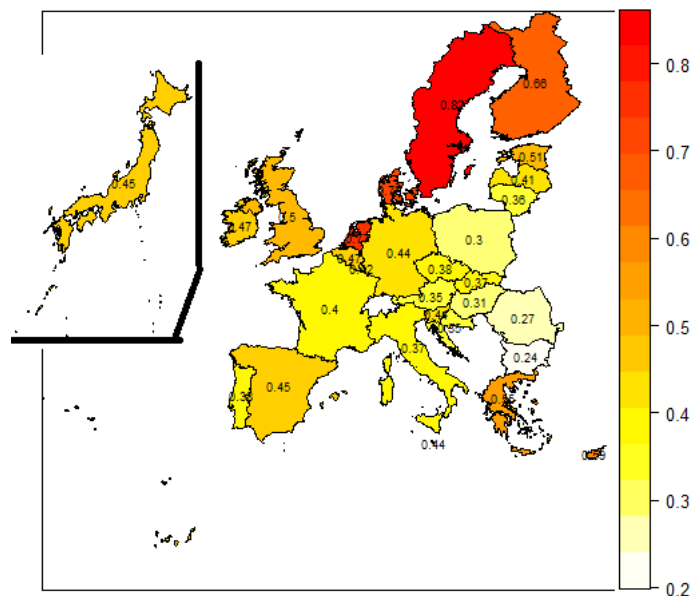
どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますかについて訊いたところ、「性別」(図表 7-1)では、男女によらず、「医学研究と医療を改善するため」(男性 46%女性 44%)、「危機的状況(自然災害、エピソード、テロ攻撃)などへの対応を改善するため」(男性 38%女性 36%)などが高くなっている。

加えて、「年代別」(図表 7-2)でも、この構造は基本的には変わらないものの、15_19 歳のカテゴリで「教育データを利用することで公教育をより良くするため」が 2 番目に多い値となっている。これは公教育サービスを受ける受益者である世代が関心を強く持ったためと推察される。

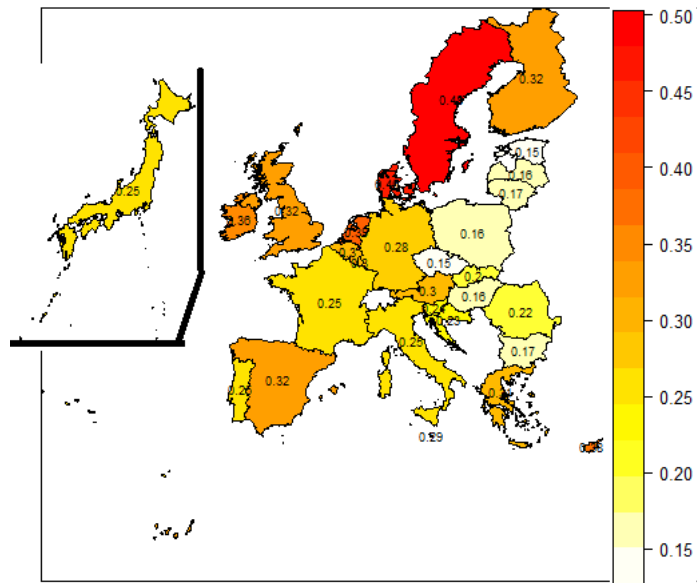
国別に見ると、図表 7-3 から図表 7-8 となっており、「わからない」(16%)以外で特に高い数値は見当たらない。



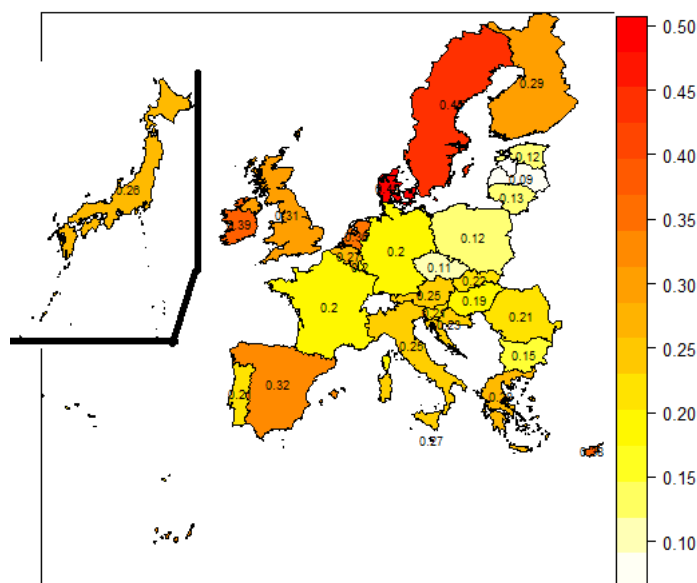
図表 7-2 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？(年代別)



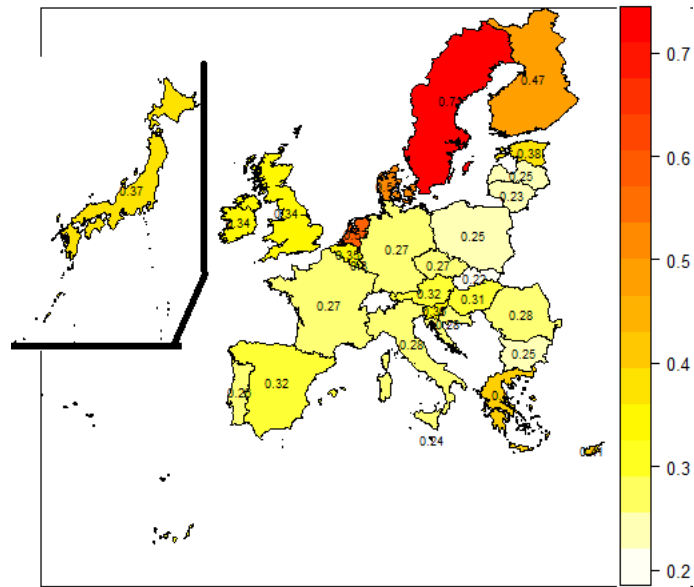
図表 7-3 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？－医学研究と医療を改善するため(国別)



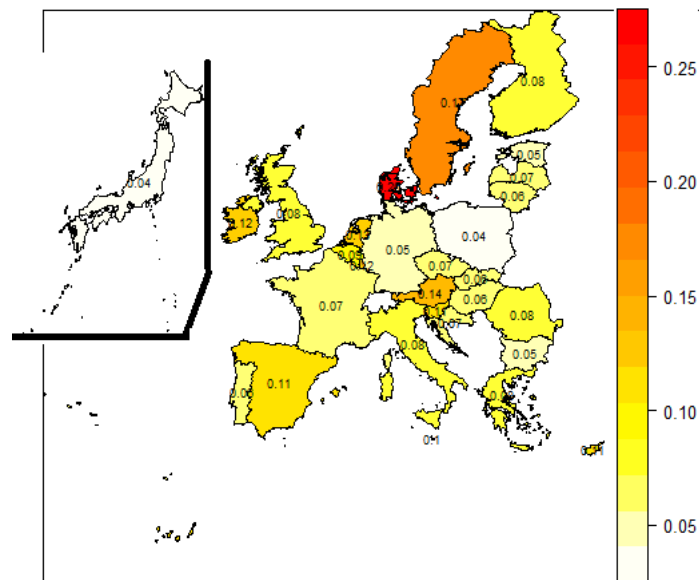
図表 7-4 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？－公共交通機関を改善し大気汚染を減らすため(国別)



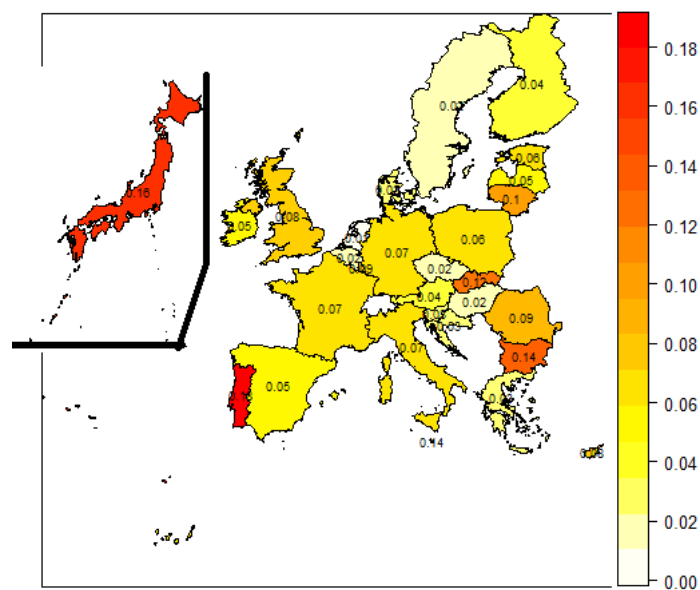
図表 7-5 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？－エネルギー効率を改善するため(国別)



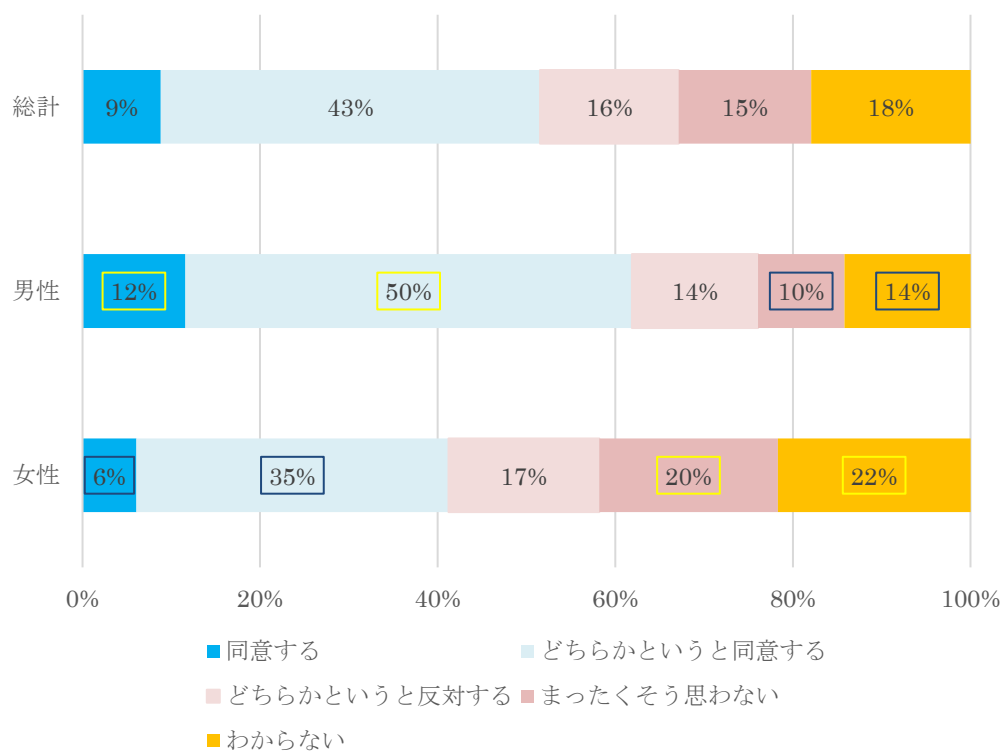
図表 7-6 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？－危機的状況（自然災害、エピソード、テロ攻撃など）への対応を改善するため(国別)



図表 7-7 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？－他の目的のため(国別)



図表 7-8 どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？－わからない
(国別)

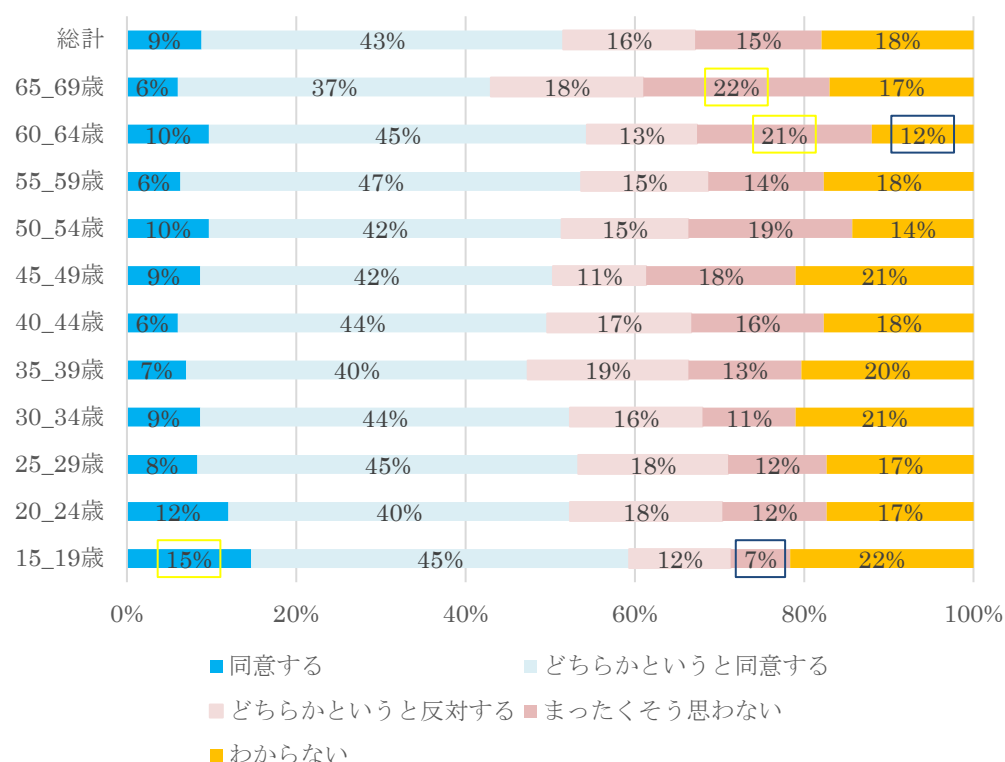


図表 8-1 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますか(性別)

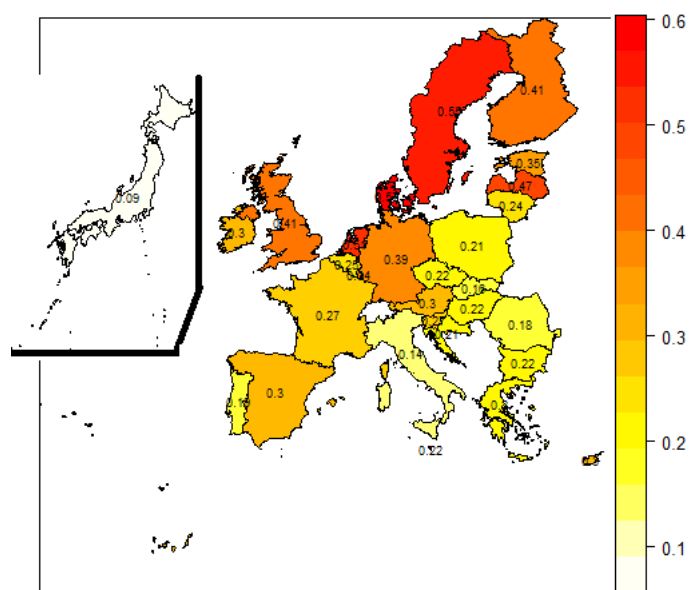
あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますかについて訊いたところ、「性別」(図表 8-1)では、「(どちらかという)同意する」(男性 62%女性 41%)などとなっており、男性の方が女性より高くなっている。

加えて、「年代別」(図表 8-2)では、15_19 歳のカテゴリで「(どちらかという)同意する」は 60% となっており、他の年代より高い。これはインターネット調査の特徴かもしれないが、15_19 歳の回答者は日常生活においてデジタル技術の使用に熟練しているものと考えられる。

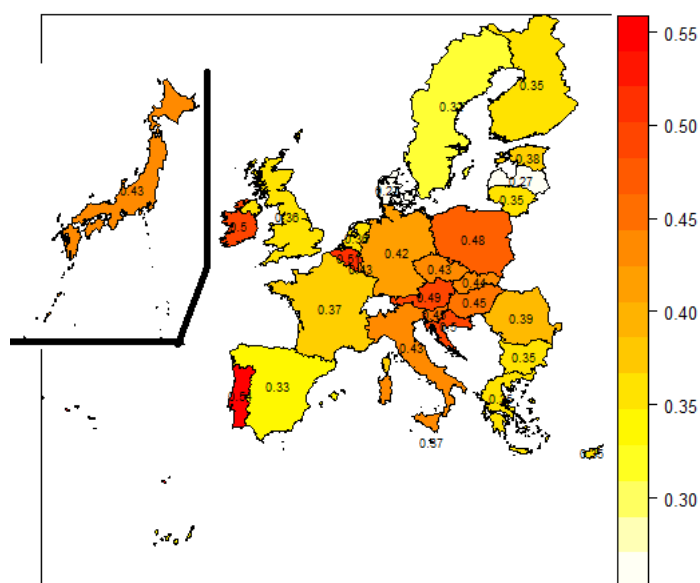
国別に見ると、図表 8-3 から図表 8-9 となっており、「わからない」(18%) 以外特に高い値は観測されない。



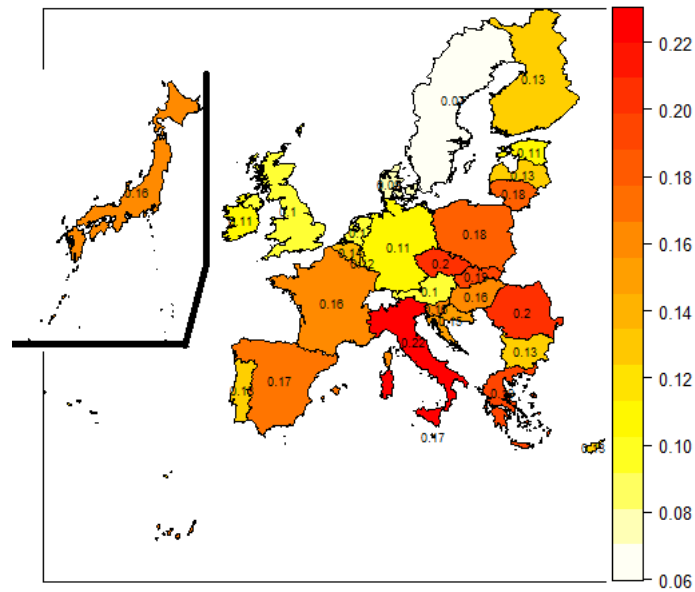
図表 8-2 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますか(年代別)



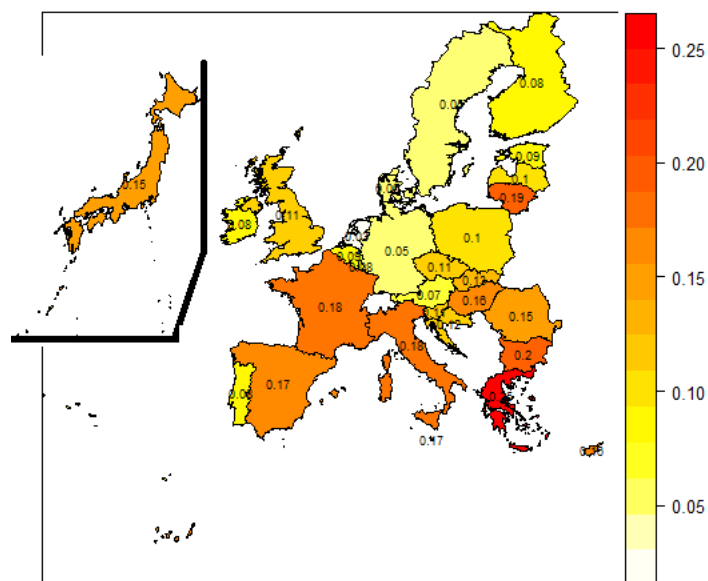
図表 8-3 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますかー同意する(国別)



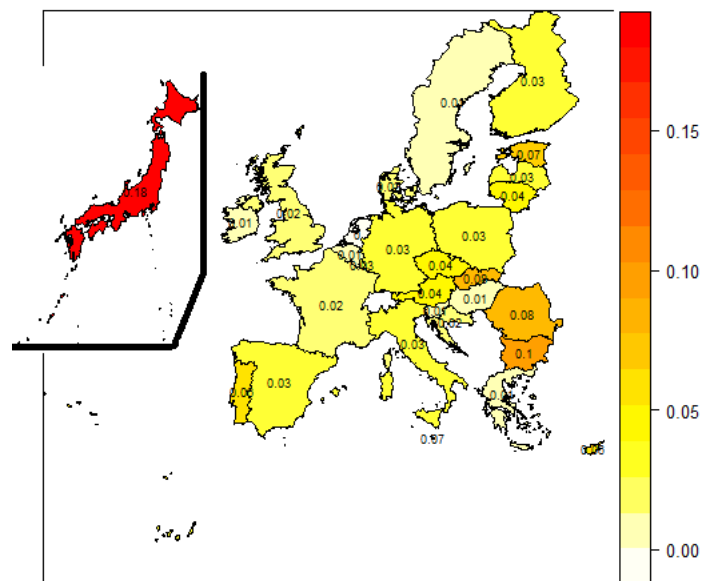
図表 8-4 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますかーどちらかという同意する(国別)



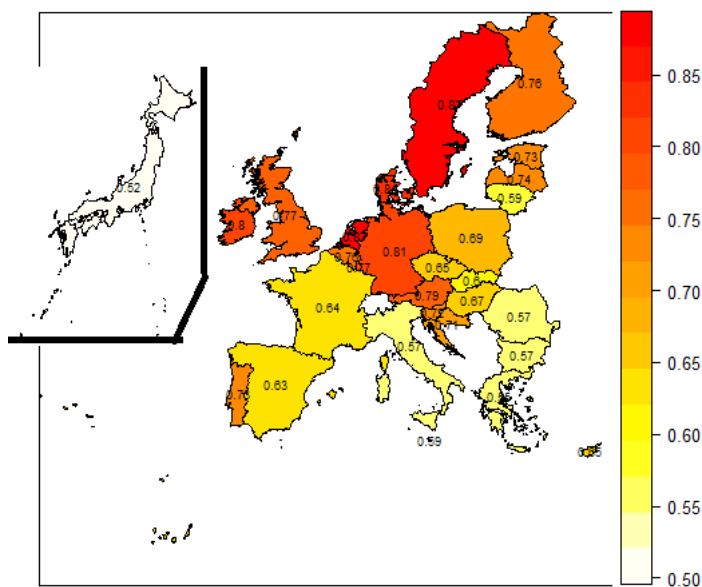
図表 8-5 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますか—どちらかというと反対する(国別)



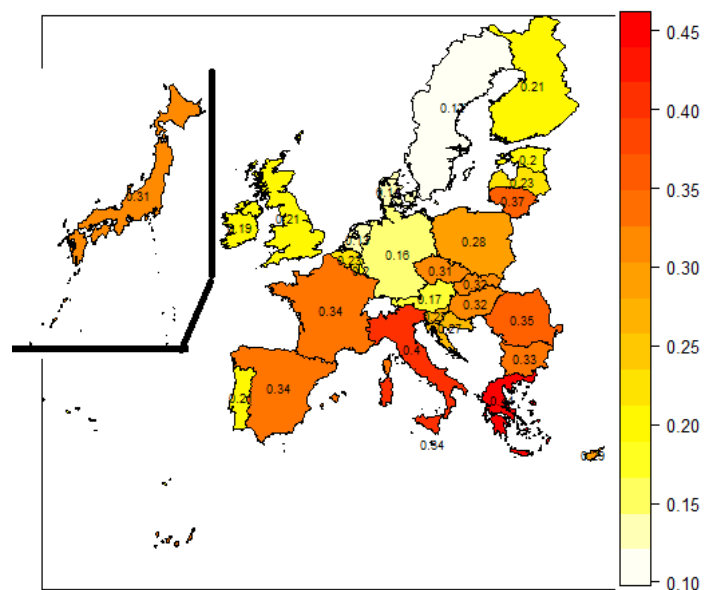
図表 8-6 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますか—まったくそう思わない (国別)



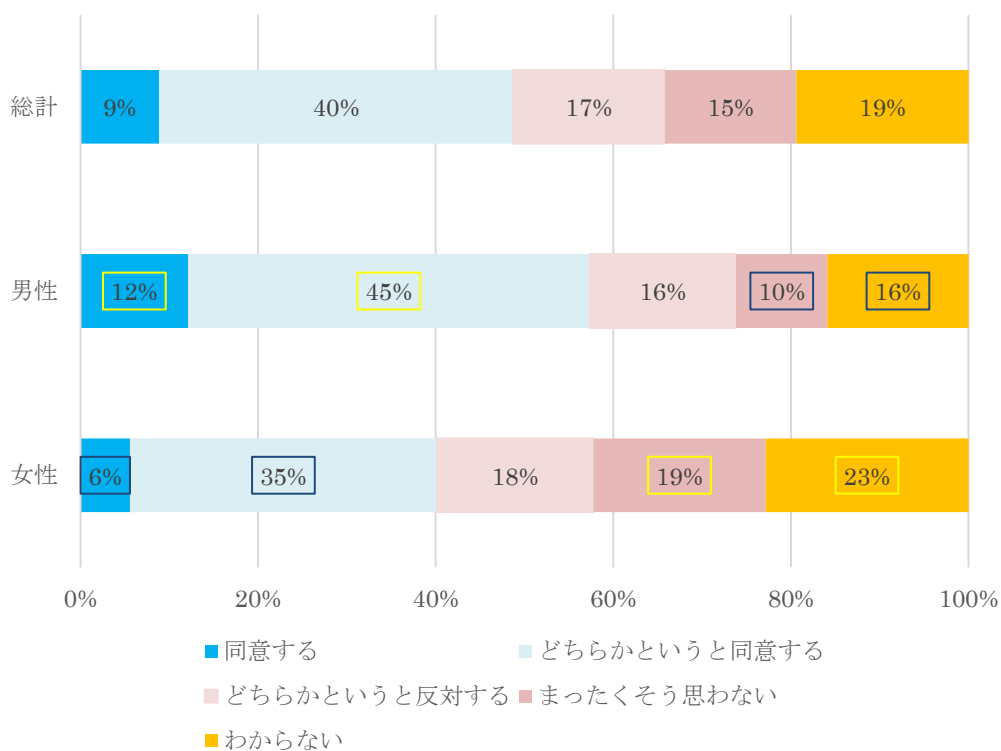
図表 8-7 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますかーわからない（国別）



図表 8-8 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますかーTotal Agree (国別)



図表 8-9 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますかーTotal Disagree (国別)



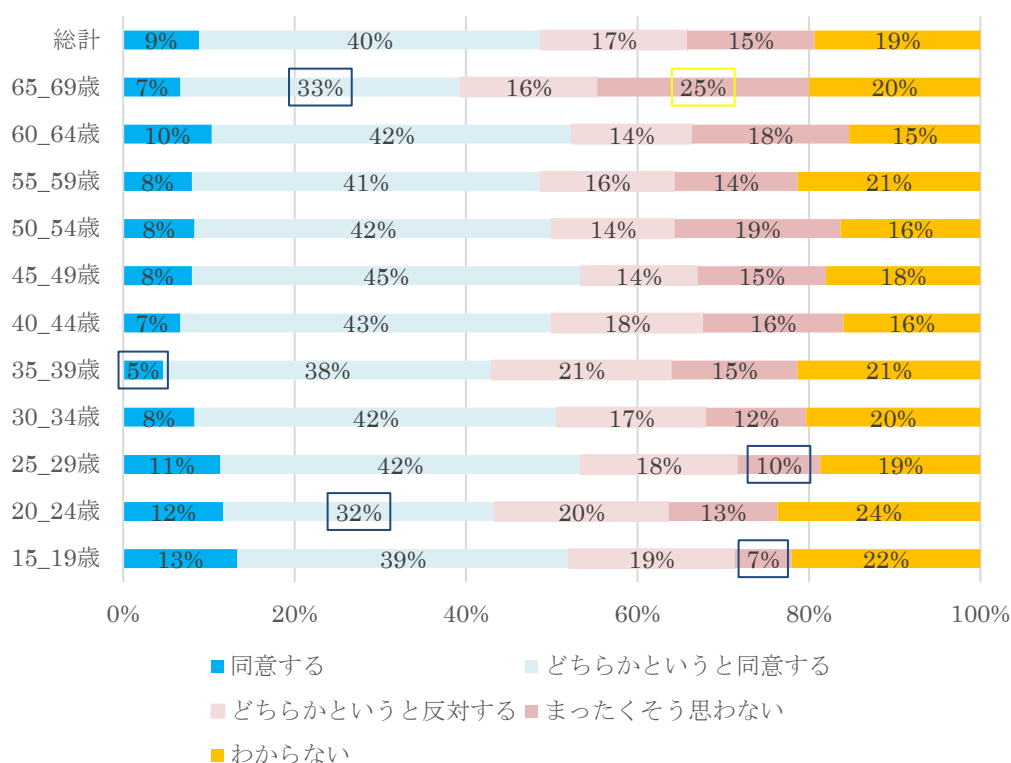
図表 9-1 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか(性別)

あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますかについて訊いたところ、「性別」(図表 9-1) では、「(どちらかという)同意する」(男性 57%女性 41%)などとなっており、こちらでも男性の方が女性より高くなっている。

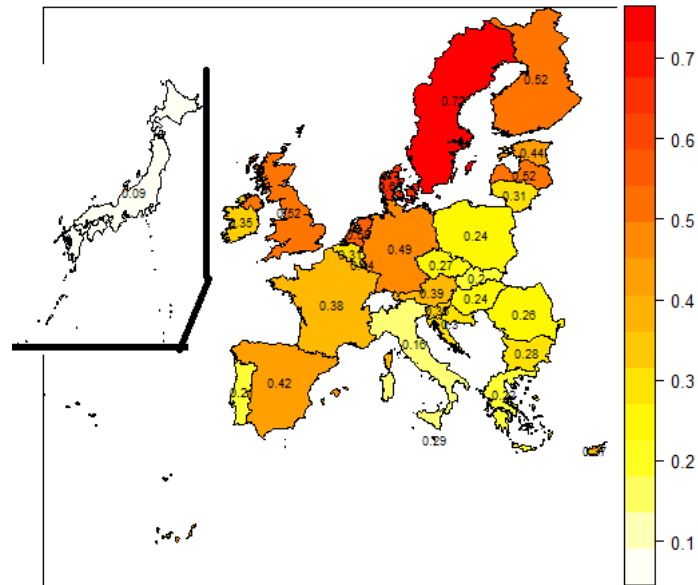
加えて、「年代別」(図表 9-2)では、特に年代に依拠した変化は見られない。

国別に見ると、図表 9-3 から図表 9-9 となっており、あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますかに対して、「どちらかという)反対する」が 17%と高くなっている。また、「まったくそう思わない」も 15%と高くなっており、「わからない」も 19%と高くなっている。結果、「Total Disagree」が 32%と非常に高くなっている。

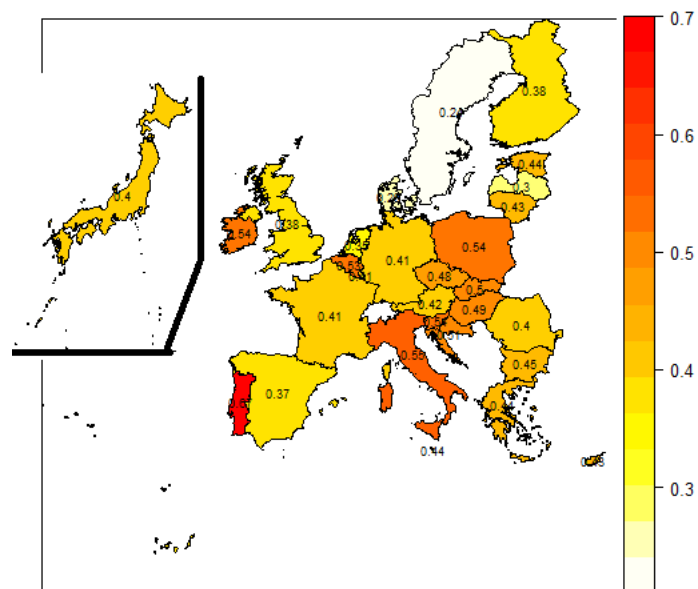
日本はインターネット調査の対象者であることから、あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますかに対しては正の方向にバイアスがかかるとも考えられたが、調査の結果は真逆となった。どうしてこうなったのかは不明である。



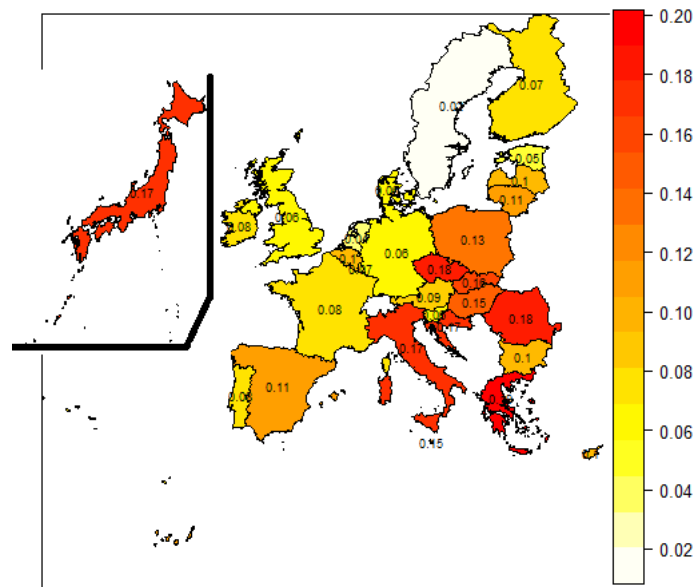
図表 9-2 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか(年代別)



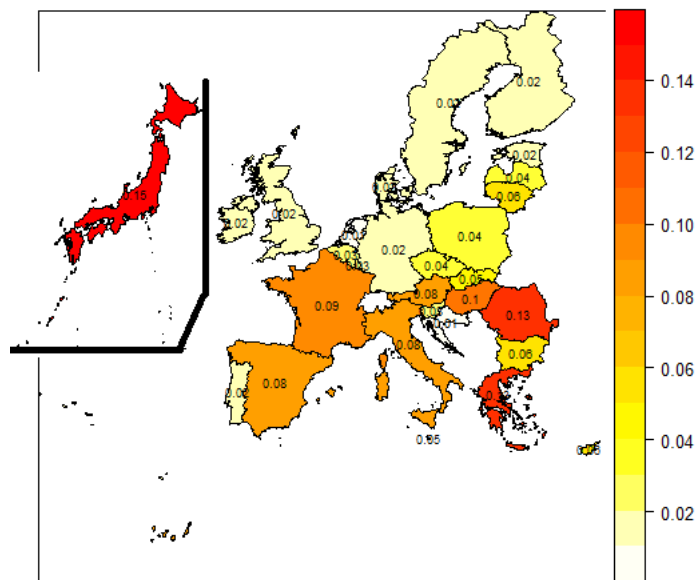
図表 9-3 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますかー同意する(国別)



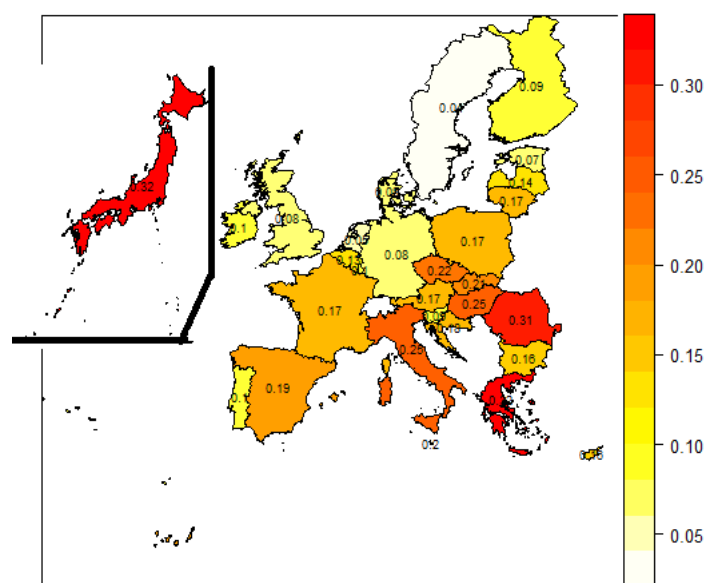
図表 9-4 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか—どちらかという同意する(国別)



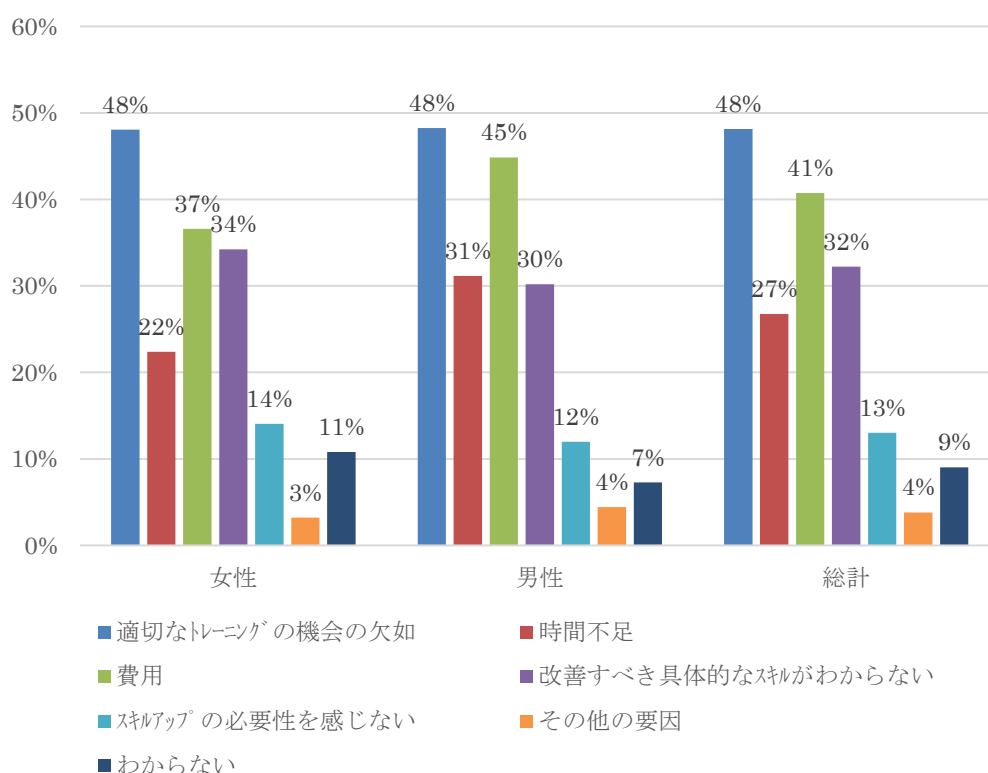
図表 9-5 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか—どちらかという反対する(国別)



図表 9-6 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか—まったくそう思わない (国別)



図表 9-9 あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか—Total Disagree (国別)



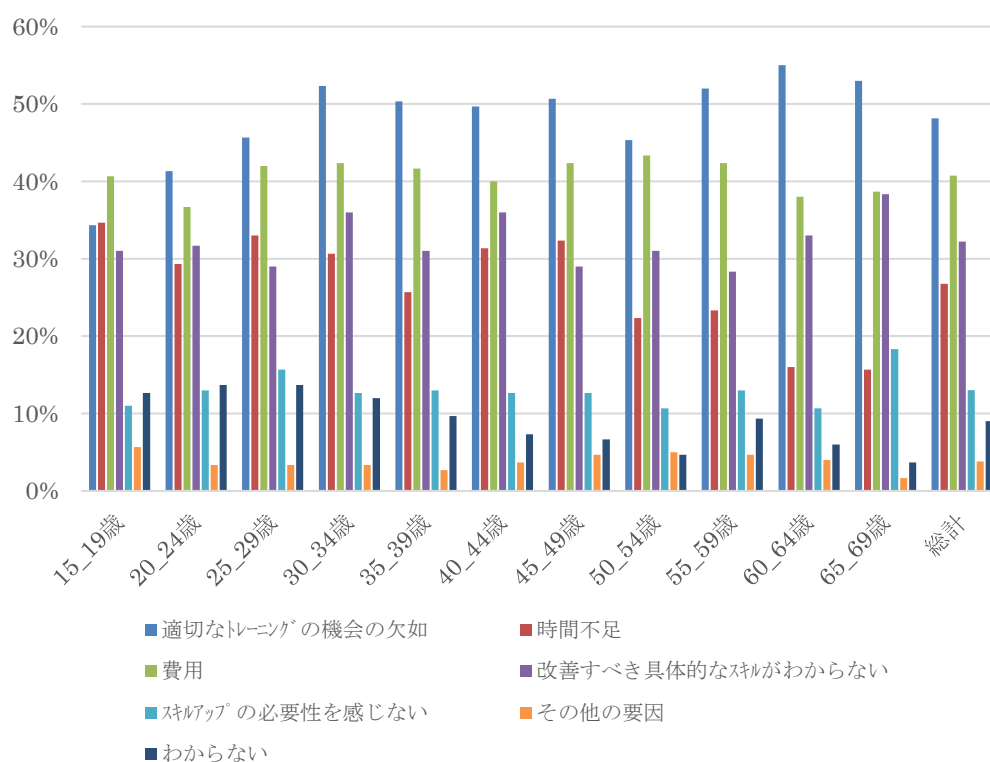
図表 10-1 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますか(性別)

デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかについて訊いたところ、「性別」(図表 10-1)では、男女ともに「適切なトレーニングの機会の欠如」(男性 48%女性 48%)、「費用」

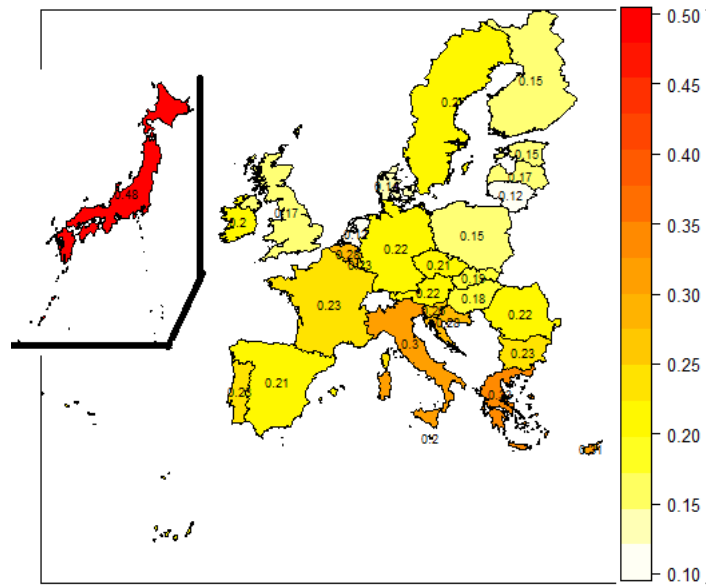
(男性 45%女性 37%)などが高くなっている。

加えて、「年代別」(図表 10-2)では、15_19 歳でのみ「費用」が最も高くなっており、次いで「時間不足」となっている。

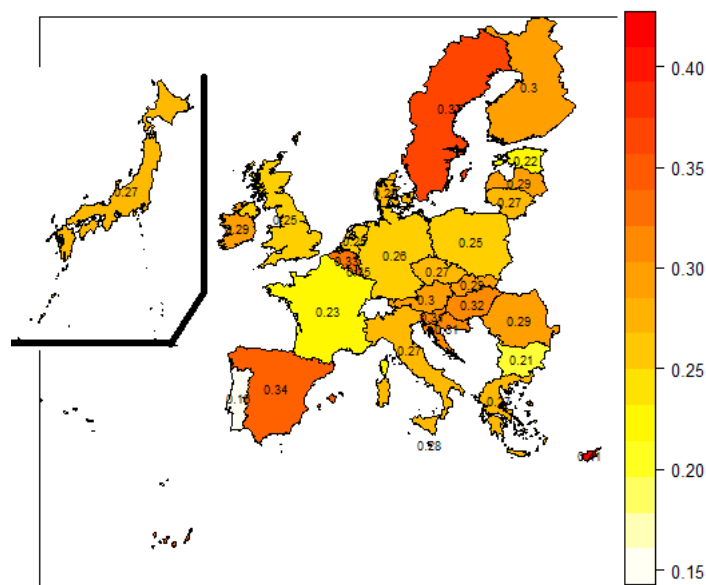
国別に見ると、図表 10-3 から図表 10-9 であり、「適切なトレーニングの機会の欠如」が 48%と EU 諸国より高い。あと「費用」についても 41%と高い。あとは「わからない」が 9%と高くなっている。日本の回答者は EU 諸国と比べ、デジタルスキルを向上させる際の主な障壁に関する意識が高いと考えられる。



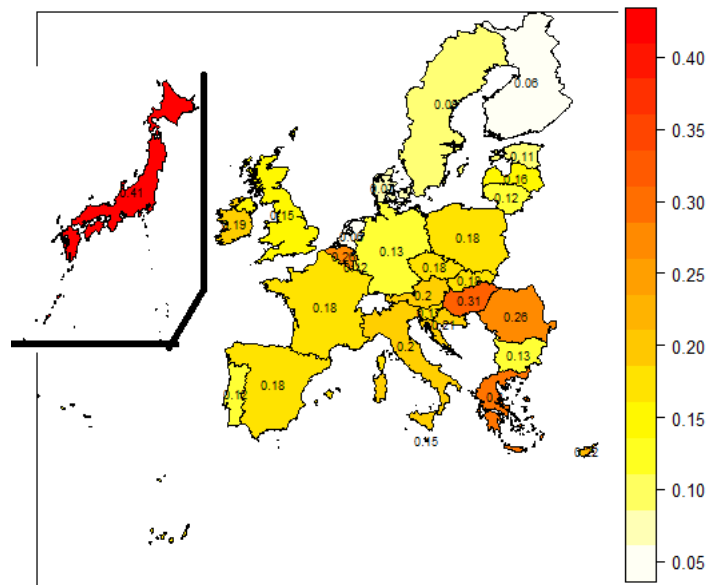
図表 10-2 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますか(年代別)



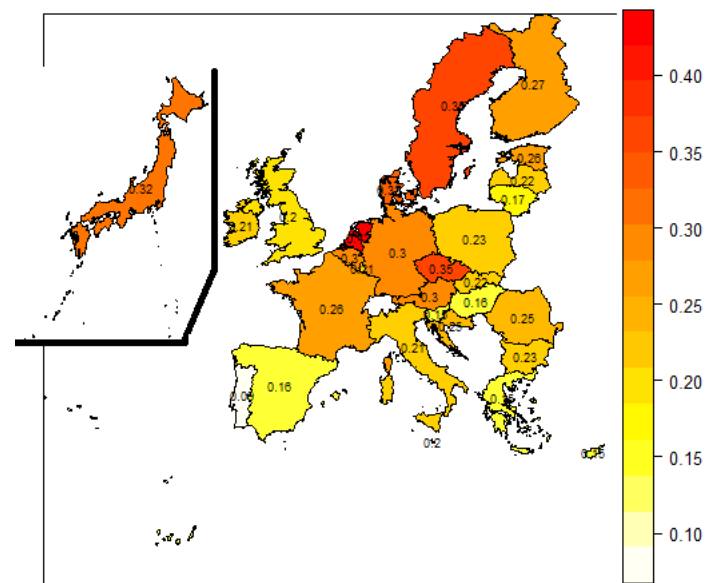
図表 10-3 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかー適切なトレーニングの機会の欠如(国別)



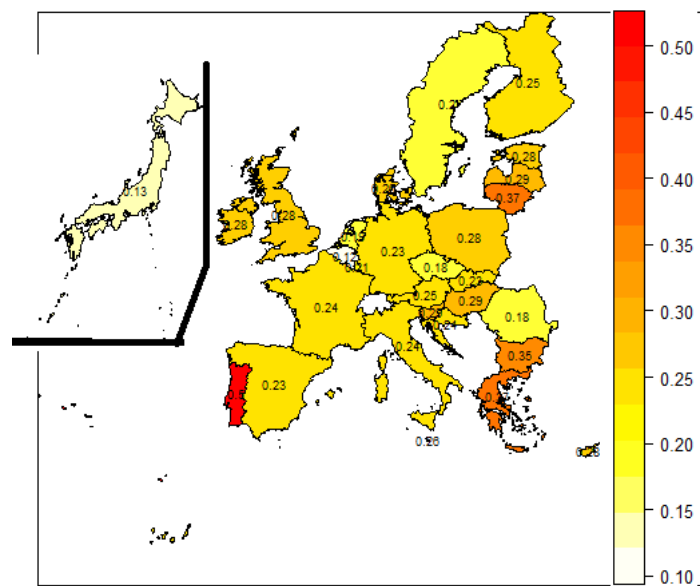
図表 10-4 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかー時間不足(国別)



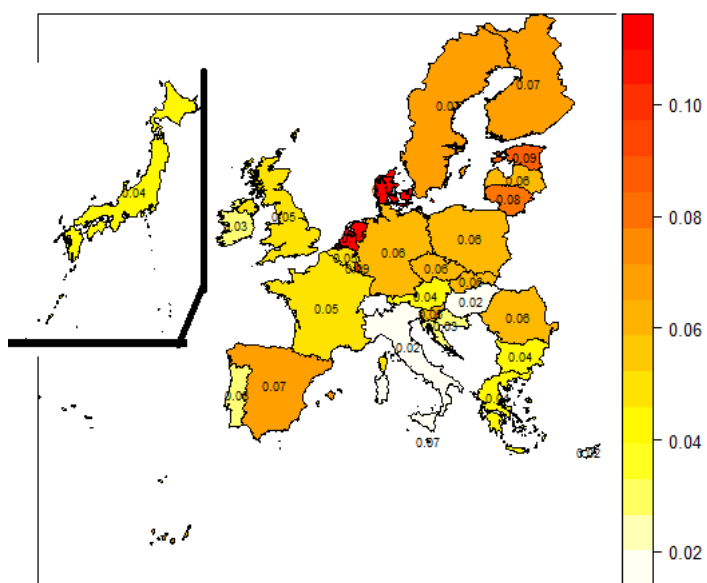
図表 10-5 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかー費用(国別)



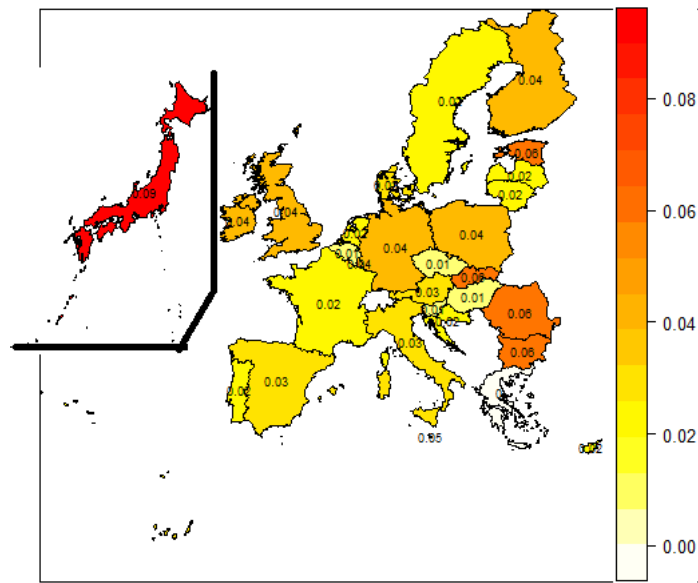
図表 10-6 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかー改善すべき具体的なスキルがわからない(国別)



図表 10-7 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますか—スキルアップの必要性を感じない(国別)

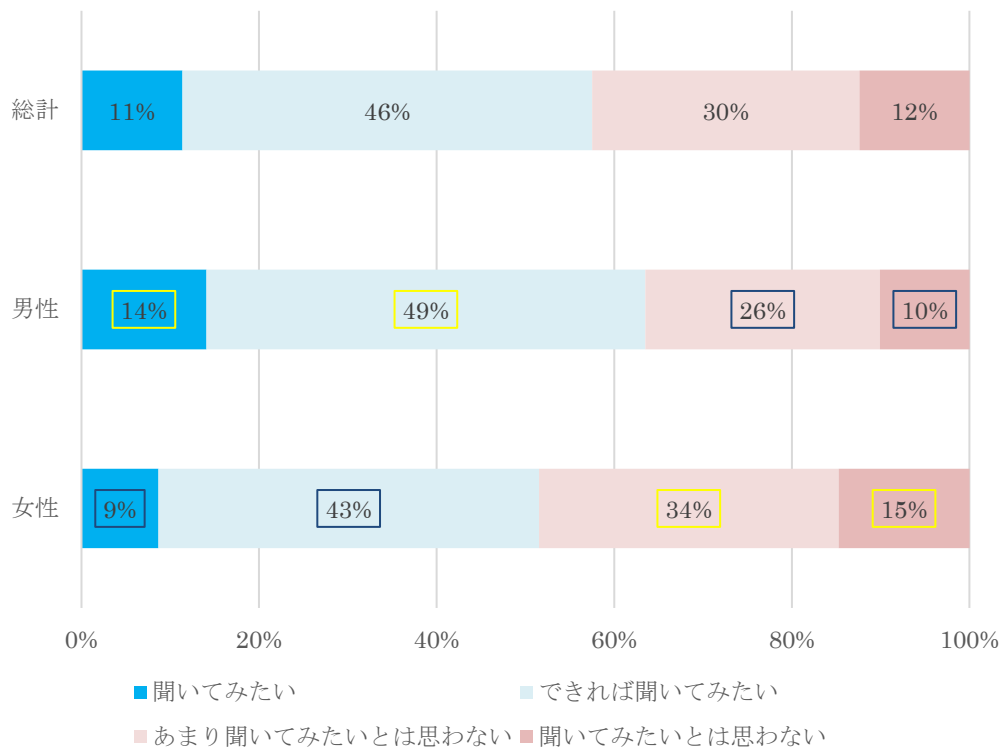


図表 10-8 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかーその他(国別)



図表 10-9 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますかーわからない(国別)

以上から、EU は日本と比べて、インターネット環境の恩恵を実感しており、クラウドなどの普及の違いが回答に出ていると考えられる。また、EU と比べて日本では DX が身の回りに乏しい、即ち体験が乏しいことも深く関係してくると思われる。

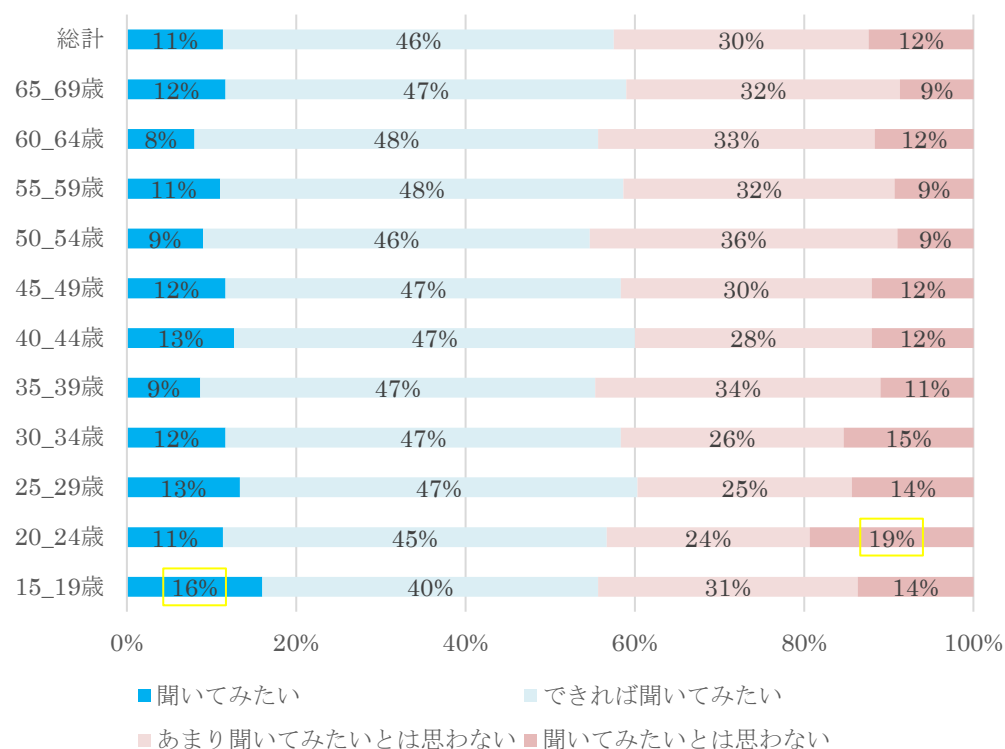


図表 11-1 あなたは、機会があれば、DX に関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いま

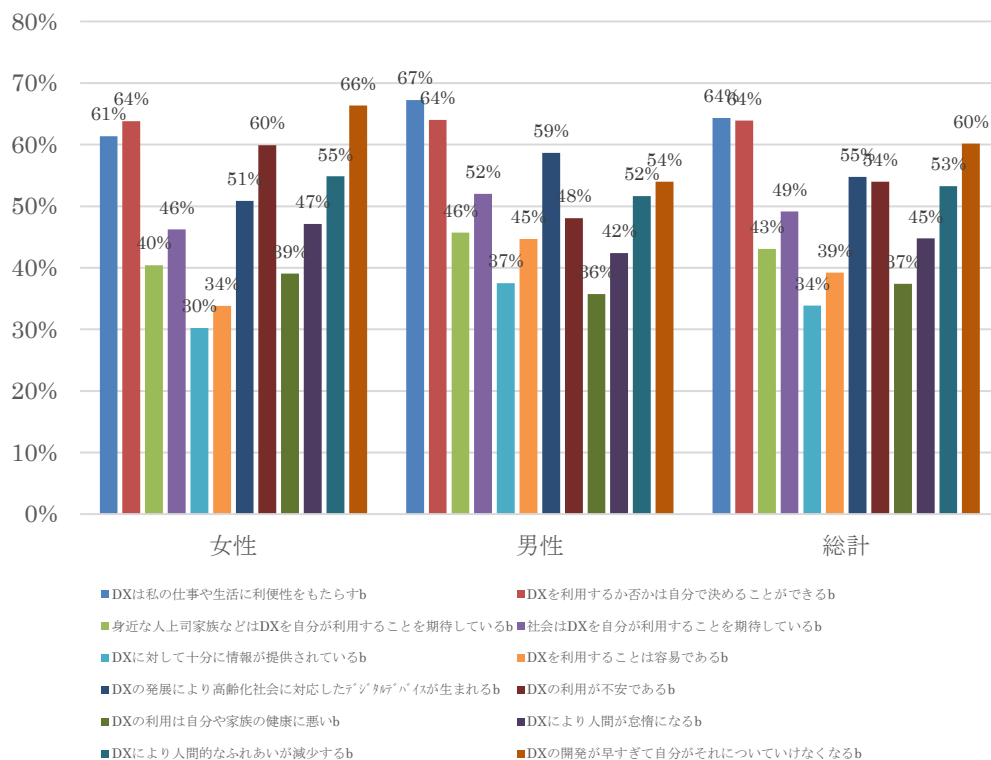
すか(性別)

あなたは、機会があれば、DX に関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますかについて訊いたところ、「性別」(図表 11-1)では、「(できれば)聞いてみたい」(男性 63%女性 52%)、などとなっており、男性の方が女性より高くなっている。

加えて、「年代別」(図表 11-2)では、特に特定の年代に対して大きな傾向は見られない。



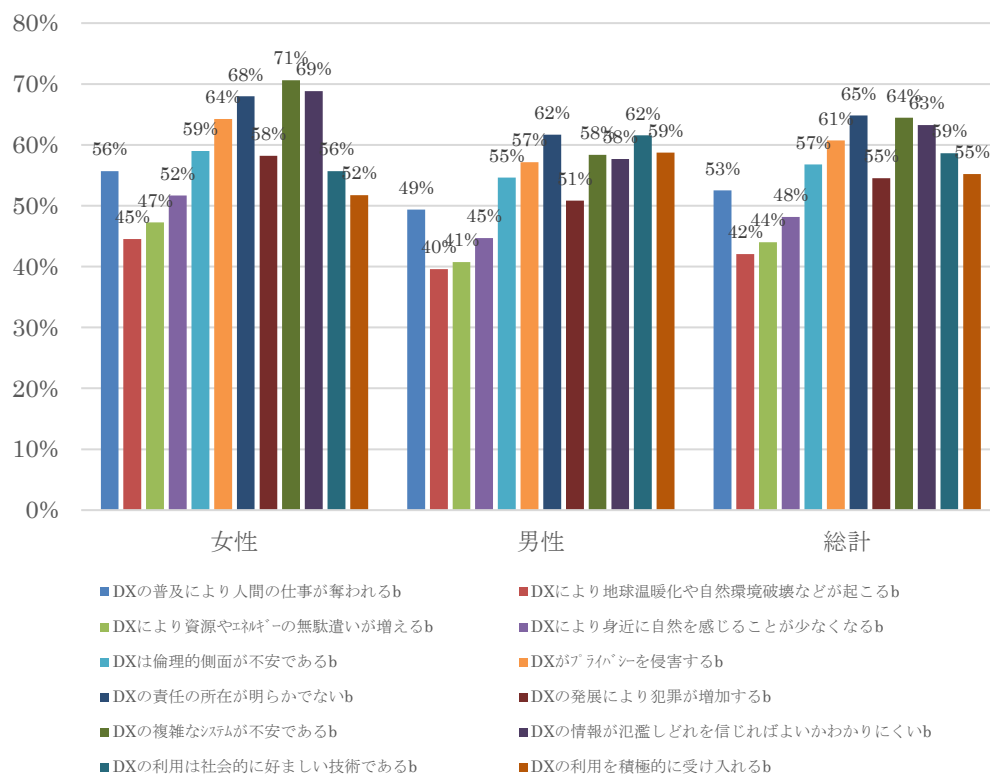
図表 11-2 あなたは、機会があれば、DX に関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか(年代別)



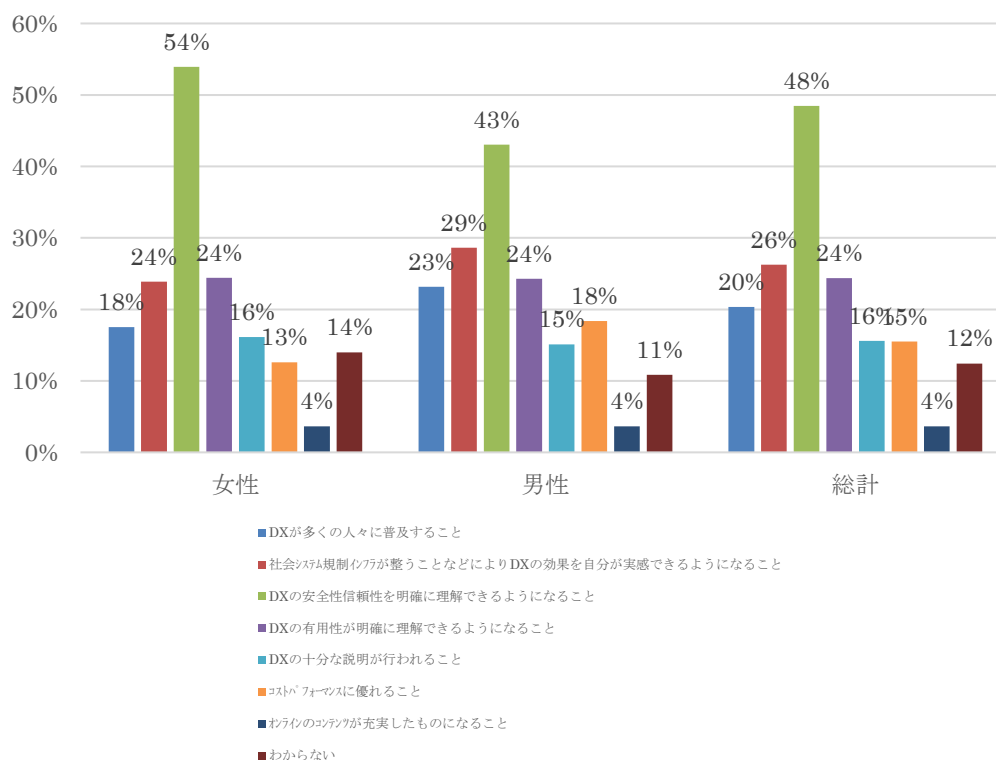
図表 12-1 DX に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか(性別①)

DX に関する次の意見や考えについて、どうお考えですかについて訊いたところ、「性別①」(図表 12-1)では、高い順に「DX は私の仕事や生活に利便性をもたらす」(男性 67%女性 61%)、「DX を利用するか否かは自分で決めることができる」(男性 64%女性 64%)、「DX の開発が早すぎて自分がそれについていけなくなる」(男性 54%女性 66%)などとなっており、概ね男性の方が女性より高くなっている。

また、「性別②」(図表 12-2)では、高い順に「DX の責任の所在が明らかではない」(男性 62%女性 68%)、「DX の複雑なシステムが不安である」(男性 58%女性 71%)などとなっており、DX に対して不安な意識の側面も見せている。



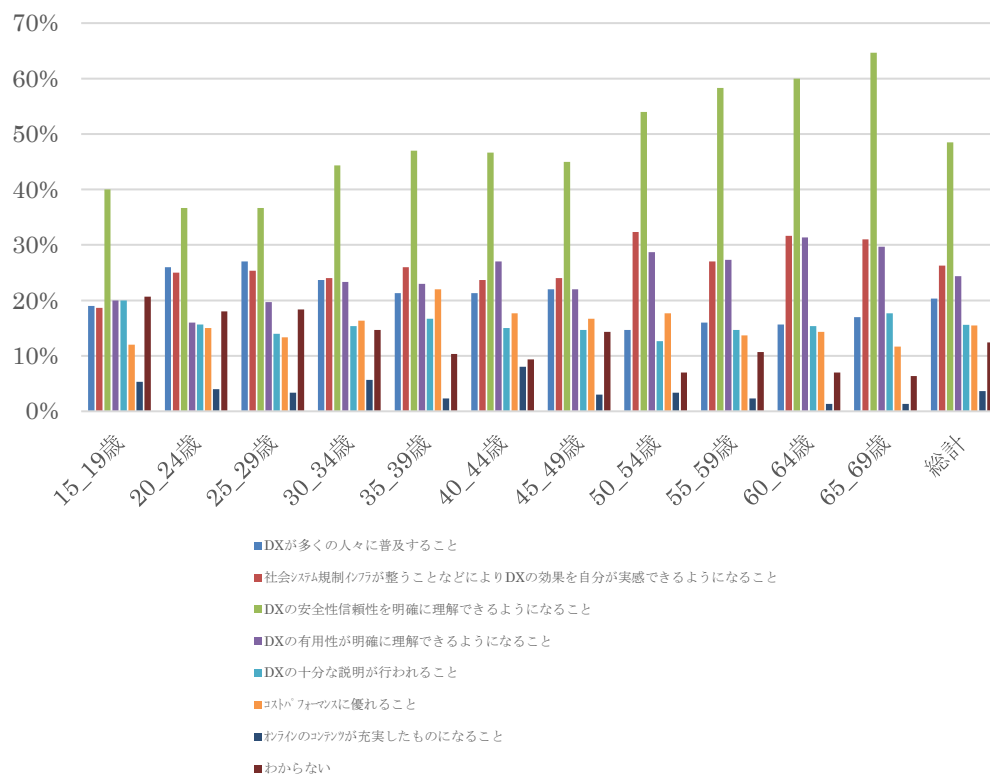
図表 12-2 DX に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか(性別②)



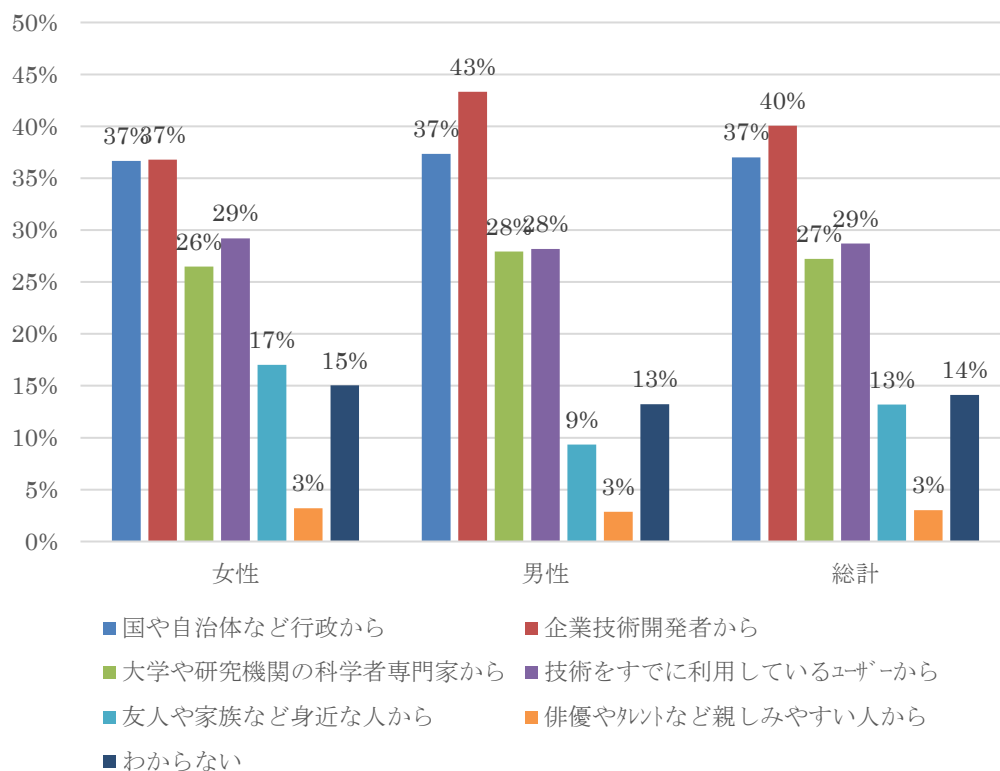
図表 13-1 あなたが DX の利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか(性別)

あなたが DX の利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますかについて聞いたところ、「性別」(図表 13-1)では、高い順に「DX の安全性・信頼性を明確に理解できるようになること」(男性 43%女性 54%)、「社会システム(規制、インフラ)が整うなどにより DX の効果を自分が実感できるようになること」(男性 29%女性 24%)などとなっている。

また、「年代別」(図表 13-2)では、29 歳以下で「DX が多くの人々に普及すること」が 2 位に選ばれており、DX の効果に期待する意見が見られる。



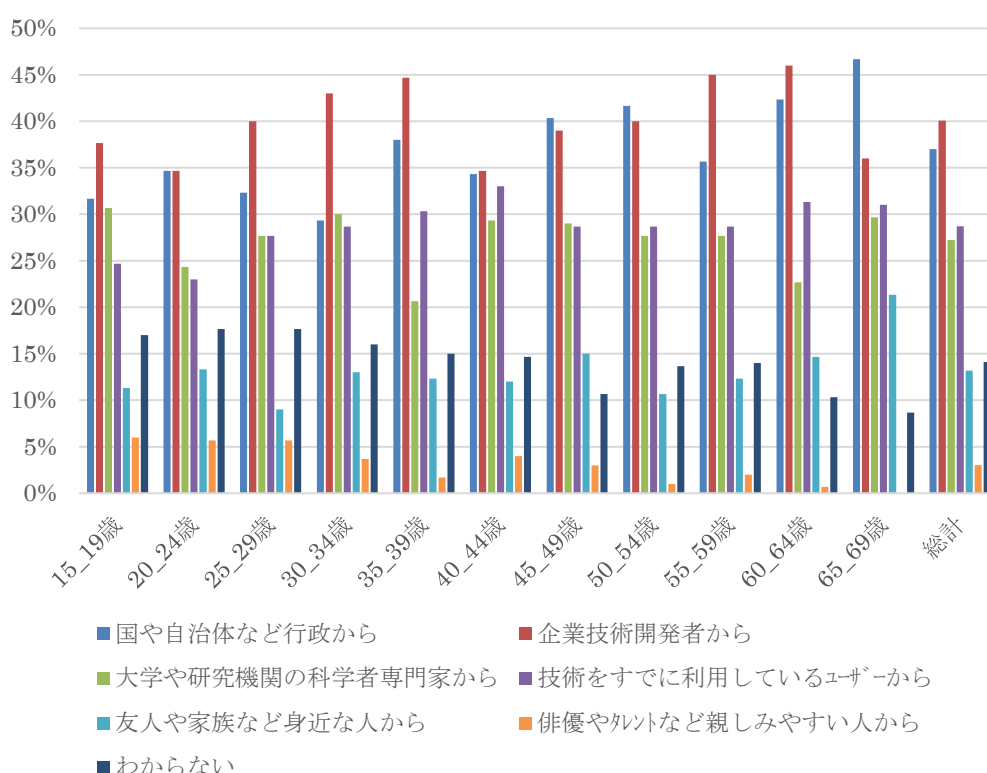
図表 13-2 あなたが DX の利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか(年代別)



図表 14-1 あなたが DX の利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか(上位 2 つまでを選択、性別)

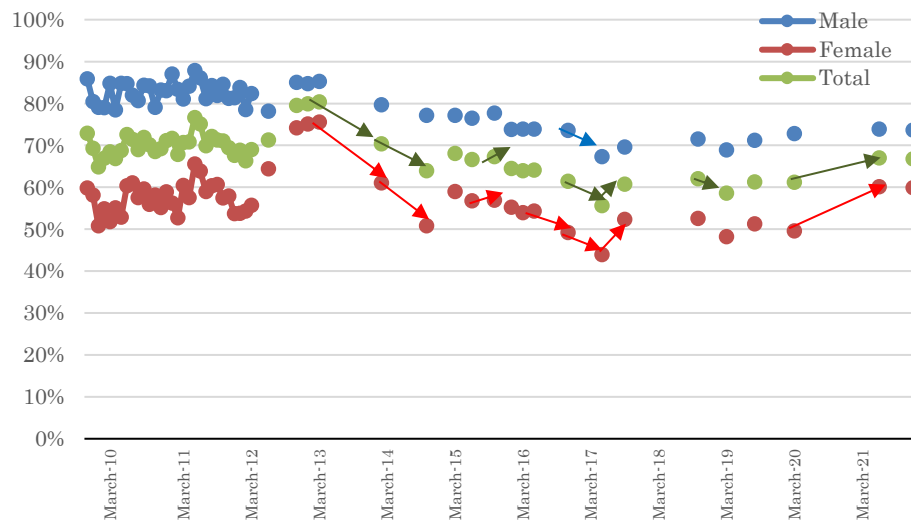
あなたが DX の利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますかについて訊いたところ、「性別」(図表 14-1)では、高い順に「企業、技術開発者から」(男性 43% 女性 37%)、「国や自治体など行政から」(男性 37% 女性 37%)などとなっている。

また、「年代別」(図表 14-2)では、45 歳から 54 歳以下、65 歳から 69 歳以下で「国や自治体など行政から」が 1 位に選ばれており、行政に期待する年代層の意見が見られる。

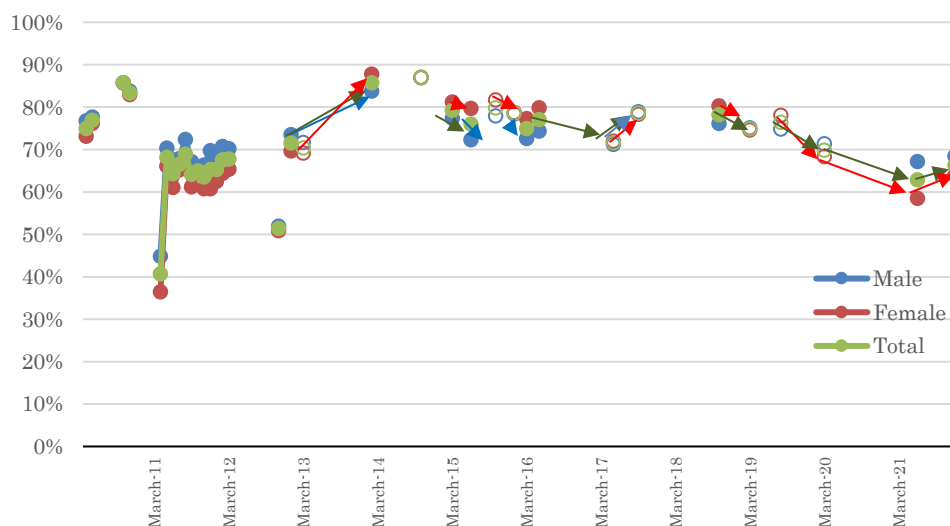


図表 14-2 あなたが DX の利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか(上位 2 つまでを選択、年代別)

(2)DX 以外の科学技術政策に関する変量について回答された割合



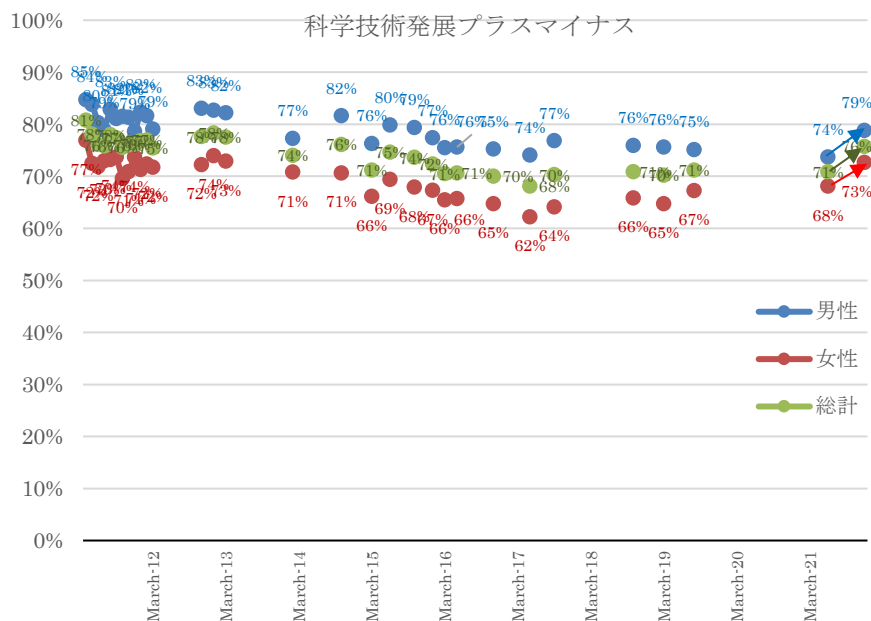
図表 15 科学技術関心度の性別変化



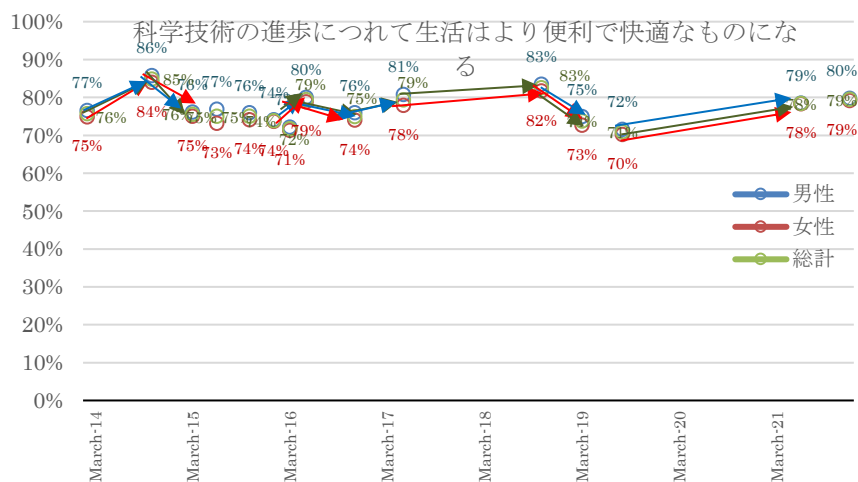
図表 16 科学者の信頼度の性別変化

科学技術関心度(図表 15)は横ばいになっている一方、科学者の信頼度(図表 16)は女性の信頼上昇により、全体上昇している。

特に科学者の信頼度に関しては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う専門家間の意見の相違が見られた結果、どれを信じればよいか分からなくなって結果、信頼度の低下に結びついていたと考えられる。今回の調査でその傾向は回避されつつあることが分かった。

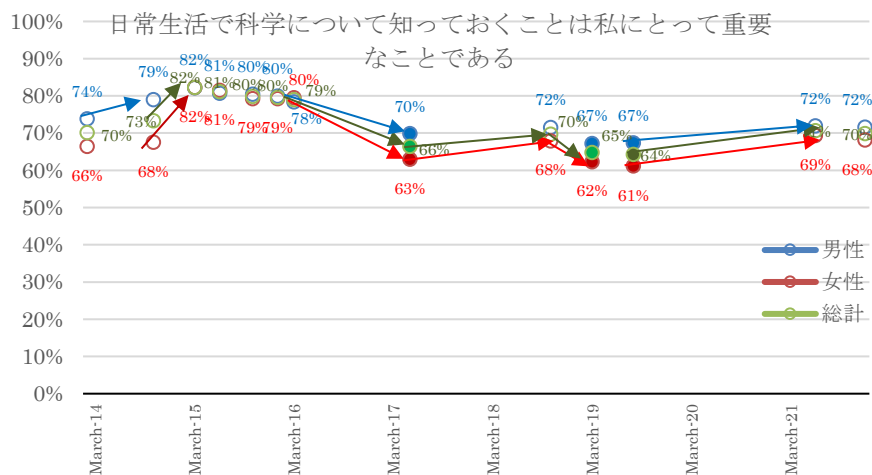


図表 17 科学技術発展をプラスとするかマイナスとするかの性別変化

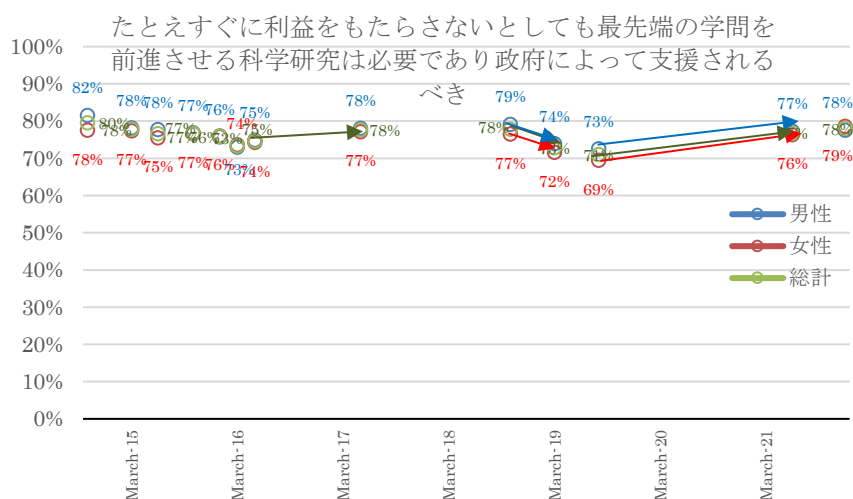


図表 18 科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになるの性別変化

科学技術発展をプラスとするかマイナスとするか(図表 17)では男女ともに上昇している一方、科学技術の進歩につれて生活はより便利で快適なものになる(図表 18)では男女ともに変化がない傾向にある。

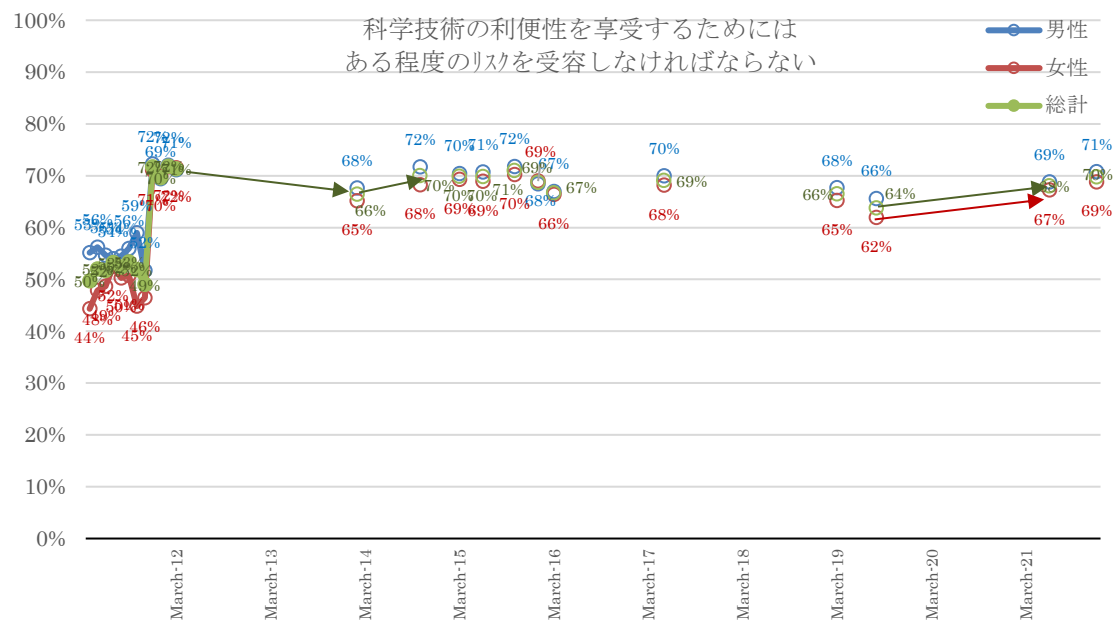


図表 19 日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことであるの性別変化

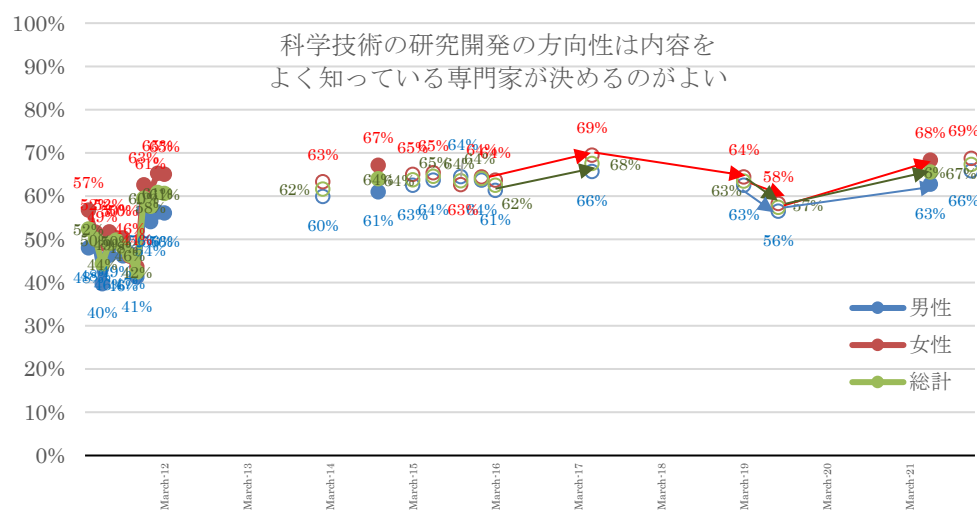


図表 20 たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべきの性別変化

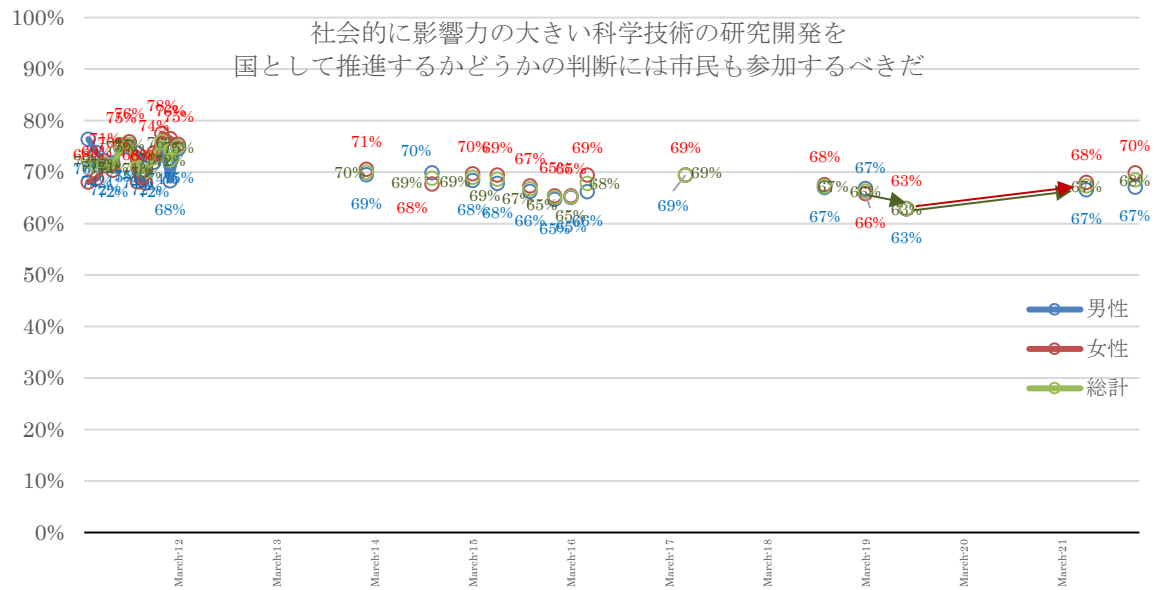
また、日常生活で科学について知っておくことは私にとって重要なことである(図表 19)では男女ともに平坦であり、たとえすぐに利益をもたらさないとしても最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり政府によって支援されるべき(図表 20)でも男女ともに変化は見られない傾向にある。



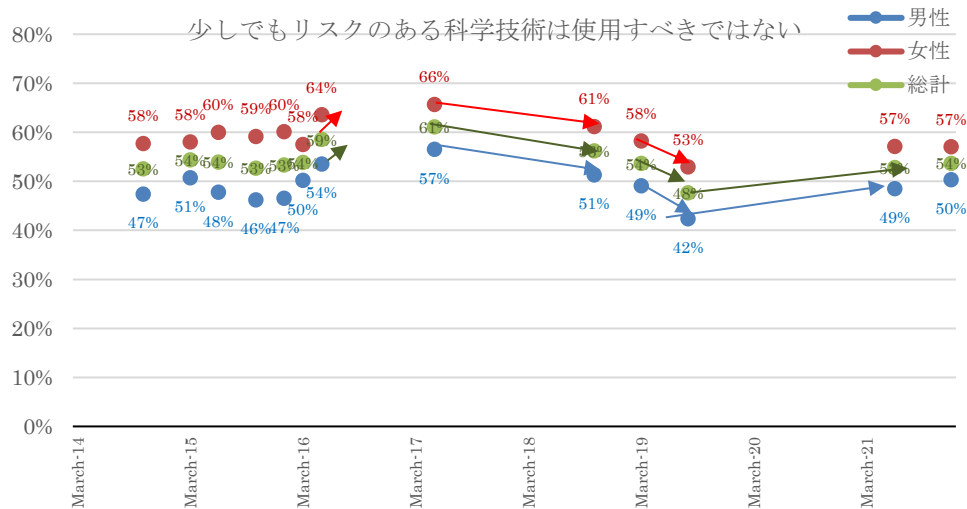
図表 21 科学技術の利便性を享受するためにはある程度リスクを受容しなければならないの性別変化



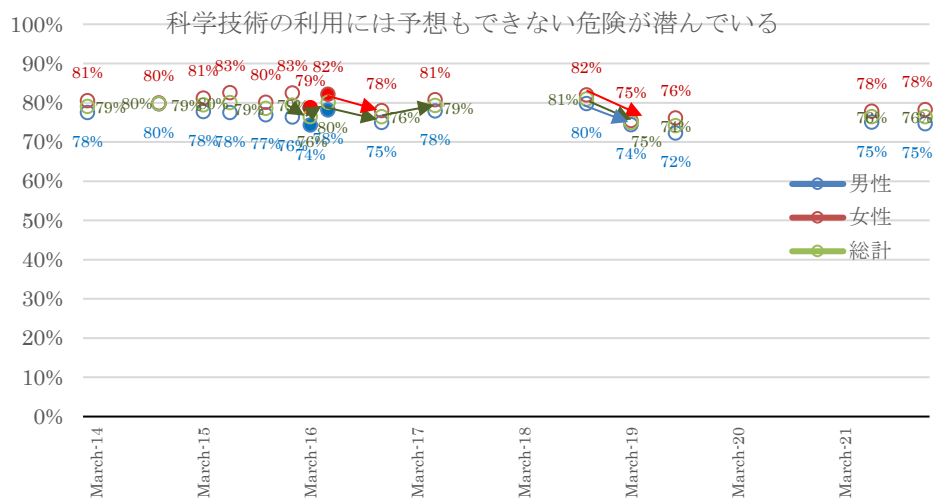
図表 22 科学技術の研究開発の方向性は内容をよく知っている専門家が決めるのがよいの性別変化



図表 23 社会的に影響力の大きい科学技術の研究開発を国として推進するかどうかの判断には市民も参加するべきだの性別変化



図表 24 少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではないの性別変化



図表 25 科学技术の利用には予想もできない危険が潜んでいるの性別変化

追記して科学技术に対する意見の変遷を見ると(図表 21 から図表 25 まで)、男女ともに前回調査から大きく変わったものはなかった。

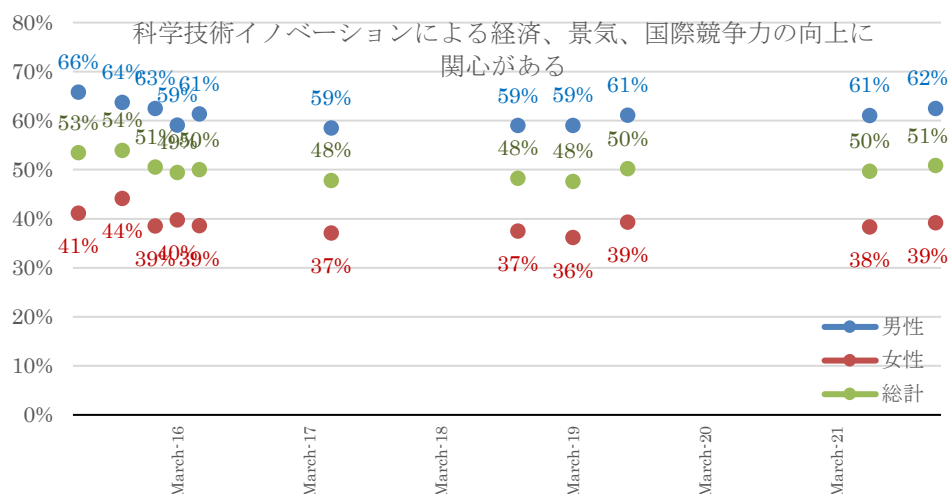
科学技术に対する関心の性別変化を見ると(図表 26 から図表 45 まで)、

男性:増加(自然環境の保全に関心がある)

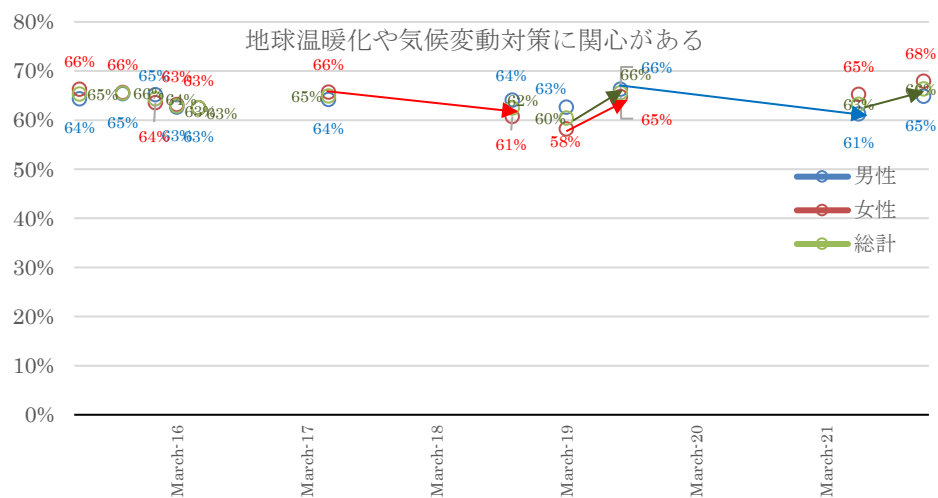
女性:増加(安全保障・テロ対策に関心がある、原子力開発に関心がある)

全体:増加(地球温暖化や気候変動対策に関心がある、資源・エネルギー問題対策に関心がある、少子高齢化社会対策に関心がある、安全保障・テロ対策に関心がある、自然環境の保全に関心がある、原子力開発に関心がある)

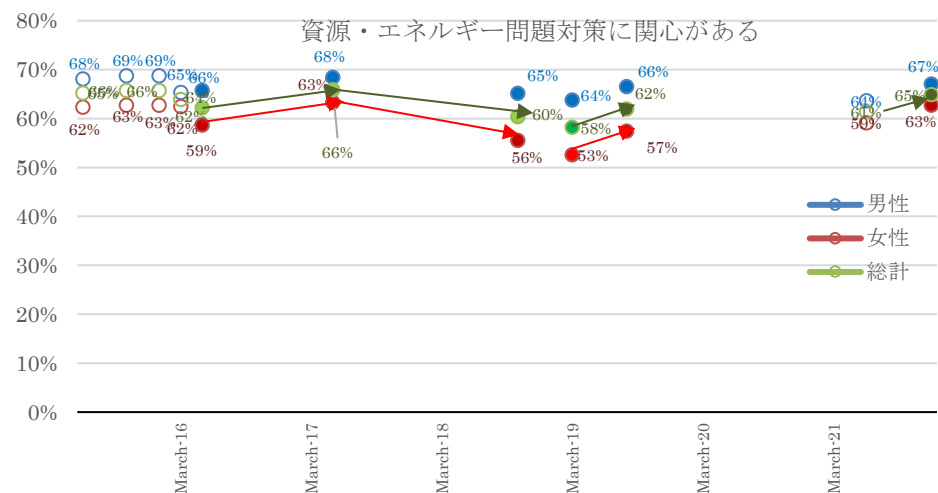
などとなり、全体的に増加傾向が見られた。



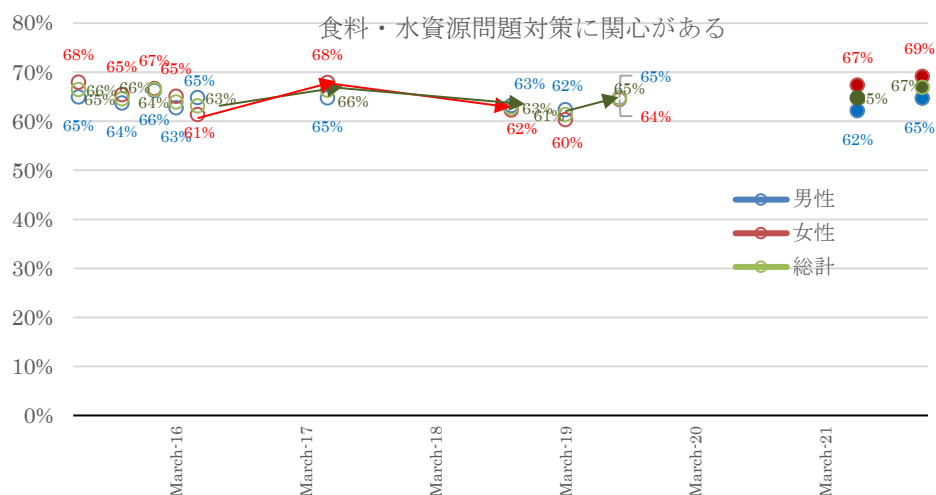
図表 26 科学技术イノベーションによる経済、景気、国際競争力の向上に関心があるの性別変化



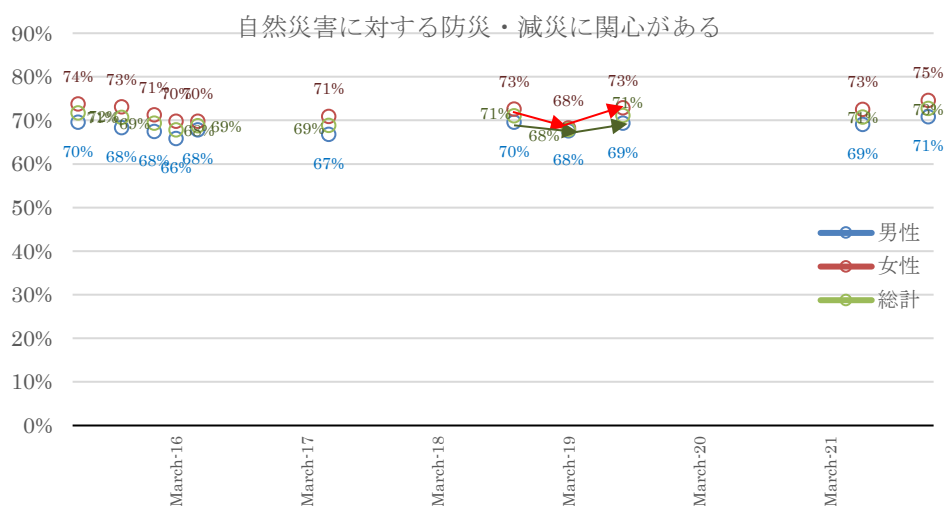
図表 27 地球温暖化や気候変動対策に関心があるの性別変化



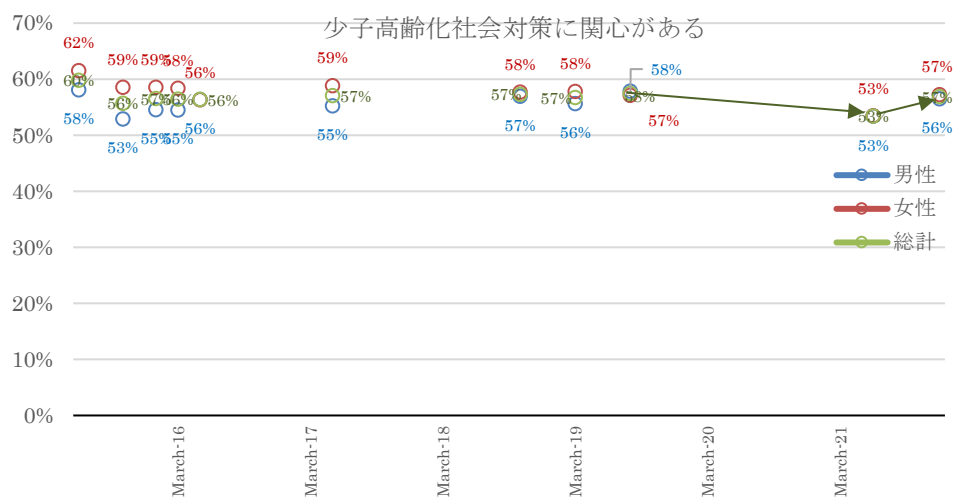
図表 28 資源・エネルギー問題対策に関心があるの性別変化



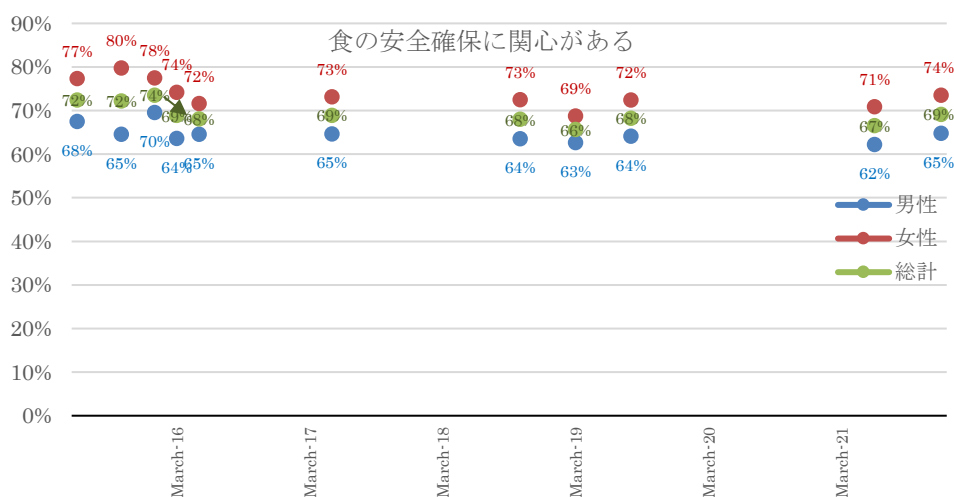
図表 29 食料・水資源問題対策に関心があるの性別変化



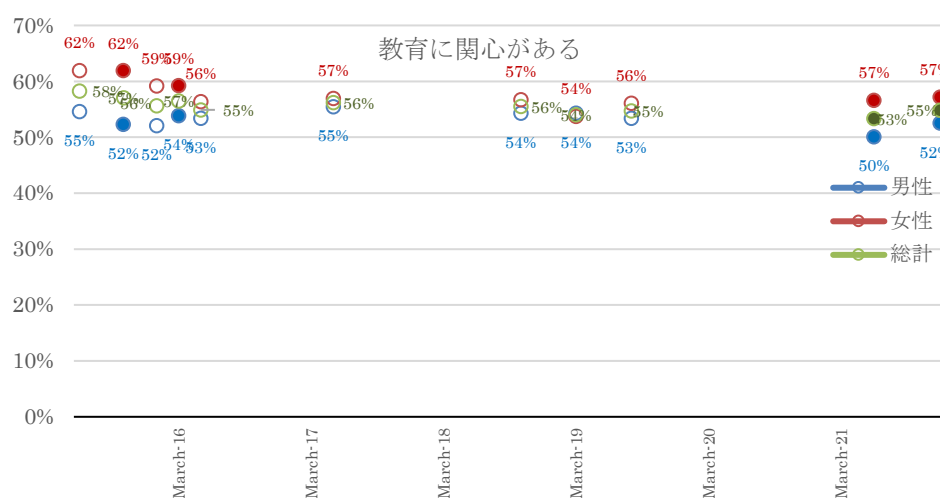
図表 30 自然災害に対する防災・減災に関心があるの性別変化



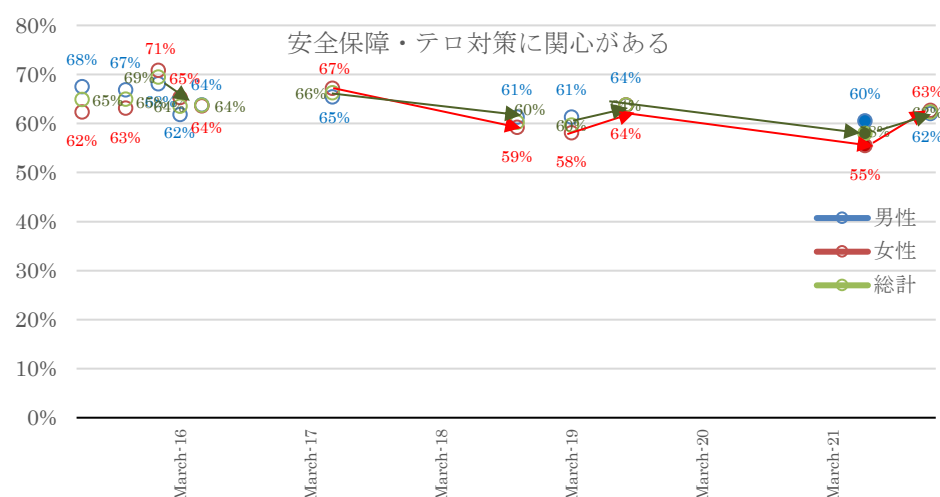
図表 31 少子高齢化社会対策に関心があるの性別変化



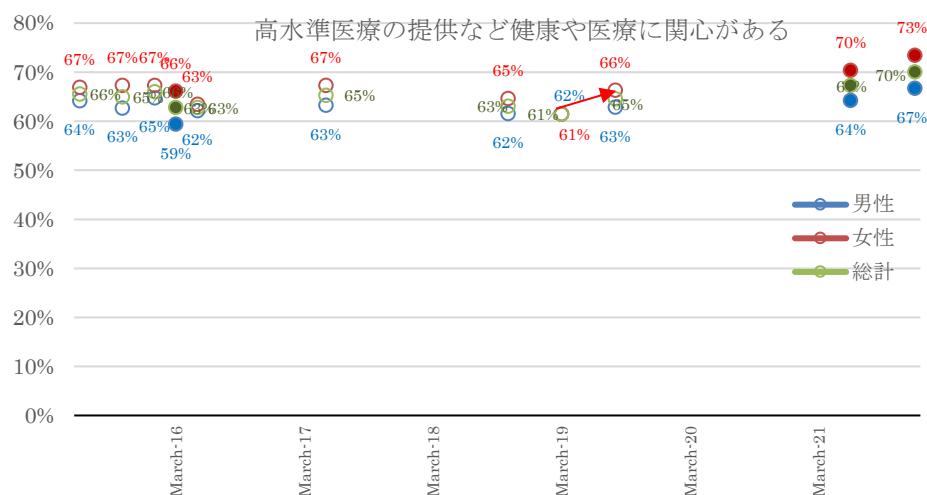
図表 32 食の安全確保に関心があるの性別変化



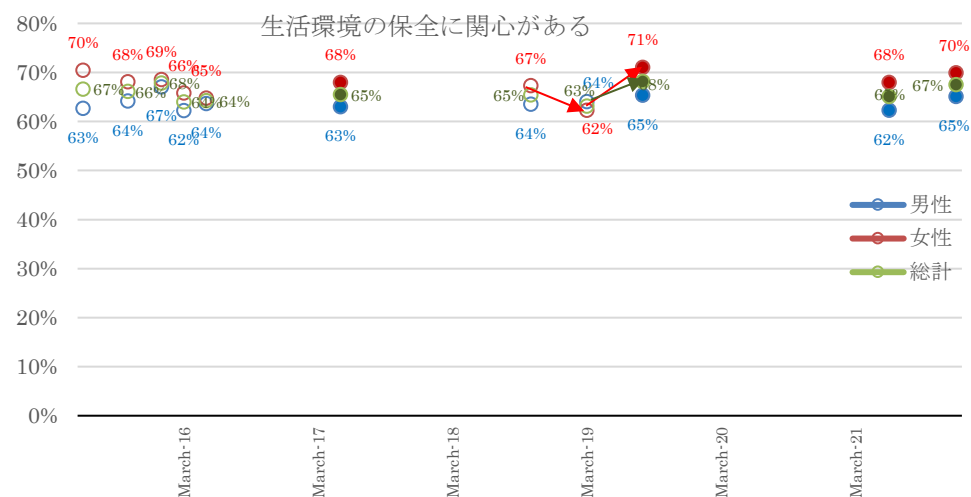
図表 33 教育に関心があるの性別変化



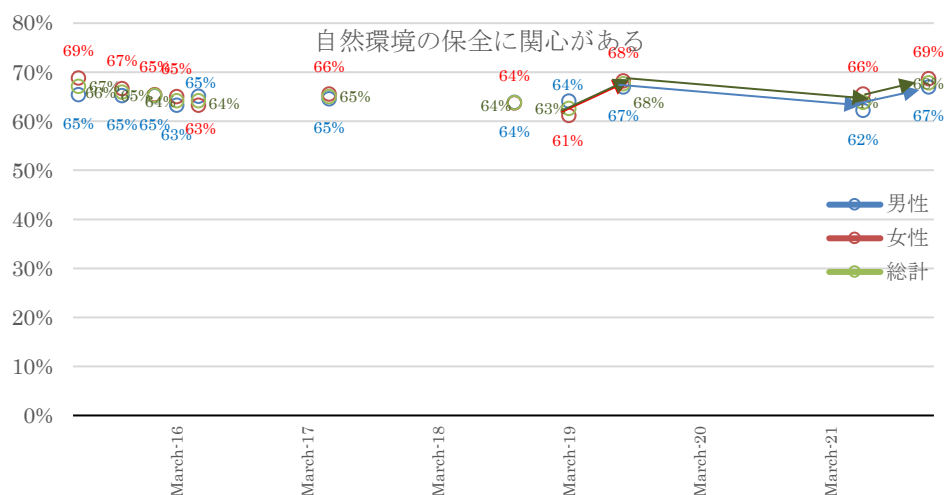
図表 34 安全保障・テロ対策に関心があるの性別変化



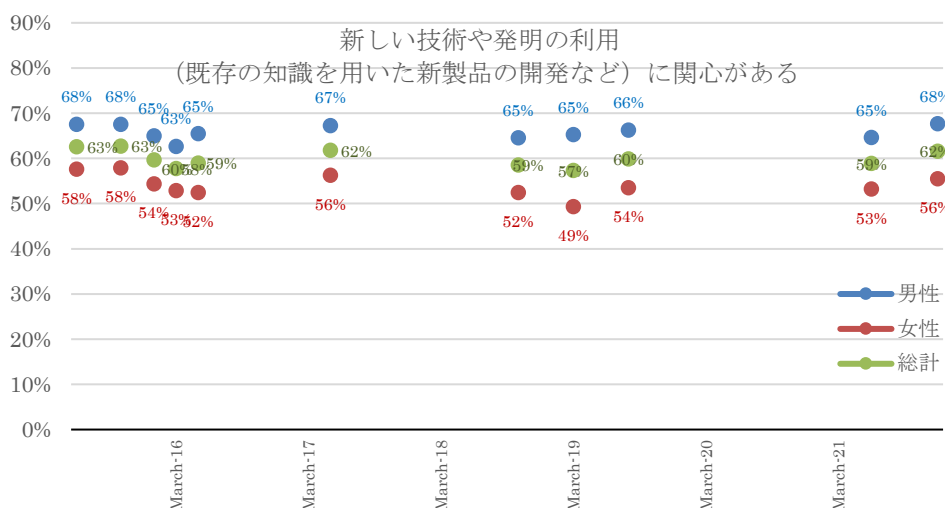
図表 35 高水準医療の提供など健康や医療に関心があるの性別変化



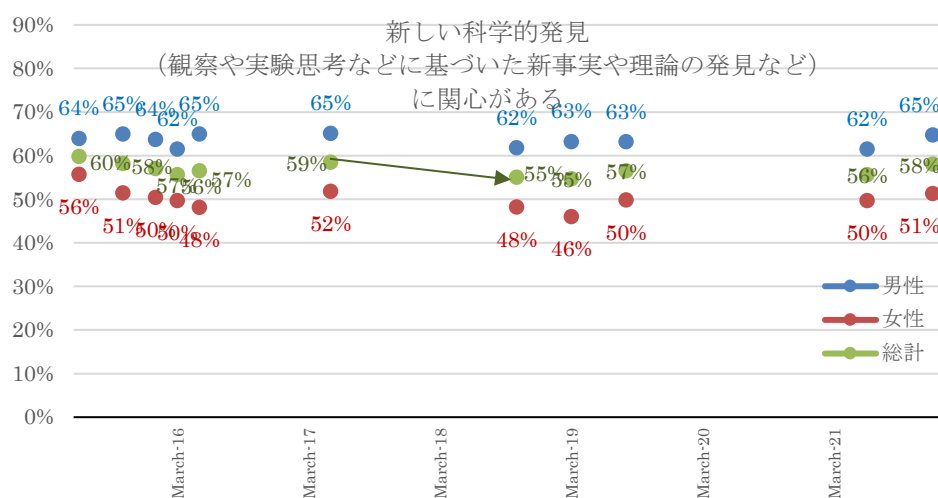
図表 36 生活環境の保全に関心があるの性別変化



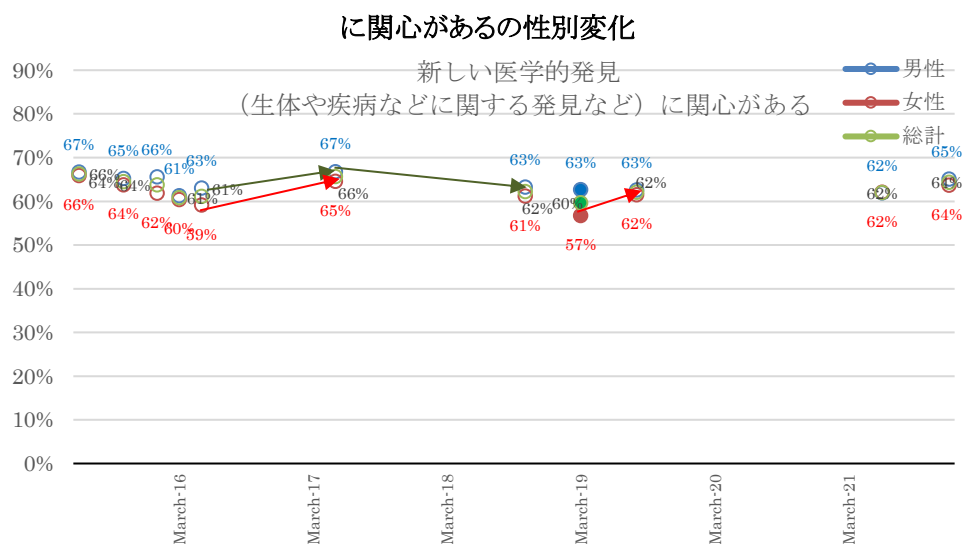
図表 37 自然環境の保全に関心があるの性別変化



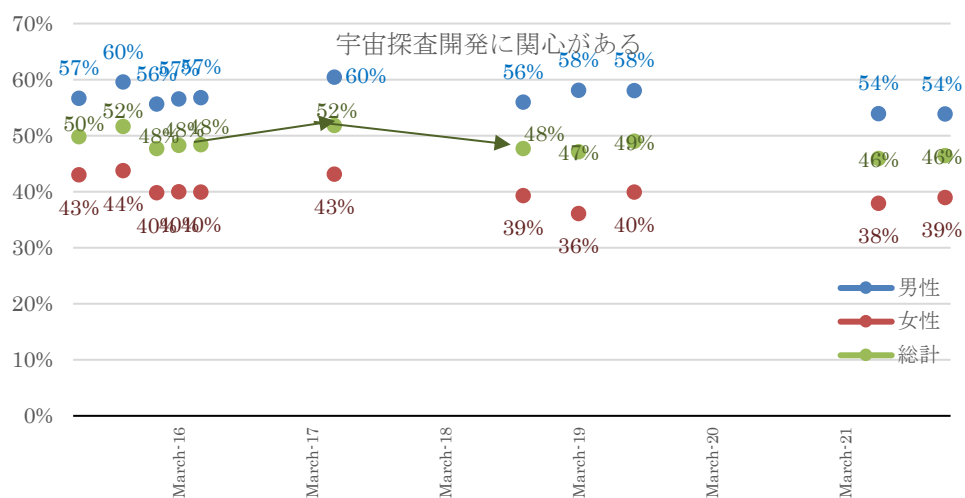
図表 38 新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)に関心があるの性別変化



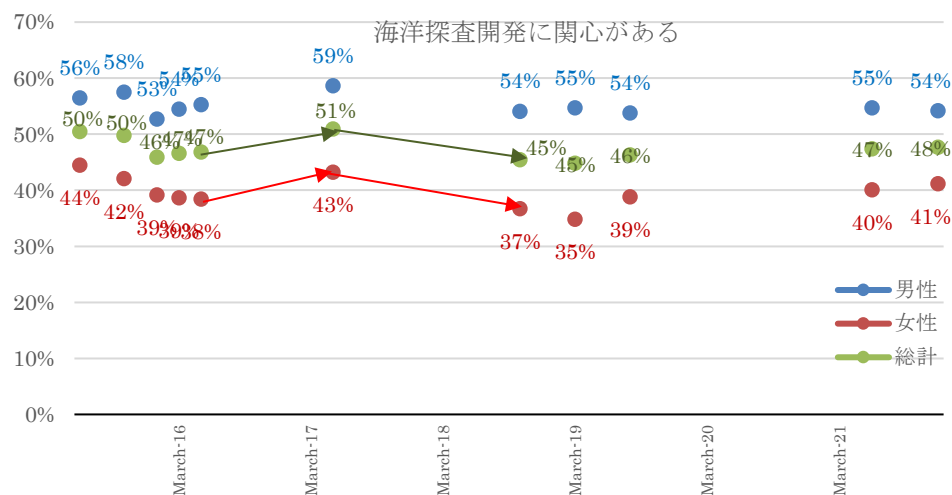
図表 39 新しい科学的発見(観察や実験思考などに基づいた新事実や理論の発見など)



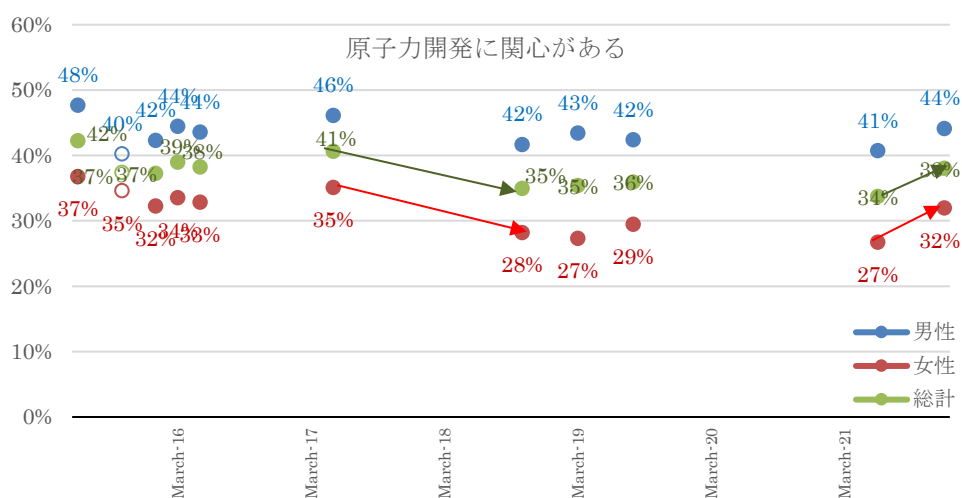
図表 40 新しい医学的発見(生体や疾病などに関する発見など)に興味があるの性別変化



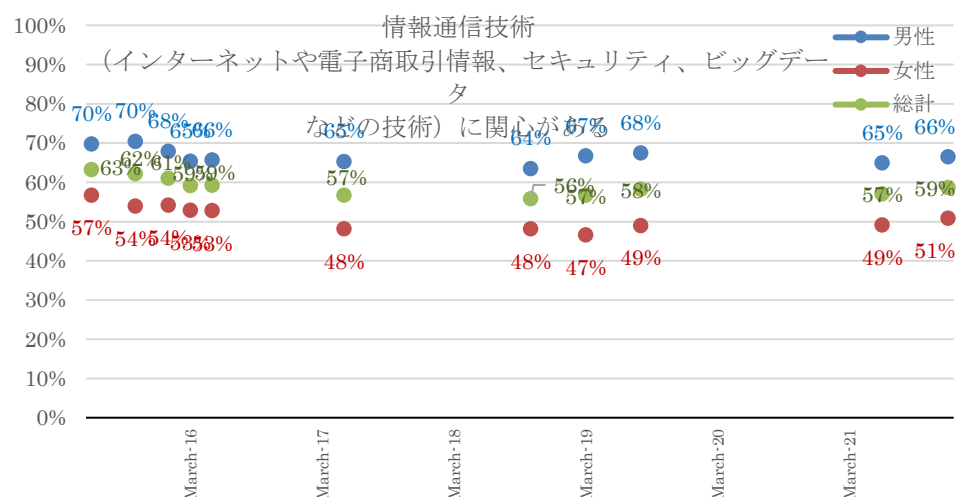
図表 41 宇宙探査開発に関心があるの性別変化



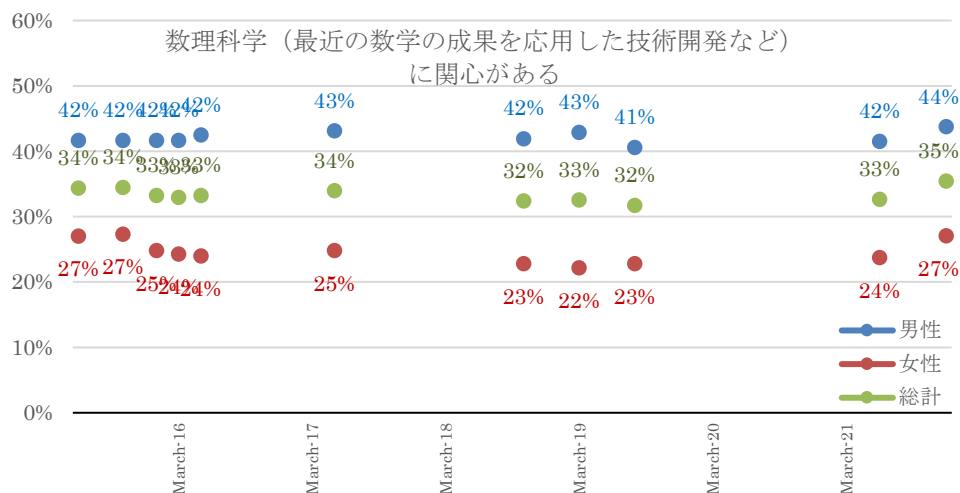
図表 42 海洋探査開発に関心があるの性別変化



図表 43 原子力開発に関心があるの性別変化

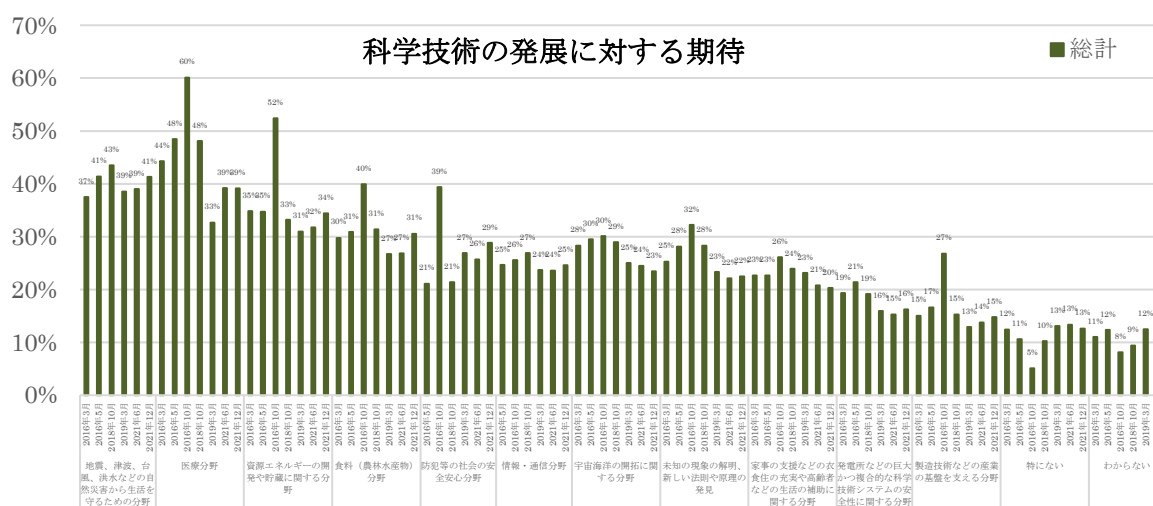


図表 44 情報通信技術（インターネットや電子商取引情報、セキュリティ、ビッグデータなどの技術）に関心があるの性別変化

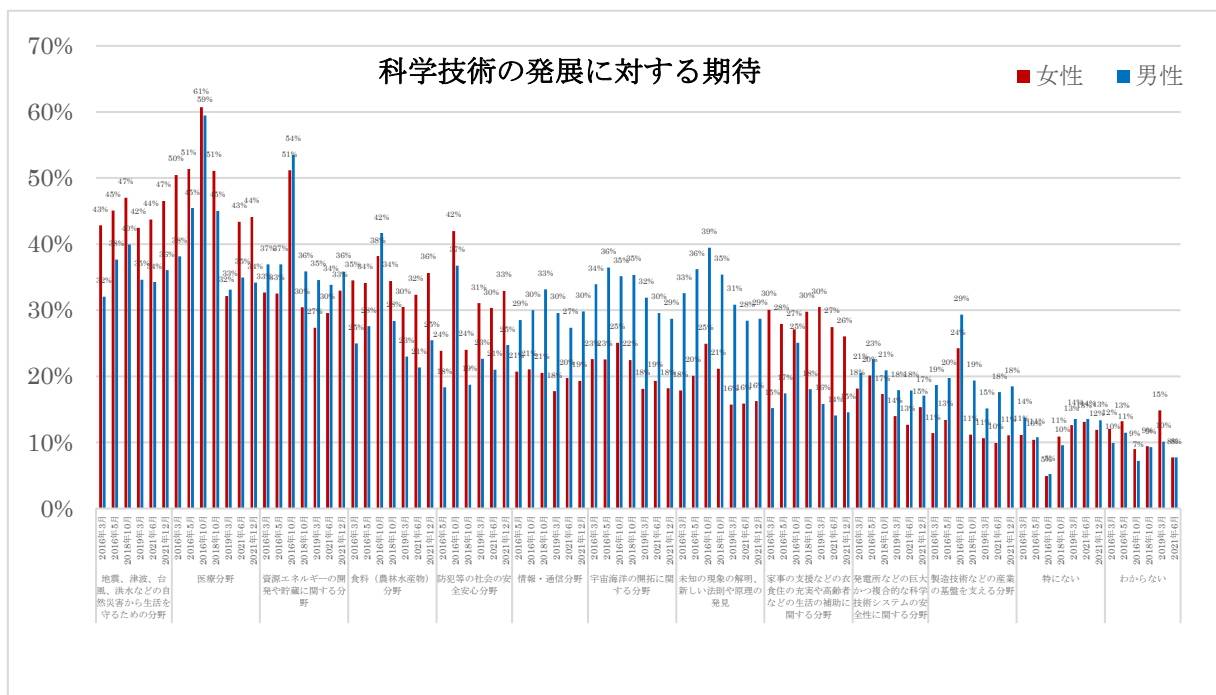


図表 45 数理科学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)に関心があるの性別変化

次に、科学技術の発展に対する期待を調べる(図表 46-1、図表 46-2)。ここでは 2021 年 12 月調査の観測値が高い順に項目を並び替えている(以降同じ)。地震、津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野への期待が最も高く、次いで医療分野などとなっている。性別で見ると、地震、津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野も医療分野も女性の期待が高いことが分かる。逆に男性の期待が高いのは、情報・通信分野、宇宙海洋の開拓に関する分野、未知の現象の解明等となっている。

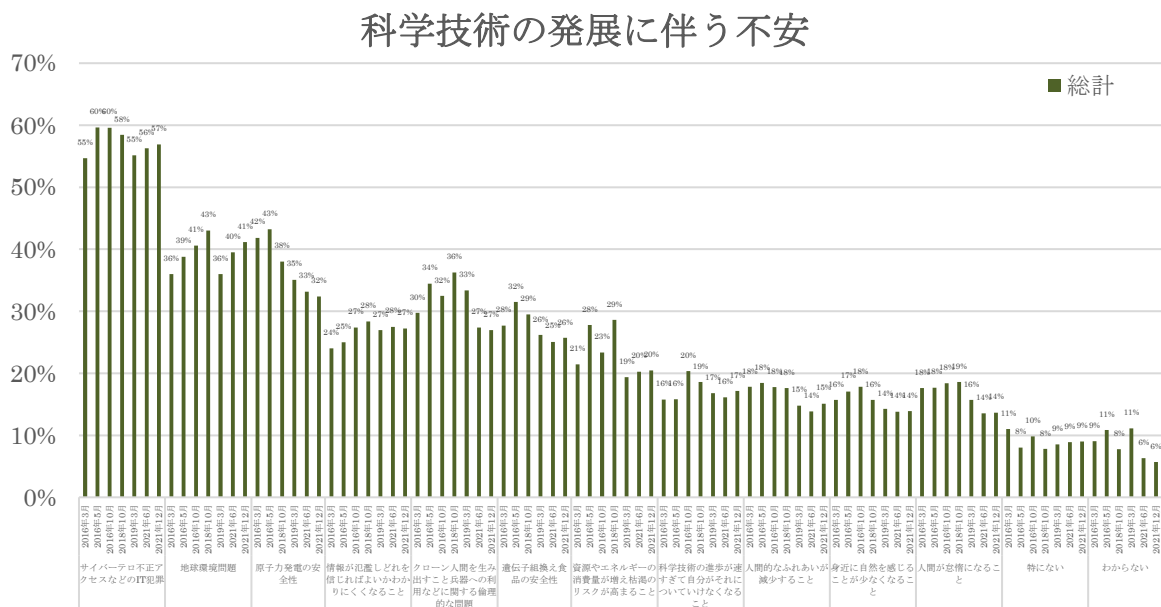


図表 46-1 科学技術の発展に対する期待(全体)

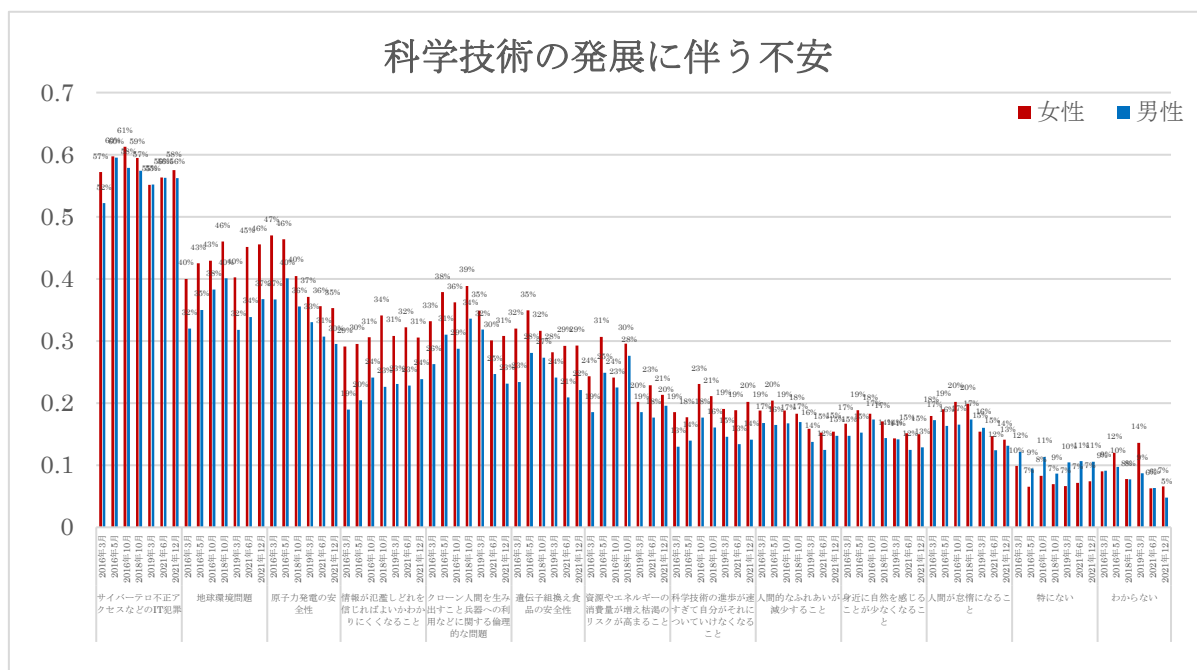


図表 46-2 科学技術の発展に対する期待(性別)

次に、科学技術の発展に伴う不安を調べる(図表 47-1、図表 47-2)。サイバーテロ不正アクセスなどの IT 犯罪への不安が最も高く、次いで地球環境問題などとなっている。性別で見ると、いずれの場合も、女性の不安が高いことが分かる。逆に男性の不安が高いのは、特になしとなっている。



図表 47-1 科学技術の発展に伴う不安(全体)



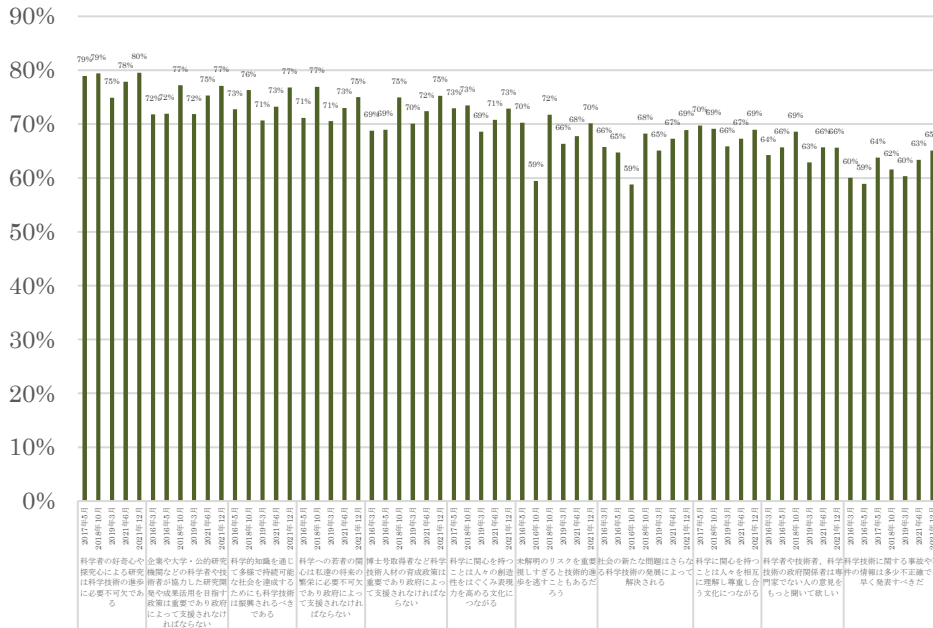
図表 47-2 科学技術の発展に伴う不安(性別)

最後に、科学技術に対する考え方を調べる(図表 48-1、図表 48-2)。科学者の好奇心や探求心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠であるが最も高く、次いで企業や大学・公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり政府によって支援されなければならないなどとなっている。

性別で見ると、女性が一貫して高い変量はあまり見当たらないが、逆に男性が高いのは、未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう、社会の新たな問題はさらなる科学技術の発展によって解決される、科学技術に関する事故や事件の情報は多少不正確でも早く発表すべきだ等となっている。

科学技術に対する考え方

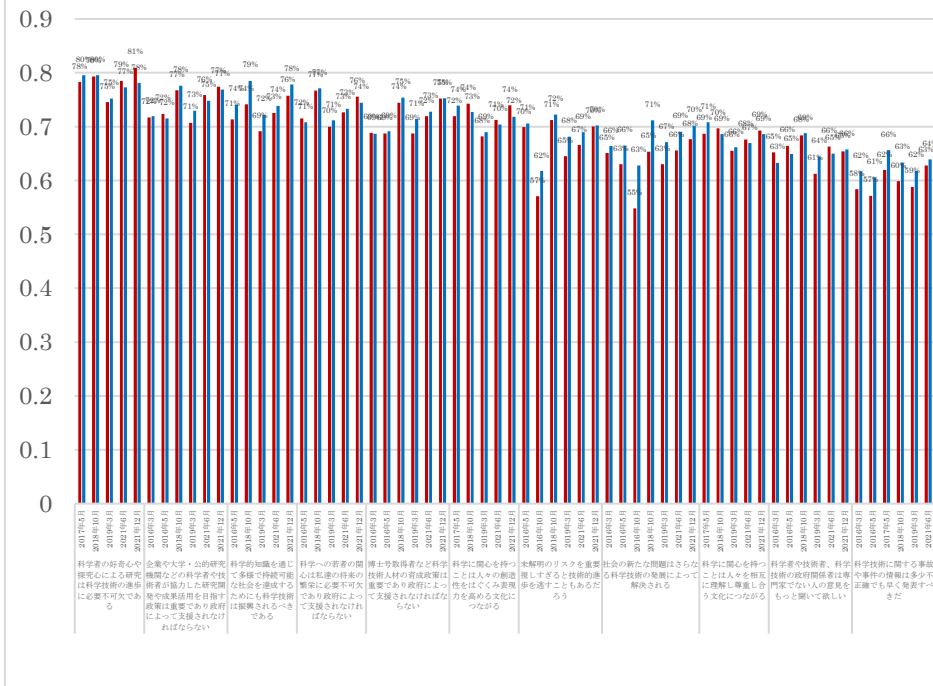
■ 総計



図表 48-1 科学技術に対する考え方(全体)

科学技術に対する考え方

■ 女性 ■ 男性



図表 48-2 科学技術に対する考え方(性別)

4. おわりに

本調査の実施に際し、多大な御協力を頂いた皆様をはじめとする関係者の方々に心から感謝申し上げます。

5. 参考文献

[1]

質 問 票

(インターネット調査質問票その1)

はじめに、あなた自身に関するアンケートにお答えいただき、
その後で、科学技術に関する意識についてお尋ねします。
回答所要時間は約30分です。

次へ

F1

あなたの性別をお答えください。

☐ 男性

☐ 女性

F2

あなたのお年は満でいくつですか。

歳

F3

あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

--- ▼

F4

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)は、次のどれに当てはまりますか。

なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

- ☐ 中学校
- ☐ 高等学校、または専修学校高等課程
- ☐ 高等専門学校
- ☐ 短期大学
- ☐ 専門学校、または専修学校専門課程
- ☐ 大学
- ☐ 専門職学位
- ☐ 大学院修士課程
- ☐ 大学院博士課程
- ☐ その他

F5

あなたが最後に卒業された学校(現在在学中の場合は所属している学校)での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。

なお、F4で「中学校」又は「高等学校、又は専修学校高等課程」をお選びの方は、「該当しない」をお選びください。

- ☐ 人文・社会科学系
(政治学、経済学、経営学、法学、文学、語学、歴史学、心理学、教育学など)
- ☐ 自然科学・工学系
(数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、看護学、栄養学、農学、工学、建築学、土木学など)
- ☐ スポーツ・文化芸術系(体育、音楽、美術、造形、デザインなど)
- ☐ その他
- ☐ 該当しない

職種の分類

分類における注意事項又は具体的な職種の事例

(1) 農林漁業

農林漁業従事による収入を生計の主としている者

(2) 自営の商工サービス業

家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者

(3) 自由業

俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者

(4) 管理的職業

管理職の公務員(議会議員を含む)、会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、その他の管理的職業に従事する者

(5) 科学技術的職業

科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健婦(士)、栄養士、教員(大学等の教員)、その他の科学技術的職業に従事する者

(6) その他専門的・技術的職業

保育士、弁護士、会計士、教員(小・中・高の教員)、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・学芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者

(7) 事務的職業

総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者

(8) 労務的職業

生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、採掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者

(9) 販売的職業

百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲売人、その他の販売的職業に従事する者

(10) サービス的職業

家政婦、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者

(11) 保安的職業

自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者

(12) 家事

主婦、主として家事を務めている夫等

(13) 学生

学業を主としている者(アルバイト等による収入のある学生を含む)

(14) 無職

就職の希望を有している者

(15) 無職(退職等)

定年退職等により、就職の希望を有していない者

(16) その他

上記に該当しない者

F7

あなたの現在の職業(学生等を含む)は、次のどの分類に当てはまりますか。

- ☐ 農林漁業
- ☐ 自営の商工サービス業
- ☐ 自由業
- ☐ 管理的職業
- ☐ 科学技術的職業
- ☐ その他専門的・技術的職業
- ☐ 事務的職業
- ☐ 労務的職業
- ☐ 販売的職業
- ☐ サービス的職業
- ☐ 保安的職業
- ☐ 家事
- ☐ 学生
- ☐ 無職
- ☐ 無職(退職等)
- ☐ その他

F8

あなたは、お子さんがいらっしゃるでしょうか。

次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

- ☐ 同居している小学生未満の子どもがいる
- ☐ 同居している小学生の子どもがいる
- ☐ 同居している中学生の子どもがいる
- ☐ 同居している高校生(専修学校高等課程を含む)の子どもがいる
- ☐ 同居している大学生(高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む)の子どもがいる
- ☐ 同居している大学院生の子どもがいる
- ☐ 同居している社会人の子どもがいる
- ☐ 上記以外の同居している子どもがいる
- ☐ 同居している子どもはいない
- ☐ 子どもはいない

F9

あなたのお住まいの郵便番号についてお答えください。

この情報は回答の分布を得る目的にのみ使用します。

回答者個人を特定したり、第三者に情報提供することはありません。

郵便番号はこちら<<http://www.post.japanpost.jp/zipcode/>>から検索して入力してください。

-

Q1

あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きしたり、読んだり、利用したりしますか。

それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		ほぼ 毎 日 の よ う に	週 に 3 ～ 4 日 程 度	週 に 1 ～ 2 日 程 度	月 に 1 ～ 2 日 程 度	左 記 未 満	見 聞 き し な い / 読 ま な い / 利 用 し な い
1	新聞(印刷版)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	新聞(電子版)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	テレビ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	ラジオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	インターネット(新聞や書籍、雑誌の電子版、SNS及び電子メールを除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	SNS(FacebookやTwitter、LINEなど)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	電子メール(ウェブメールを含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	一般向け書籍(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	週刊誌や情報誌など雑誌(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	専門書籍や論文雑誌(電子版を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q2

次の科学技術の話題にどのくらい関心をもっていますか。
それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が な い	関 心 が な い
1	科学技術イノベーションによる経済・景気・国際競争力の向上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	地球温暖化や気候変動対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	資源・エネルギー問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	食料・水資源問題対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	自然災害に対する防災・減災	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	少子高齢化社会対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	食の安全確保	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	教育	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	安全保障・テロ対策	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	予防措置や医療の提供など健康や医療	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

		関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が あ る	ど ち ら か と い う と 関 心 が な い	関 心 が な い
11	生活環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	自然環境の保全	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	新しい技術や発明の利用(既存の知識を用いた新製品の開発など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	新しい科学的発見(観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	新しい医学的発見(新たな疾病や治療薬などに関する発見など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	宇宙探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	海洋探査・開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	原子力開発	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	情報通信技術(インターネットや電子商取引、情報セキュリティ、ビッグデータなどの技術)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	数理学(最近の数学の成果を応用した技術開発など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q3

発展や改善が進むことへの期待が高まっている科学技術の分野がありますか。
この中から、あなたの期待が高まっているものをいくつでもあげてください。(いくつでも)

- ☐ 未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見
- ☐ 宇宙、海洋の開拓に関する分野
- ☐ 地球環境の保全に関する分野
- ☐ 資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野
- ☐ 医療分野など生命に関する科学技術
- ☐ 食料(農林水産物)分野
- ☐ 家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野
- ☐ 製造技術などの産業の基盤を支える分野
- ☐ 地震・津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野
- ☐ 発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野
- ☐ 情報・通信分野
- ☐ 防災、防犯などの社会の安全・安心に関する分野
- ☐ その他
- ☐ 特にない
- ☐ わからない

Q4

科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。
ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

- ☐ サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪
- ☐ 遺伝子組換え食品の安全性
- ☐ 原子力発電の安全性
- ☐ 資源やエネルギーの無駄遣いが増えること
- ☐ 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題
- ☐ 身近に自然を感じる事が少なくなること
- ☐ 情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなること
- ☐ 人間的なふれあいが減少すること
- ☐ クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的な問題
- ☐ 人間が怠惰になること
- ☐ 科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなること
- ☐ 人工知能(AI)などの発達により、人間の仕事が奪われること
- ☐ 新たな医療技術などが普及しても、一部のしか恩恵を受けられないこと
- ☐ その他
- ☐ 特に不安を感じない
- ☐ わからない

Q5

科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ 関心がない
- ☐ どちらかというと関心がない
- ☐ どちらかというと関心がある
- ☐ 関心がある

Q6

あなたは、科学者の話は信頼できると思いますか。
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ わからない
- ☐ 信頼できない
- ☐ どちらかという信頼できない
- ☐ どちらかという信頼できる
- ☐ 信頼できる

Q7

科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。
次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ マイナス面が多い
- ☐ どちらかというマイナス面が多い
- ☐ 両方同じくらいである
- ☐ どちらかというプラス面が多い
- ☐ プラス面が多い

Q8

科学技術に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。
あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。(それぞれひとつずつ)

		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
1	科学者や技術者、科学技術の政府関係者は、専門家でない人の意見をもっと聞いて欲しい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	博士号取得者など科学技術人材の育成政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	企業や大学、公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
13	資源・エネルギー問題、環境問題、水・食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	科学への若者の関心は私達の将来の繁栄に必要不可欠であり政府によって支援されなければならない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	科学に関心を持つことは人々を相互に理解し尊重し合う文化につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	科学に関心を持つことは人々の創造性をはぐみ表現力を高める文化につながる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24	人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

この質問票におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)とは、情報技術の発展によりデジタル化が進展することで、仮想と現実が融合して結びつき、社会全体に不可逆的な変化をもたらすことを意味します。

DXにより、既存のビジネスモデル、社会・経済構造、法律・政策、生活・消費パターン、文化的障壁などにおける変化が加速すると考えられます。

Q9

DX化の推進に関して、あなたは賛同しますか。当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ 賛同する
- ☐ どちらかという賛同する
- ☐ どちらかという賛同しない
- ☐ 賛同しない

Q10

DX化が進むことで、社会全体が変わっていく方向性について、あなたはどのように感じますか。当てはまるものを一つお選びください。

- ☐ 社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する
- ☐ どちらかというと社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する
- ☐ より快適で暮らしやすい方向への変化と、より不快で暮らしにくい方向への変化は同じくらい
- ☐ どちらかというと社会がより不快で暮らしにくい方向に変化する
- ☐ 社会がより不快で暮らしにくい方向に変化する
- ☐ わからない

Q11

具体的なDX化実現に関連して、あなたが所有または家族と共有するデジタルデバイス(携帯電話(スマートフォン)、TV(通信機能があるもの)、ゲーム機(通信機能があるもの)、PCなど)について考えてみてください。

どのデバイスを所有または共有していますか。

また、一つのデバイスで複数の機能が備わっている場合、当てはまるものを全てお選びください。**(いくつでも)**

- ☐ 携帯電話(スマートホンを含む)
- ☐ ウェアラブルコンピュータ(スマートウォッチなど)
- ☐ タブレットPC
- ☐ ノートPC
- ☐ デスクトップPC
- ☐ テレビ(インターネット機能のあるもの)
- ☐ ゲーム機(インターネット機能のあるもの)
- ☐ ルーター(Wi-Fiルーターを含む)
- ☐ ネットワーク家電(遠隔操作可能な家庭電化製品)
- ☐ 外付けHDD(ハードディスクドライブ)
- ☐ USBメモリー
- ☐ メモリーカード(SDカード、microSDカードなど)
- ☐ オンラインストレージ(ファイル共有サービスの利用)
- ☐ ワイヤレスヘッドホン(ワイヤレスイヤホンを含む)
- ☐ デジタルデバイスを所有していない
- ☐ その他
- ☐ わからない

Q12

最後に交換したデジタルデバイス(携帯電話、タブレット、ラップトップなど)について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか?(3つまで)

- ☐ 古いデバイスが壊れた
- ☐ 古いデバイスのパフォーマンスが大幅に低下した
- ☐ 特定のアプリケーションまたはソフトウェアが古いデバイスで動作を停止した
- ☐ プロバイダーとの契約の一環として新しいデバイスを受け取った
- ☐ あなたは市場で最新のデバイスを持っているのが好きだ
- ☐ 新しい機能やサービスを備えたデバイスが必要だった
- ☐ 古いデバイスの外観が気に入らなくなった
- ☐ その他
- ☐ デジタルデバイスを交換していない
- ☐ あなたはデジタルデバイスを所有していない
- ☐ わからない

Q13

メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品(スクリーンやバッテリーなど)の交換を容易にする必要がありますか?

- ☐ はい、デバイスの価格が高くても
- ☐ はい、デバイスの価格が高くない場合は可能である
- ☐ いいえ
- ☐ デジタル機器を利用していない
- ☐ わからない

Q14

古いデジタルデバイスをリサイクルしても良いと思う状況はありますか?(いくつでも)

- ☐ お金などの報酬を受け取った場合
- ☐ 近くにリサイクルポイントがあった場合
- ☐ デバイスがどのようにリサイクルされるかを知っている場合
- ☐ 物理的なHDDディスクの破壊など、潜在的なプライバシーリスクを引き起こさないと確信している場合
- ☐ その他
- ☐ いいえ
- ☐ わからない

Q15

人々が個人情報の一部を共有すれば、公共サービスは改善される可能性があります。どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか?(いくつでも)

- ☐ 医学研究と医療を改善するため
- ☐ 公共交通機関を改善し、大気汚染を減らすため
- ☐ エネルギー効率を改善するため
- ☐ 危機的状況(自然災害、エピソード、テロ攻撃など)への対応を改善するため
- ☐ 教育データを利用することで、公教育をより良くするため
- ☐ 他の目的のため
- ☐ あなたはいかなる目的のためにもあなたの個人情報を共有することに反対である
- ☐ わからない

Q16

デジタルテクノロジーの使用に関するスキルに関して、次の記述にどの程度同意しますか、または同意しませんか。
あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますか。

- ☐ 同意する
- ☐ どちらかというと同意する
- ☐ どちらかというと反対する
- ☐ まったくそう思わない
- ☐ わからない

Q17

デジタルテクノロジーの使用に関するスキルに関して、次の記述にどの程度同意しますか、または同意しませんか。

あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか。

- ☐ 同意する
- ☐ どちらかという同意する
- ☐ どちらかという反対する
- ☐ まったくそう思わない
- ☐ わからない

Q18

デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思いますか?(いくつでも)

- ☐ 適切なトレーニングの機会の欠如
- ☐ 時間不足
- ☐ 費用
- ☐ 改善すべき具体的なスキルがわからない
- ☐ スキルアップの必要性を感じない
- ☐ その他の要因
- ☐ わからない

Q19

あなたは、機会があれば、DXに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

- ☐ 聞いてみたいとは思わない
- ☐ あまり聞いてみたいとは思わない
- ☐ できれば聞いてみたい
- ☐ 聞いてみたい

Q20

DXに関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。

それぞれについて、できるだけあなたの考えに近いものを1つお選びください。

これからの技術については将来使用できるようになった場合を考えてお答えください。

(それぞれひとつずつ)

		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
1	DXは私の仕事や生活に利便性をもたらす。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	DXを利用するか否かは自分で決めることができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	身近な人(上司、家族など)はDXを自分が利用することを期待している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	社会はDXを自分が利用することを期待している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	DXに対して十分に情報が提供されている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	DXを利用することは容易である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	DXの発展により高齢化社会に対応したデジタル・デバイスが生まれる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	DXの利用が不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	DXの利用は自分や家族の健康に悪い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	DXにより人間が怠惰になる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	DXにより人間的なふれあいが減少する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	DXの開発が早すぎて、自分がそれについていけなくなる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

		そう 思う	ど ち ら か と い う と そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
13	DXの普及により、人間の仕事が奪われる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	DXにより地球温暖化や自然環境破壊などが起こる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	DXにより資源やエネルギーの無駄遣いが増える。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	DXにより身近に自然を感じることが少なくなる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	DXは倫理的側面が不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	DXがプライバシーを侵害する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	DXの責任の所在が明らかでない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20	DXの発展により犯罪が増加する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21	DXの複雑なシステムが不安である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	DXの情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	DXの利用は社会的に好ましい技術である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24	DXの利用を積極的に受け入れる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q21

あなたがDXの利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか?次の選択肢から回答してください。(上位2つまで選択)(2つまで)

- ☐ DXが多くの人々に普及すること
- ☐ 社会システム(規制、インフラ)が整うことなどにより、DXの効果を自分が実感できるようになること
- ☐ DXの安全性・信頼性を明確に理解できるようになること
- ☐ DXの有用性が明確に理解できるようになること
- ☐ DXの十分な説明が行われること
- ☐ コストパフォーマンスに優れること
- ☐ オンラインのコンテンツが充実したものになること
- ☐ わからない

Q22

あなたがDXの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか。(上位2つまで選択)(2つまで)

- ☐ 国や自治体など行政から
- ☐ 企業・技術開発者から
- ☐ 大学や研究機関の科学者・専門家から
- ☐ 技術をすでに利用しているユーザーから
- ☐ 友人や家族など身近な人から
- ☐ 俳優やタレントなど親しみやすい人から
- ☐ わからない

Q23

DXについて御意見がございましたら、御自由に記入してください。

(インターネット調査質問票その2)

Q1 あなたは、普段、仕事や学校の授業で行う場合を除いて、次にあげたものを、どのくらい見聞きたり、読んだり、利用したりしますか。それぞれについて、最も近いものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		ほぼ毎日 のように	週に3 〜4 程度	週に1 〜2 程度	月に1 〜2 程度	左記未 満	見聞 きし ない ／読 まな い ／利 用し ない
新聞（印刷版）	→	○	○	○	○	○	○
新聞（電子版）	→	○	○	○	○	○	○
テレビ	→	○	○	○	○	○	○
ラジオ	→	○	○	○	○	○	○
インターネット（新聞や書籍、雑誌の電子版、SNS及び電子メールを除く）	→	○	○	○	○	○	○
SNS（FacebookやTwitter、LINEなど）	→	○	○	○	○	○	○
電子メール（ウェブメールを含む）	→	○	○	○	○	○	○
一般向け書籍（電子版を含む）	→	○	○	○	○	○	○
週刊誌や情報誌など雑誌（電子版を含む）	→	○	○	○	○	○	○
専門書籍や論文雑誌（電子版を含む）	→	○	○	○	○	○	○

Q2 次の科学技術の話題にどのくらい関心をもっていますか。それぞれについて、当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない
科学技術イノベーションによる経済・景気・国際競争力の向上	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地球温暖化や気候変動対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資源・エネルギー問題対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食料・水資源問題対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然災害に対する防災・減災	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少子高齢化社会対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食の安全確保	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教育	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
安全保障・テロ対策	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
予防措置や医療の提供など健康や医療	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

		関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない
生活環境の保全	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然環境の保全	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新しい技術や発明の利用（既存の知識を用いた新製品の開発など）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新しい科学的発見（観察や実験、思考などに基づいた新事実や理論の発見など）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新しい医学的発見（新たな疾病や治療薬などに関する発見など）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
宇宙探査・開発	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
海洋探査・開発	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
原子力開発	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報通信技術（インターネットや電子商取引、情報セキュリティ、ビッグデータなどの技術）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
数理科学（最近の数学の成果を応用した技術開発など）	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q3 発展や改善が進むことへの期待が高まっている科学技術の分野がありますか。この中から、あなたの期待が高まっているものをいくつかあげてください。

いくつでも

必須

☐ 未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見

☐ 宇宙、海洋の開拓に関する分野

☐ 地球環境の保全に関する分野

☐ 資源・エネルギーの開発や貯蔵に関する分野

☐ 医療分野など生命に関する科学技術

☐ 食料（農林水産物）分野

☐ 家事の支援などの衣食住の充実や高齢者などの生活の補助に関する分野

☐ 製造技術などの産業の基盤を支える分野

☐ 地震・津波、台風、洪水などの自然災害から生活を守るための分野

☐ 発電所などの巨大かつ複合的な科学技術システムの安全性に関する分野

☐ 情報・通信分野

☐ 防災、防犯などの社会の安全・安心に関する分野

☐ その他

入力してください

☐ 特にない

☐ わからない

Q4 科学技術の発展にともなう不安が高まっていると感じていることがありますか。ここに示した中から不安が高まっていると感じているものをいくつかもお選びください。

いくつでも

必須

☐ サイバーテロ、不正アクセスなどのIT犯罪

☐ 遺伝子組換え食品の安全性

☐ 原子力発電の安全性

☐ 資源やエネルギーの無駄遣いが増えること

☐ 地球温暖化や自然環境破壊などの地球環境問題

☐ 身近に自然を感じることが少なくなること

☐ 情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくくなること

☐ 人間的なふれあいが減少すること

☐ クローン人間を生み出すこと、兵器への利用などに関する倫理的な問題

☐ 人間が怠惰になること

☐ 科学技術の進歩が速すぎて、自分がそれについていけなくなること

☐ 人工知能（AI）などの発達により、人間の仕事が奪われること

☐ 新たな医療技術などが普及しても、一部の人が恩恵を受けられないこと

☐ その他

入力してください

☐ 特に不安を感じない

☐ わからない

Q5 科学技術に関するニュースや話題に関心がありますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 関心がある

☐ どちらかというと関心がある

☐ どちらかというと関心がない

☐ 関心がない

Q6 あなたは、科学者の話は信頼できると思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 信頼できる

☐ どちらかというと信頼できる

☐ どちらかというと信頼できない

☐ 信頼できない

☐ わからない

Q7 科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われておりますが、全体的に見た場合、あなたはそのどちらが多いと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ プラス面が多い

☐ どちらかというとプラス面が多い

☐ 両方同じくらいである

☐ どちらかというとマイナス面が多い

☐ マイナス面が多い

Q8 科学技術に関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。あなたのお考えに当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		とても いい	やや いい	どちら か	どちら も ない	よく ない
科学者や技術者、科学技術の政府関係者は、専門家でない人の意見をもっと聞いて欲しい。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術の進歩につれて、生活はより便利で快適なものになる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
日常生活で科学について知っておくことは、私にとって重要なことである	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
たとえすぐに利益をもたらさないとしても、最先端の学問を前進させる科学研究は必要であり、政府によって支援されなければならない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
博士号取得者など科学技術人材の育成政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業や大学、公的研究機関などの科学者や技術者が協力した研究開発や成果活用を目指す政策は重要であり、政府によって支援されなければならない。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少しでもリスクのある科学技術は使用すべきではない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術の研究開発の方向性は、内容をよく知っている専門家が決めるのがよい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術の利用には、予想もできない危険が潜んでいる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術の利便性を享受するためには、ある程度のリスクを受容しなければならない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会的影響力の大きい科学技術の評価には、市民も参加すべきだ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術に関する事故や事件の情報は、多少不正確でも早く発表すべきだ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

		とても いい	やや いい	どちら か	どちら も ない	よく ない
資源・エネルギー問題、環境問題、水・食糧問題、感染症問題などの社会の新たな問題は、さらなる科学技術の発展によって解決される	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学的知識を通じて多様で持続可能な社会を達成するためにも科学技術は振興されるべきである	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
未解明のリスクを重要視しすぎると技術的進歩を逃すこともあるだろう	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学への若者の関心は私達の将来の繁栄に必要不可欠であり政府によって支援されなければならない	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学者の好奇心や探究心による研究は科学技術の進歩に必要不可欠である	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学に関心を持つことは人々を相互に理解し尊重し合う文化につながる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

科学に関心を持つことは人々の創造性をはぐくみ表現力を高める文化につながる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10年後の日本の科学技術は諸外国に比べ進んでいる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的センスを育てるのに役立っている	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
科学技術に関する政策の検討には、科学者や政府だけでなく、一般の国民の関わりがより一層必要となってくる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人間の様々な組織や臓器に成長するiPS細胞など、再生医療に関する科学技術イノベーションにより、病気やけがなどの治療技術が進歩する	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

この質問票におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）とは、情報技術の発展によりデジタル化が進展することで、仮想と現実が融合して結びつき、社会全体に不可逆的な変化をもたらすことを意味します。DXにより、既存のビジネスモデル、社会・経済構造、法律・政策、生活・消費パターン、文化的障壁などにおける変化が加速すると考えられます。

Q9 DX化の推進に関して、あなたは賛同しますか。当てはまるものを一つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 賛同する

☐ どちらかという賛同する

☐ どちらかという賛同しない

☐ 賛同しない

Q10 DX化が進むことで、社会全体が変わっていく方向性について、あなたはどのように感じますか。当てはまるものを一つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する

☐ どちらかという社会がより快適で暮らしやすい方向に変化する

☐ より快適で暮らしやすい方向への変化と、より不快で暮らしにくい方向への変化は同じくらい

☐ どちらかという社会がより不快で暮らしにくい方向に変化する

☐ 社会がより不快で暮らしにくい方向に変化する

☐ わからない

Q11 具体的なDX化実現に関連して、あなたが所有または家族と共有するデジタルデバイス（携帯電話（スマートフォン）、ＴＶ（通信機能があるもの）、ゲーム機（通信機能があるもの）、ＰＣなど）について考えてみてください。どのデバイスを所有または共有していますか。また、一つのデバイスで複数の機能が備わっている場合、当てはまるものを全てお選び下さい。

いくつでも

必須

<input type="checkbox"/>	携帯電話（スマートホンを含む）
<input type="checkbox"/>	ウェアラブルコンピュータ（スマートウォッチなど）
<input type="checkbox"/>	タブレットPC
<input type="checkbox"/>	ノートPC
<input type="checkbox"/>	デスクトップPC
<input type="checkbox"/>	テレビ（インターネット機能のあるもの）
<input type="checkbox"/>	ゲーム機（インターネット機能のあるもの）
<input type="checkbox"/>	ルーター（Wi-Fiルーターを含む）
<input type="checkbox"/>	ネットワーク家電（遠隔操作可能な家庭電化製品）
<input type="checkbox"/>	外付けHDD（ハードディスクドライブ）
<input type="checkbox"/>	USBメモリ
<input type="checkbox"/>	メモリーカード（SDカード、microSDカードなど）
<input type="checkbox"/>	オンラインストレージ（ファイル共有サービスの利用）
<input type="checkbox"/>	ワイヤレスヘッドホン（ワイヤレスイヤホンを含む）
<input type="checkbox"/>	デジタルデバイスを所有していない
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	わからない

Q12 最後に交換したデジタルデバイス（携帯電話、タブレット、ラップトップなど）について考えてみてください。新しいデバイスを購入する主な理由は何でしたか？（最大3つまで）

3つまで

必須

☐ 古いデバイスが壊れた

☐ 古いデバイスのパフォーマンスが大幅に低下した

☐ 特定のアプリケーションまたはソフトウェアが古いデバイスで動作を停止した

☐ プロバイダーとの契約の一環として新しいデバイスを受け取った

☐ あなたは市場で最新のデバイスを持っているのが好きだ

☐ 新しい機能やサービスを備えたデバイスが必要だった

☐ 古いデバイスの外観が気に入らなくなった

☐ その他

☐ デジタルデバイスを交換していない

☐ あなたはデジタルデバイスを所有していない

☐ わからない

Q13 メーカーは、デジタルデバイスの修理や個々の部品（スクリーンやバッテリーなど）の交換を容易にする必要がありますか？

ひとつだけ

必須

☐ はい、デバイスの価格が高くても

☐ はい、デバイスの価格が高くない場合は可能である

☐ いいえ

☐ デジタル機器を利用していない

☐ わからない

Q14 古いデジタルデバイスをリサイクルしても良いと思う状況はありますか？

いくつでも

必須

☐ お金などの報酬を受け取った場合

☐ 近くにリサイクルポイントがあった場合

☐ デバイスがどのようにリサイクルされるかを知っている場合

☐ 物理的なHDDディスクの破壊など、潜在的なプライバシーリスクを引き起こさないと確信している場合

☐ その他

入力してください

☐ いいえ

☐ わからない

Q15 人々が個人情報の一部を共有すれば、公共サービスは改善される可能性があります。どのような目的で、個人情報の一部を安全に共有したいと思いますか？

いくつでも

必須

☐ 医学研究と医療を改善するため

☐ 公共交通機関を改善し、大気汚染を減らすため

☐ エネルギー効率を改善するため

☐ 危機的状況（自然災害、エビデミック、テロ攻撃など）への対応を改善するため

☐ 教育データを利用することで、公教育をより良くするため

☐ 他の目的のため

☐ あなたはいかなる目的のためにもあなたの個人情報を共有することに反対である

☐ わからない

Q16 デジタルテクノロジーの使用に関するスキルに関して、次の記述にどの程度同意しますか、または同意しませんか。
あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの日常生活の中で」十分熟練していると考えていますか。

ひとつだけ

必須

☐ 同意する

☐ どちらかという同意する

☐ どちらかという反対する

☐ まったくそう思わない

☐ わからない

Q17 デジタルテクノロジーの使用に関するスキルに関して、次の記述にどの程度同意しますか、または同意しませんか。
あなたは自分のデジタル技術の使用について、「あなたの仕事をするために」十分熟練していると考えていますか。

ひとつだけ

必須

☐ 同意する

☐ どちらかという同意する

☐ どちらかという反対する

☐ まったくそう思わない

☐ わからない

Q18 デジタルスキルを向上させる際の主な障壁は何だと思われますか？

いくつでも

必須

☐ 適切なトレーニングの機会の欠如

☐ 時間不足

☐ 費用

☐ 改善すべき具体的なスキルがわからない

☐ スキルアップの必要性を感じない

☐ その他の要因

☐ わからない

Q19 あなたは、機会があれば、DXに関して科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか。次のうち、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 聞いてみたい

☐ できれば聞いてみたい

☐ あまり聞いてみたいとは思わない

☐ 聞いてみたいとは思わない

Q20 DXに関する次の意見や考えについて、どうお考えですか。それぞれについて、できるだけあなたの考えに近いものを1つお選びください。これからの技術については将来使用できるようになった場合を考えてお答えください。

それぞれひとつだけ

必須

		そう 思う	どちらか に傾く	どちらか に傾く	どちらか に傾く	そう 思わない	わからない
DXは私の仕事や生活に利便性をもたらす。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXを利用するか否かは自分で決めることができる。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
身近な人（上司、家族など）はDXを自分が利用することを期待している。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会はDXを自分が利用することを期待している。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXに対して十分に情報が提供されている。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXを利用することは容易である。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの発展により高齢化社会に対応したデジタル・デバイスが生まれる。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの利用が不安である。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの利用は自分や家族の健康に悪い。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

DXにより人間が怠惰になる。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXにより人間的なふれあいが減少する。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの開発が早すぎて、自分がそれについていけない。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		そう 思う	どちらか に傾く	どちらか に傾く	どちらか に傾く	そう 思わない	わからない
DXの普及により、人間の仕事が奪われる。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXにより地球温暖化や自然環境破壊などが起こる。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXにより資源やエネルギーの無駄遣いが増える。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXにより身近に自然を感じることが少なくなる。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXは倫理的側面が不安である。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXがプライバシーを侵害する。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの責任の所在が明らかでない。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの発展により犯罪が増加する。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの複雑なシステムが不安である。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの情報が氾濫し、どれを信じればよいかわかりにくい。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの利用は社会的に好ましい技術である。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXの利用を積極的に受け入れる。	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q21 あなたがDXの利用を受け入れるためには、どのようなことが必要と考えますか？次の選択肢から回答してください（上位2つまでを選択）。

2つまで

必須

☐ DXが多くの人々に普及すること

☐ 社会システム（規制、インフラ）が整うことなどにより、DXの効果を自分が実感できるようになること

☐ DXの安全性・信頼性を明確に理解できるようになること

☐ DXの有用性が明確に理解できるようになること

☐ DXの十分な説明が行われること

☐ コストパフォーマンスに優れること

☐ オンラインのコンテンツが充実したものになること

☐ わからない

Q22 あなたがDXの利用を受け入れるためには、その技術に関する情報を誰から得たいと考えますか（上位2つまでを選択）。

2つまで

必須

☐ 国や自治体など行政から

☐ 企業・技術開発者から

☐ 大学や研究機関の科学者・専門家から

☐ 技術をすでに利用しているユーザーから

☐ 友人や家族など身近な人から

☐ 俳優やタレントなど親しみやすい人から

☐ わからない

Q23 DXについて御意見がございましたら、御自由に記入してください。

F1 あなたの性別をお知らせください。

ひとつだけ

必須

☐ 男性

☐ 女性

F2 あなたのお年は満でいくつですか。

必須

歳

F3 あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

ひとつだけ

必須

選択してください



F4 あなたが最後に卒業された学校（現在在学中の場合は所属している学校）は、次のどれに当てはまりますか。なお、中退した場合は卒業とみなしてお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 中学校

☐ 高等学校、または専修学校高等課程

☐ 高等専門学校

☐ 短期大学

☐ 専門学校、または専修学校専門課程

☐ 大学

☐ 専門職学位

☐ 大学院修士課程

☐ 大学院博士課程

☐ その他

入力してください

F5 あなたが最後に卒業された学校（現在在学中の場合は所属している学校）での専攻分野は次のうちどれに当てはまりますか。なお、F2で「1. 中学校」又は「2. 高等学校、又は専修学校高等課程」をお選びの方は、「5. 該当しない」をお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 人文・社会科学系（政治学、経済学、経営学、法学、文学、語学、歴史学、心理学、教育学など）

☐ 自然科学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、理学、医学、歯学、薬学、看護学、栄養学、農学、工学、建築学、土木学など）

☐ スポーツ・文化芸術系（体育、音楽、美術、造形、デザインなど）

☐ その他

入力してください

☐ 該当しない

F6 あなたの現在の職業（学生等を含む）は、次のどの分類に当てはまりますか。

職種の分類	分類における注意事項又は具体的な職種の事例
(1)農林漁業	農林漁業従事による収入を生計の主としている者
(2)自営の商工サービス業	家族的な経営による商工サービス業を営んでいる者及び家族従事者
(3)自由業	俳優、プロスポーツ選手等、成果主義的な収入を主としている者
(4)管理的職業	管理職の公務員（議会議員を含む）、会社・団体の役員、会社・団体の管理職員、その他の管理的職業に従事する者
(5)科学技術的職業	科学研究者、機械・電気技術者、建築・土木・測量技術者、情報処理技術者、医師・看護師その他医療技術者、保健師（士）、栄養士、教員（大学等の教員）、その他の科学技術的職業に従事する者
(6)その他専門的・技術的職業	保育士、介護士、会計士、教員（小・中・高の教員）、文芸家、著述家、記者、編集者、図書館司書・学芸員、その他の専門的・技術的職業に従事する者
(7)事務的職業	総務・企画事務、受付・案内事務、秘書、窓口事務、予算・経理事務、事務用機器操作、タイピスト、その他の事務的職業に従事する者
(8)労務的職業	生産・製造工程の職員、定置機械・建設機械運転員、電機作業の職員、採掘・建設労務の職員、鉄道機関士、車両運転手、郵便物の集配・配達、その他の労務的職業に従事する者
(9)販売的職業	百貨店・スーパー・小売店・ガソリンスタンド等の販売員、商品仕入・販売外交員、保険セールスマン、不動産仲介、有価証券仲介人、その他の販売的職業に従事する者
(10)サービスの職業	家政婦、ホームヘルパー、理容・美容師、飲食物の調理士、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、旅行添乗員、その他のサービスの職業に従事する者
(11)保安的職業	自衛官、警察官、刑務官、消防士、警備員、その他の保安的職業に従事する者
(12)家事	主婦、主として家事を務めている夫等
(13)学生	学業を主としている者（アルバイト等による収入のある学生を含む）
(14)無職	就職の希望を有している者
(15)無職（退職等）	定年退職等により、就職の希望を有していない者
(16)その他	上記に該当しない者

ひとつだけ

必須

<input type="radio"/>	(1) 農林漁業
<input type="radio"/>	(2) 自営の商工サービス業
<input type="radio"/>	(3) 自由業
<input type="radio"/>	(4) 管理的職業
<input type="radio"/>	(5) 科学技術的職業
<input type="radio"/>	(6) その他専門的・技術的職業
<input type="radio"/>	(7) 事務的職業
<input type="radio"/>	(8) 労務的職業
<input type="radio"/>	(9) 販売的職業
<input type="radio"/>	(10) サービス的職業
<input type="radio"/>	(11) 保安的職業
<input type="radio"/>	(12) 家事
<input type="radio"/>	(13) 学生
<input type="radio"/>	(14) 無職
<input type="radio"/>	(15) 無職（退職等）
<input type="radio"/>	(16) その他

F7 あなたは、お子さんがいらっしゃいますか。次のうち、当てはまるものをすべてお答えください。

いくつでも

必須

☐ 同居している小学生未満の子どもがいる

☐ 同居している小学生の子どもがいる

☐ 同居している中学生の子どもがいる

☐ 同居している高校生（専修学校高等課程を含む）の子どもがいる

☐ 同居している大学生（高等専門学校、短期大学、専修学校専門課程を含む）の子どもがいる

☐ 同居している大学院生の子どもがいる

☐ 同居している社会人の子どもがいる

☐ 上記以外の同居している子どもがいる

☐ 同居している子どもはいない

☐ 子どもはいない

F8 あなたのお住まいの郵便番号についてお答えください。この情報は回答の分布を得る目的にのみ使用します。回答者個人を特定したり、第三者に情報提供することはありません。

必須

郵便番号 左（3桁）

郵便番号 右（4桁）

DISCUSSION PAPER No.205

科学技術に関する国民意識調査－DX について－

2022 年 3 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ
細坪護拳、加納圭、星野利彦

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 東館 16 階
TEL: 03-3581-2395 FAX: 03-3503-3996

Public Attitudes to Science and Technology - About DX-

March 2022

HOSOTSUBO Moritaka, KANO Kei, HOSHINO Toshihiko
1st Policy-Oriented Research Group
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP)
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan

<http://doi.org/10.15108/dp205>



<https://www.nistep.go.jp>